

基山町
子ども生活実態調査結果報告書

平成30年3月

基 山 町

基山町こども課

調査集計委託先 株式会社 ワイズマンコンサルティング

目 次

第1部 調査の概要	1
第2部 調査結果の分析.....	3
1. あなたと、あなたの家族のことについて.....	3
2. 母親について	9
3. 父親について	17
4. 母親・父親以外が主に子どもを観ている場合、その方について	24
5. 子どもの健康状態について	28
6. 子どもの生活・学習習慣について.....	38
7. 子どもを取り巻く環境・モノについて	46
8. 各種サービス・支援について	51
9. 子育ての悩みや相談、必要な支援について.....	55
10. 家族の経済状況について	67

第 1 部
調査の概要

I 調査の目的

子育て家庭の日ごろの生活や子育ての実態を把握し、基山町の子育て施策のあり方を考え、安心して子育てをするために必要な取り組みを検討するための基礎資料とすることを目的とする。

II 調査の対象

町内在住の、0歳から平成29年度中に18歳に達する子ども全員（ただし、回答者は保護者）。

III 調査の方法

郵送による配布、回収。

IV 調査の期間

平成29年12月9日（土）から平成29年12月22日（金）まで。
ただし、平成30年1月15日（月）回収分までを集計に含めている。

V 回収の結果

配布数：1,507件 有効回収数：834件 回収率：55.3%

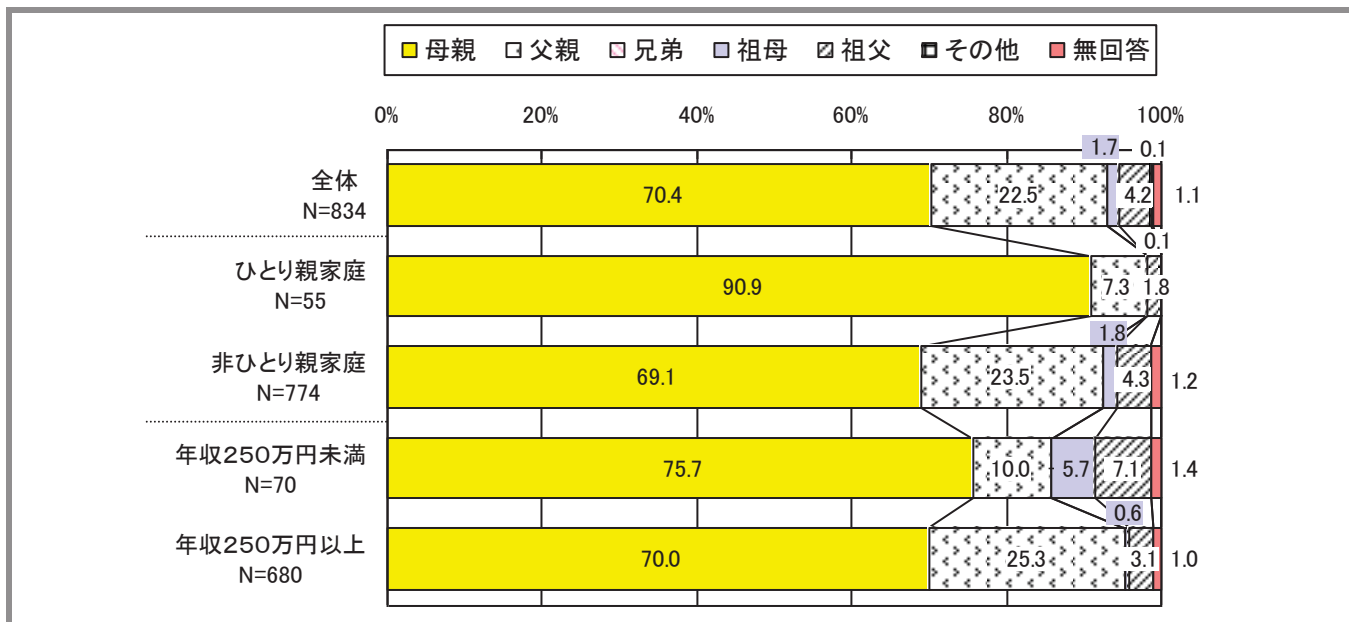
VI 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、グラフには「0.0」と表記している。
- (4) グラフやコメントにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- (5) 調査結果については、必要に応じてひとり親家庭とそれ以外の家庭とのクロス集計結果や世帯年収250万円未満の家庭と250万円以上の家庭とのクロス集計結果を掲載しているが、ここでの「ひとり親家庭」とは、父親または母親の片方いずれかとその子だけからなる家庭を言い、世帯年収には同居していない祖父母等からの資金援助等を含んでいる。
- (6) 設問の性格上、問4-2、問34、問37、問39については、子どもごとの集計となっているため、問4-2、問34、問37の割合算出の基数（N）は、有効回収数（834件）を上回っている。

第 2 部
調査結果の分析

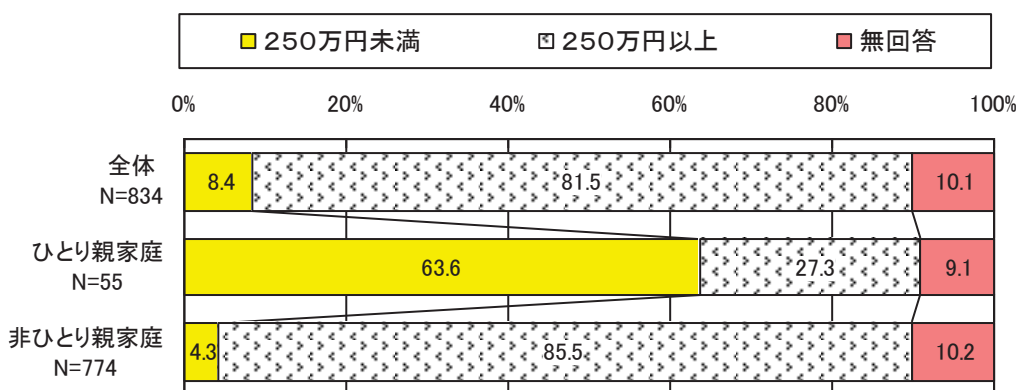
1. あなたと、あなたの家族のことについて

問1 このアンケートの対象となっているお子さんとあなた（このアンケートに回答している方）との関係はつぎのどれにあたりますか？（※お子さんからみた続き柄でお答えください。）



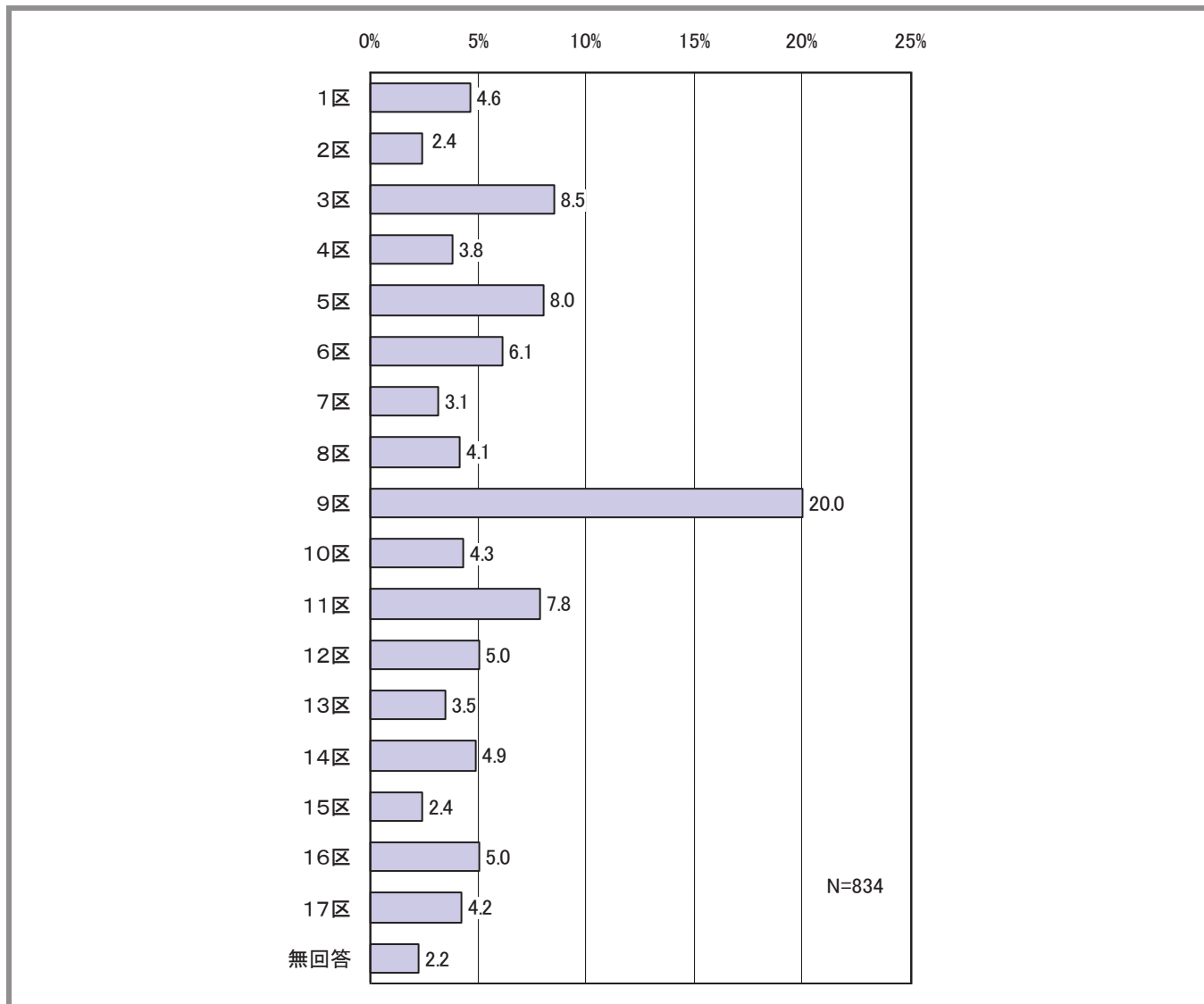
● 回答者については、「母親」が全体の70.4%と最も多く、「父親」が22.5%でそれに続いている。

※ひとり親家庭・非ひとり親家庭と世帯年収（含資金援助）の関係



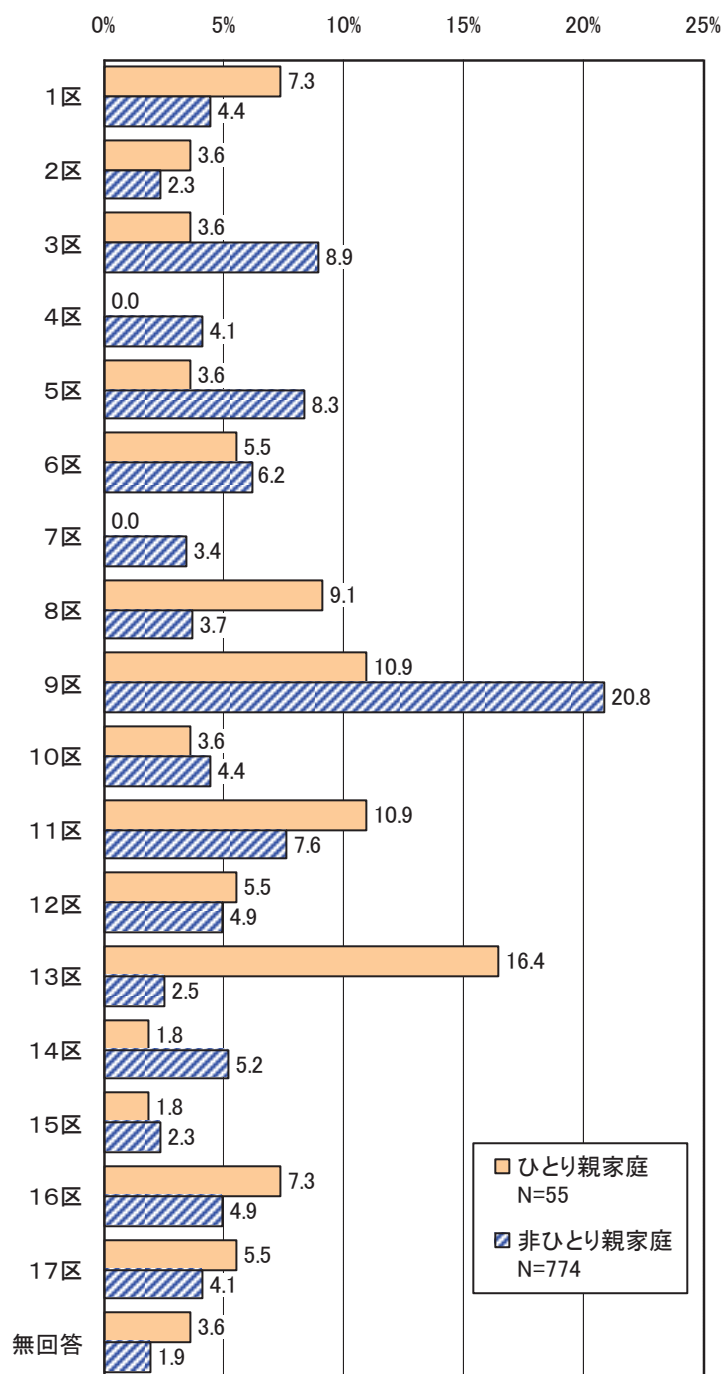
ひとり親家庭・非ひとり親家庭の別と世帯年収との間には強い相関関係が認められ、ひとり親家庭では年収250万円未満の割合が63.6%と高くなっている。

問2 お住まいの行政区はどちらですか？

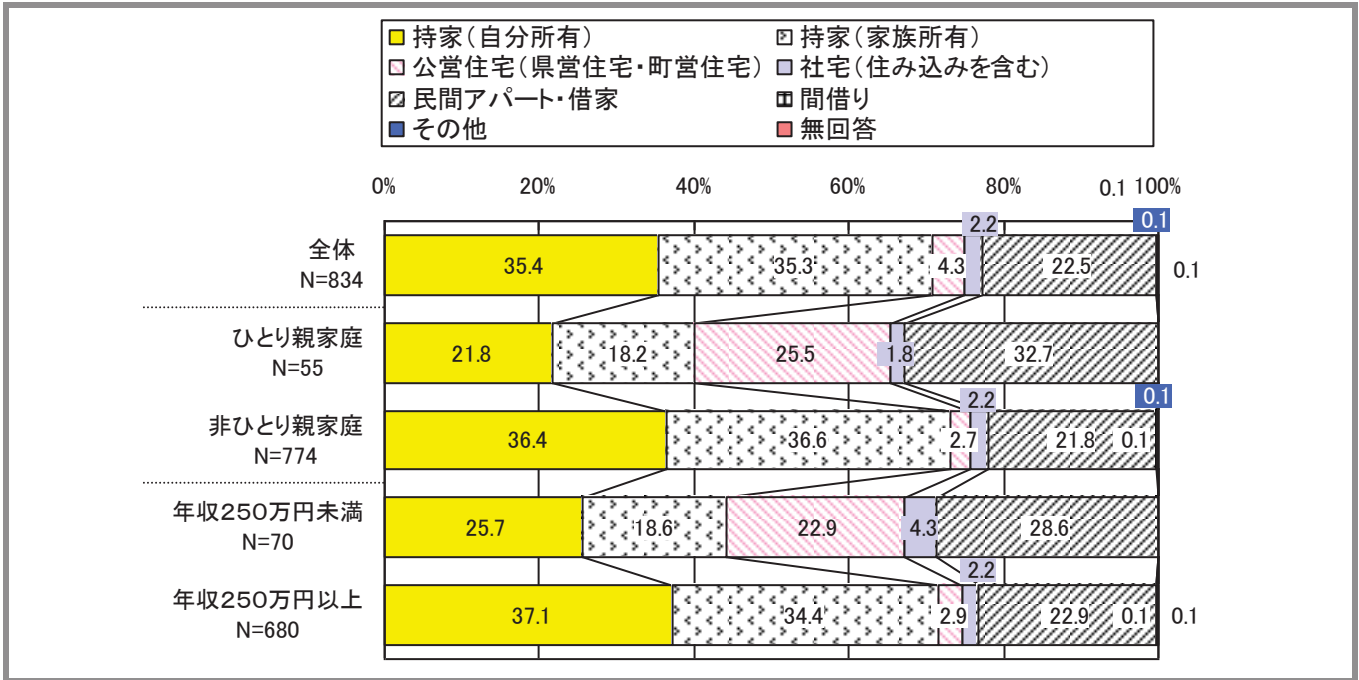


- 居住行政区の分布は上のおおりで、概ね子育て世帯の分布に近い結果となっている。
- ひとり親世帯の割合が最も高かったのは「13区」となっている（次ページ参照）。

《家庭状況別クロス集計結果》

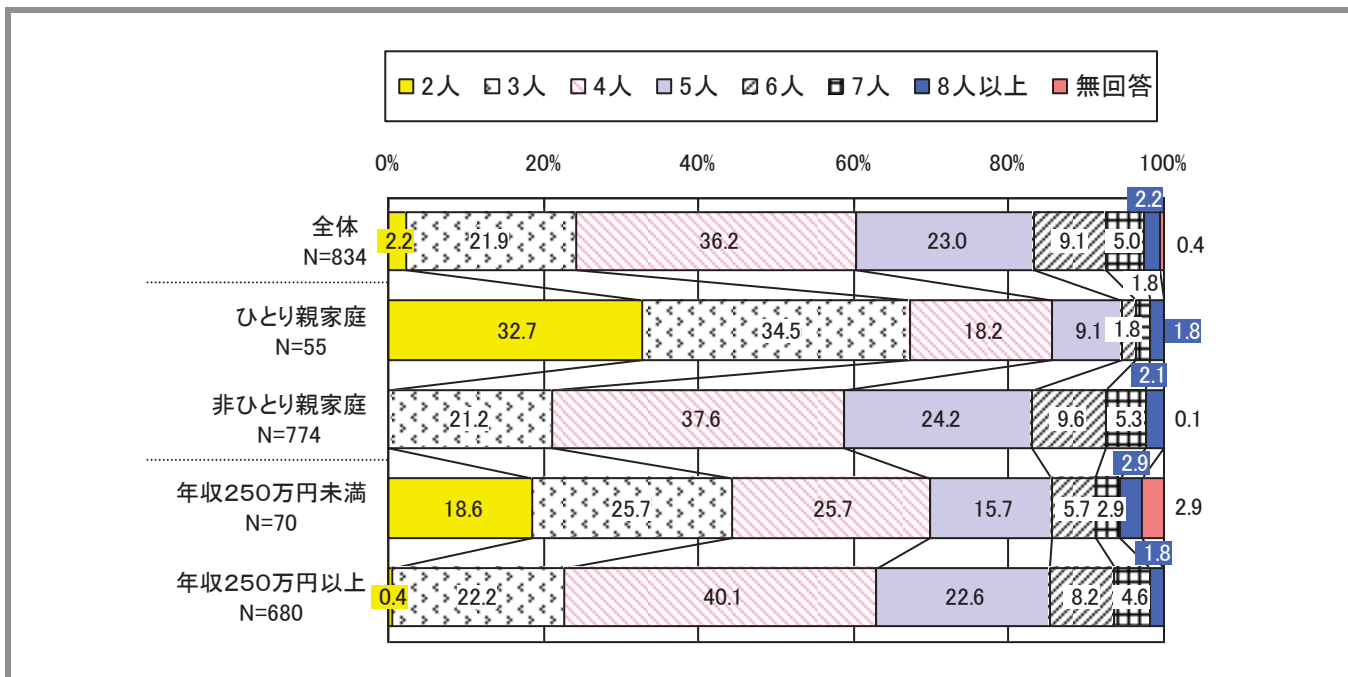


問3 現在のお住まいについてお答えください。



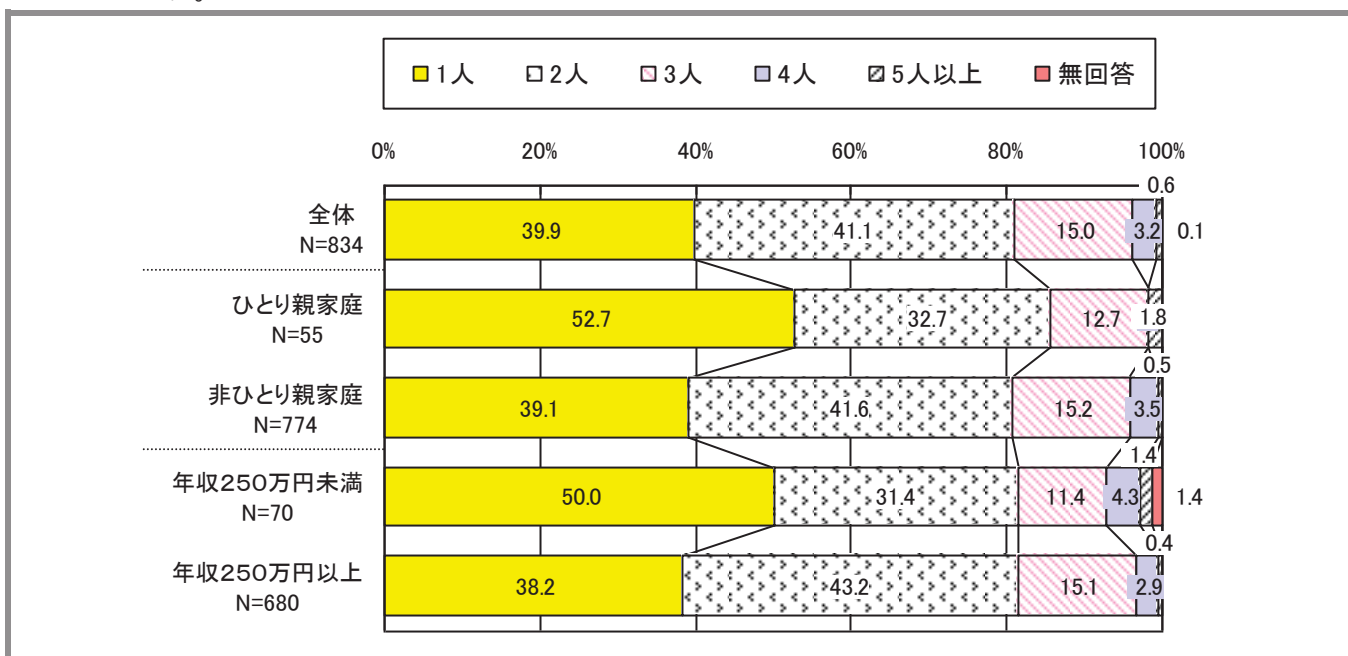
- 住まいの状況については、自分所有、家族所有を合わせ「持家」が全体の 70.7%と最も多く、次いで「民間アパート・借家」が22.5%となっている。
- 持家の自分所有と家族所有の比率はほぼ半々となっている。
- ひとり親家庭では、非ひとり親家庭に比べ、自分所有、家族所有を合わせ「持家」の割合が40.0%と低く、その分「公営住宅（県営住宅・町営住宅）」が25.5%、「民間アパート・借家」が32.7%と、それぞれ割合が高くなっている。

問4 家族の人数をお答えください。



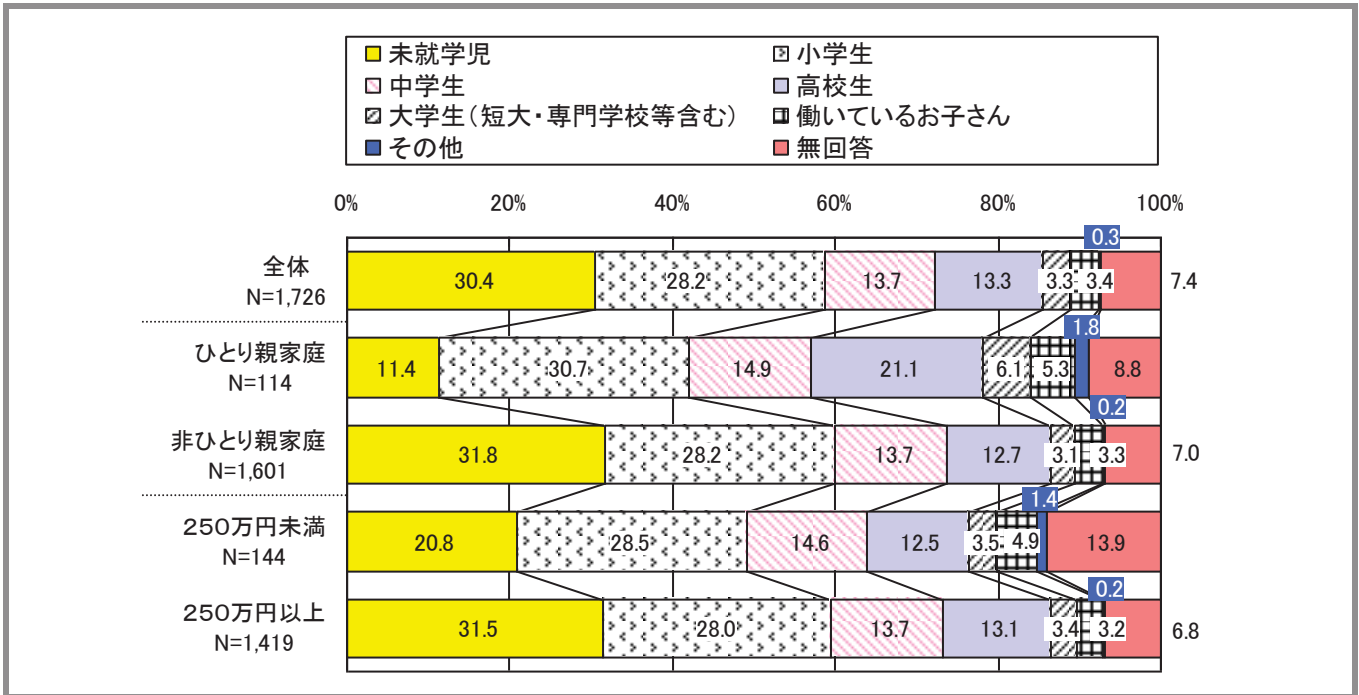
- 家族の人数については、「4人」が全体の36.2%と最も多く、以下、「5人」が23.0%、「3人」が21.9%と続いている。

問4-1 問4の家族のうち、お子さん（0歳～今年度18歳に達する子ども）の人数をお答えください。



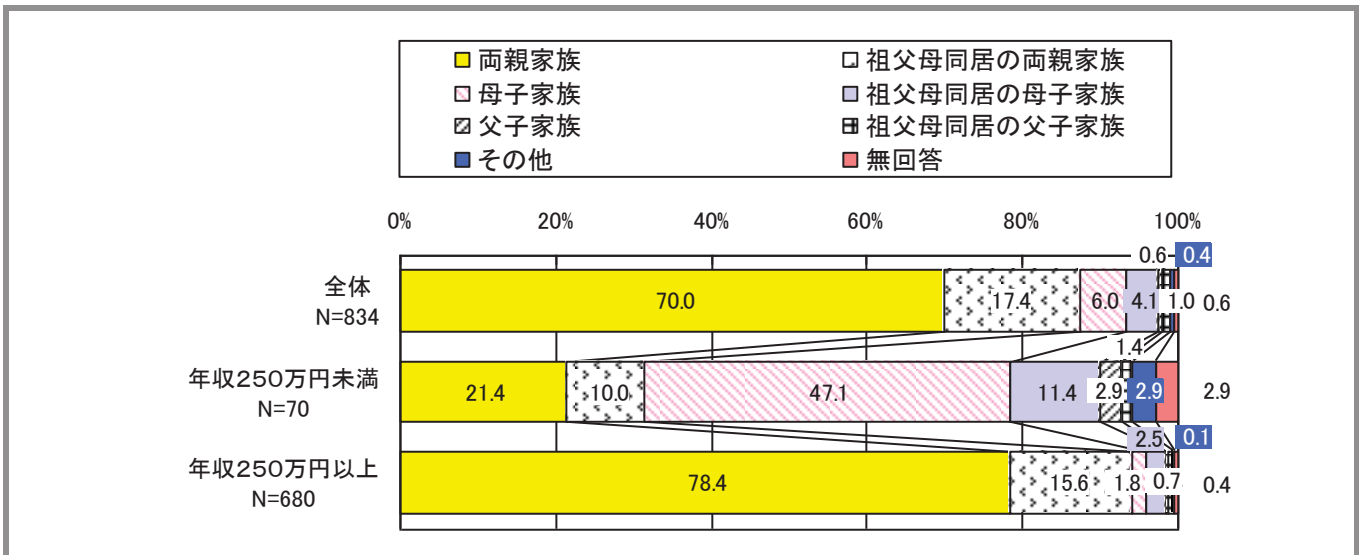
- 子どもの人数は、「2人」が全体の41.1%と最も多く、以下、「1人」が39.9%、「3人」が15.0%と続いている。
- 世帯の状況別にみると、ひとり親家庭では「1人」の割合が52.7%と、非ひとり親家庭（39.1%）に比べ13.6ポイント高くなっている。

問4-2 問4-1のお子さんの状況についてお答えください。
 それぞれのお子さんごとに ※ のあてはまる番号を記載ください。



- 子どもの状況については、「未就学児」が全体の30.4%と最も多く、以下、「小学生」が28.2%、「中学生」が13.7%、「高校生」が13.3%と続いている。
- ひとり親家庭では、「未就学児」の割合が11.4%と、非ひとり親家庭(31.8%)に比べ20.4ポイント低く、逆に「高校生」の割合は21.1%と、非ひとり親家庭(12.7%)に比べ8.4ポイント高くなっている。

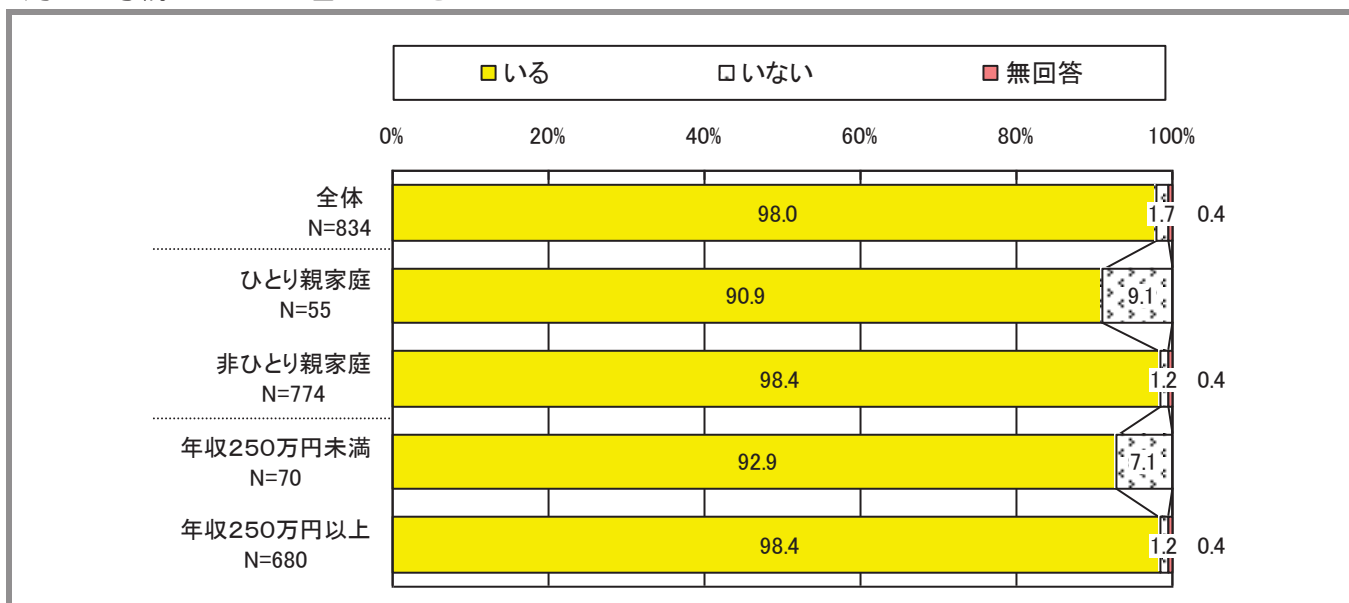
問4-3 家族形態はつぎのどれですか？



- 家族形態については、祖父母同居も含め「両親家族」が全体の87.4%を占めており、同じく祖父母同居を含め「母子家族」は10.1%となっている。
- 年収250万円未満の世帯に限って見ると、祖父母同居も含め「母子家族」が58.5%を占めている。

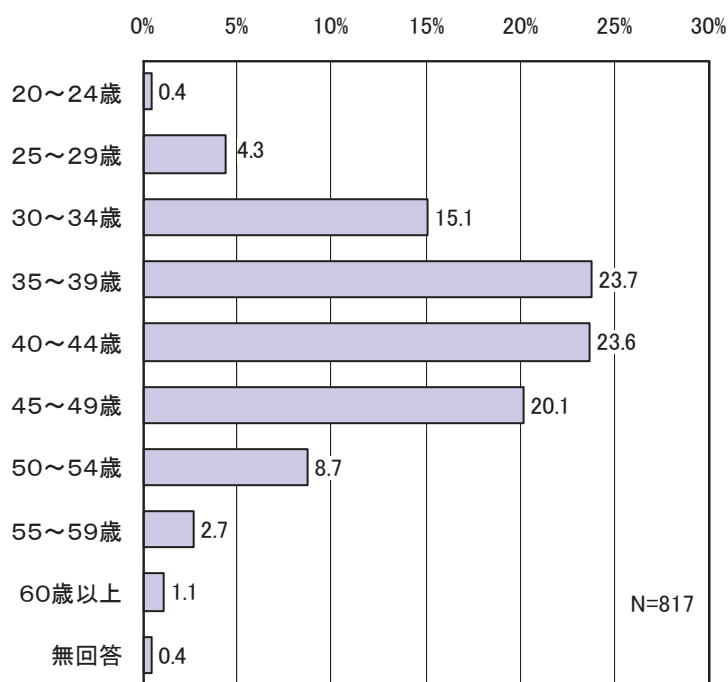
2. 母親について

問5 母親についてお答えください

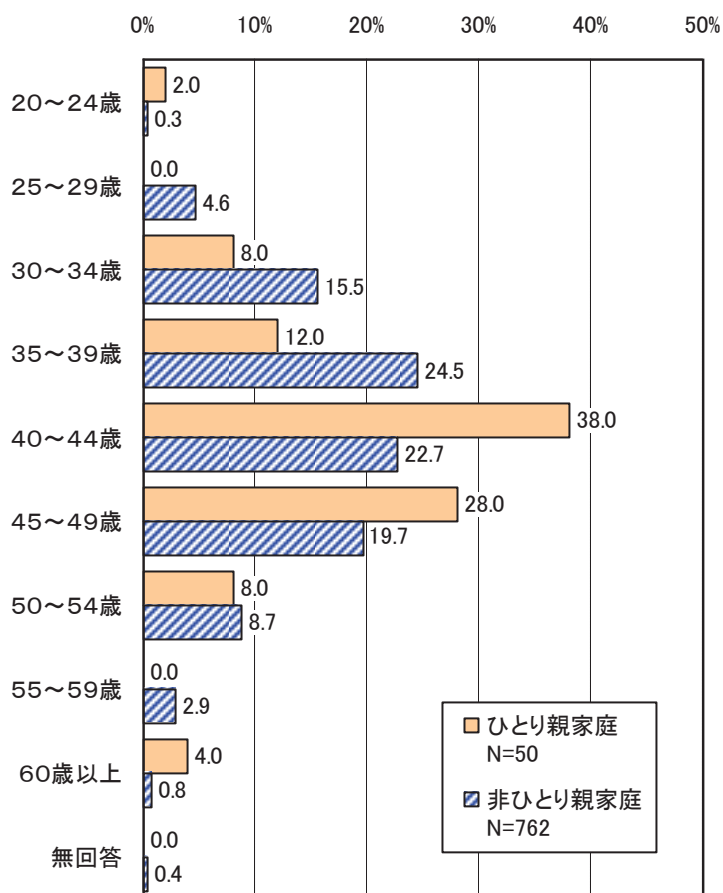


- 母親が「いる」家庭は全体の98.0%となっている。

問6 母親の年齢をお答えください。

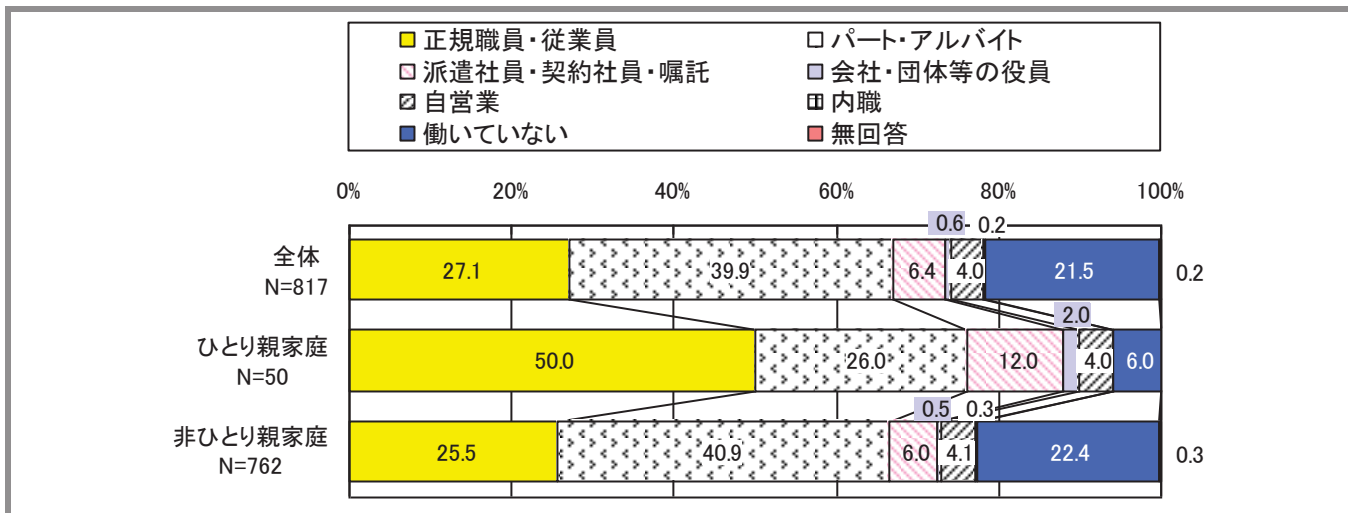


《家庭状況別クロス集計結果》



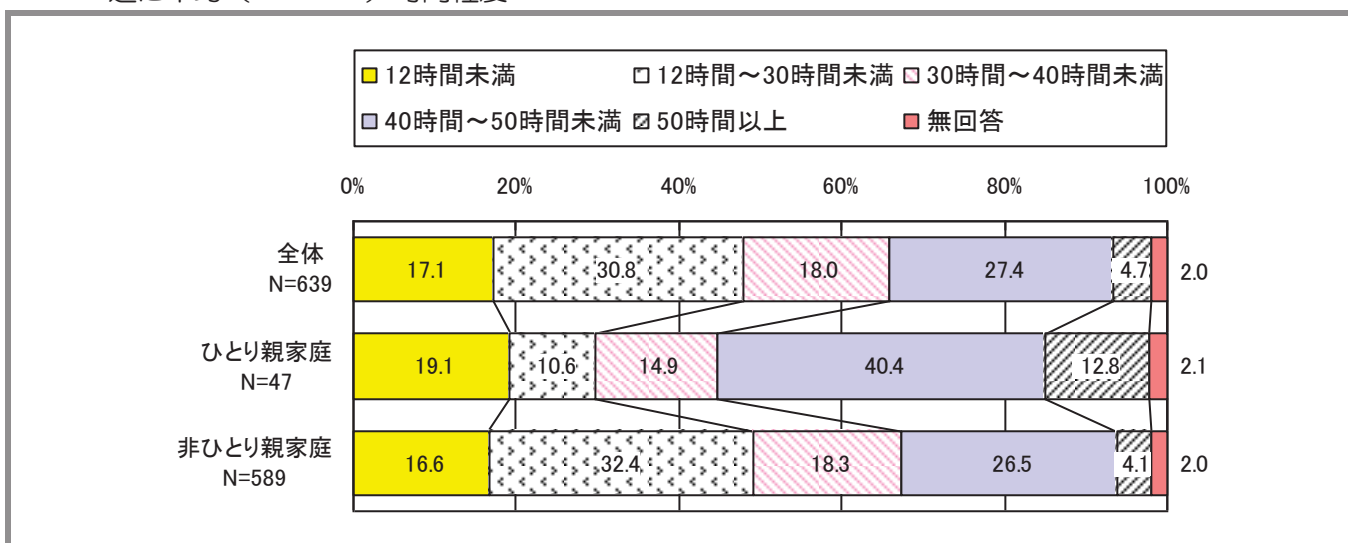
● 母親の年齢分布は上のおおりで、30代後半から40代前半の割合が高くなっている。

問7 母親の仕事についてお答えください。



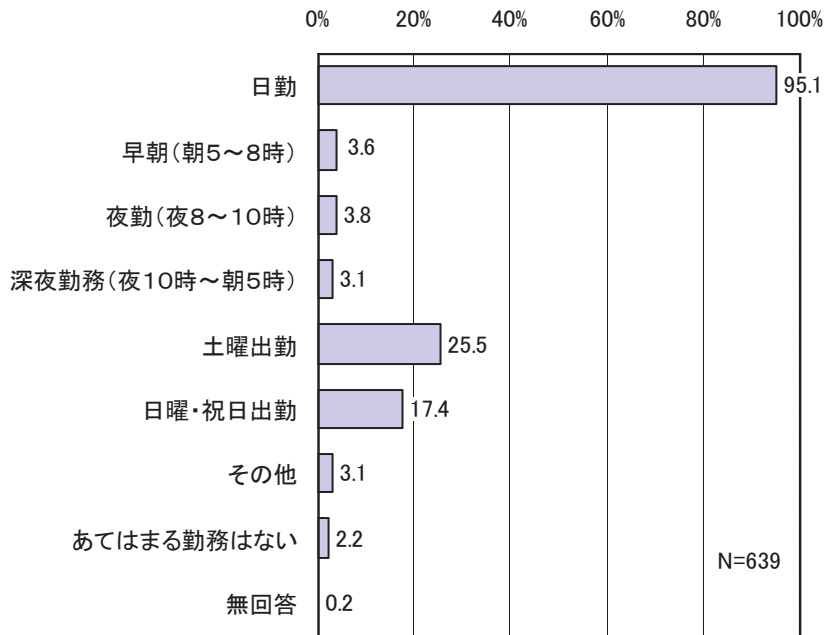
- 母親の仕事については、「パート・アルバイト」が全体の 39.9%と最も多く、「正規職員・従業員」は 27.1%、「働いていない」母親は 21.5%となっている。
- ひとり親家庭では、「正規職員・従業員」の割合が 50.0%と、非ひとり親家庭 (25.5%) のほぼ倍となっている。

問8 問7で1～7を選んだ方は1週間の平均就労時間はどれくらいですか？
週に平均 () 時間程度

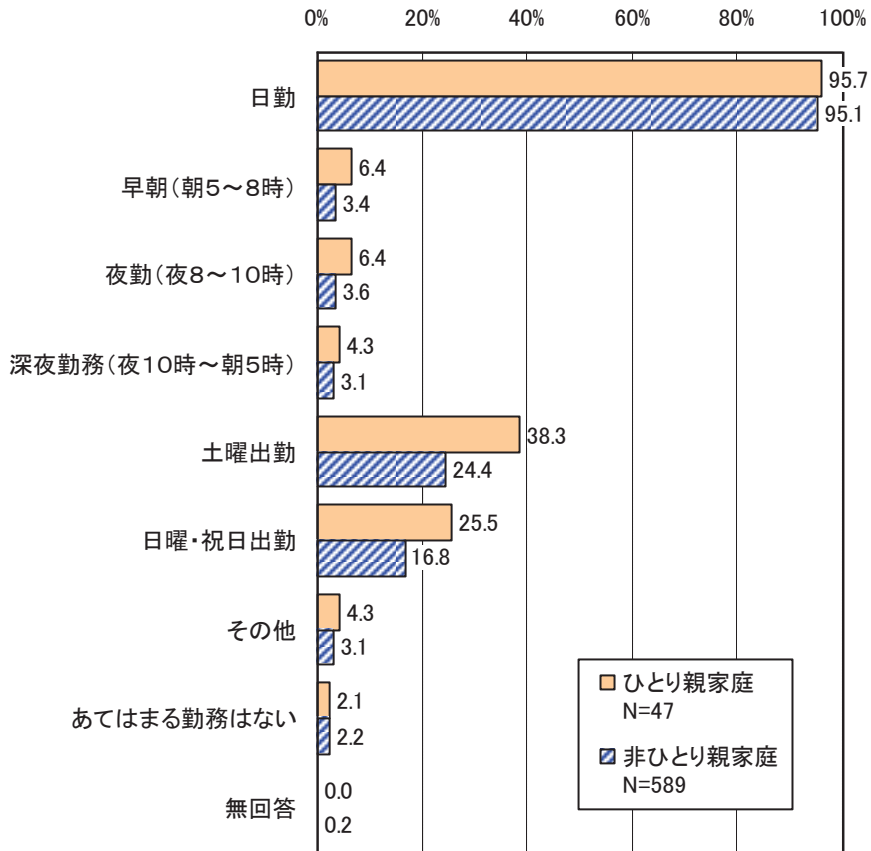


- 働いている母親の1週間の平均就労時間については、「12時間～30時間未満」が 30.8%と最も多く、以下、「40時間～50時間未満」が 27.4%、「30時間～40時間未満」が 18.0%、「12時間未満」が 17.1%と続いている。
- ひとり親家庭に限って見ると、非ひとり親家庭に比べ「正規職員・従業員」の割合が高いこともあって、「40時間～50時間未満」が 40.4%と最も高い割合となっている。

問9 問7で1～7を選んだ方は就労体制はつぎのどれにあたりますか？
 該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）

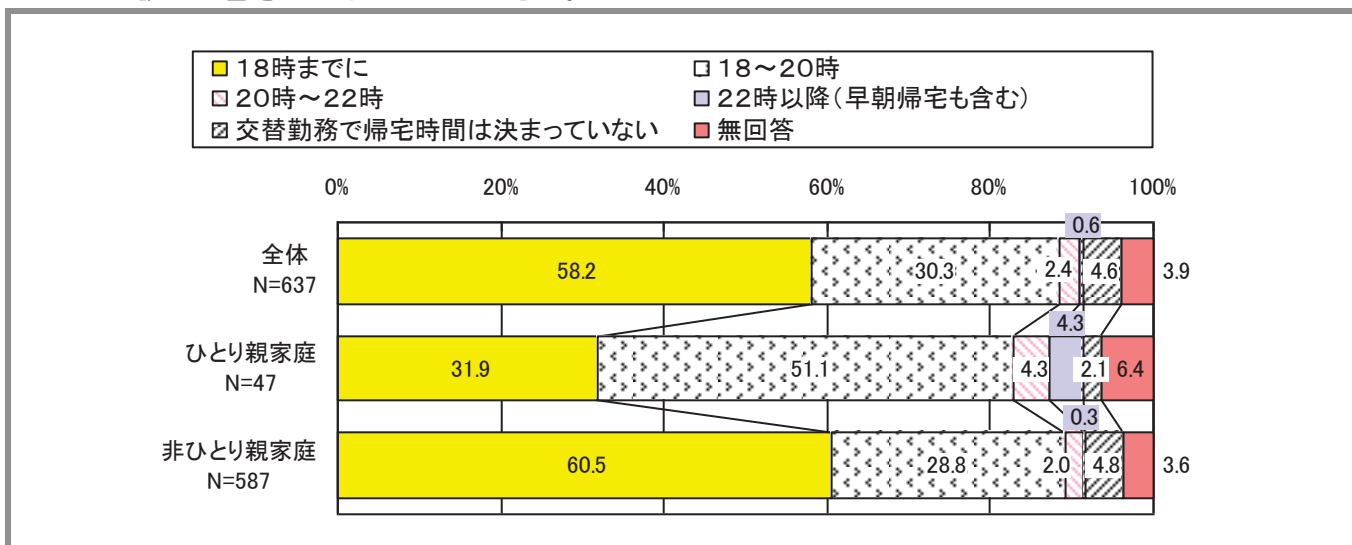


《家庭状況別クロス集計結果》



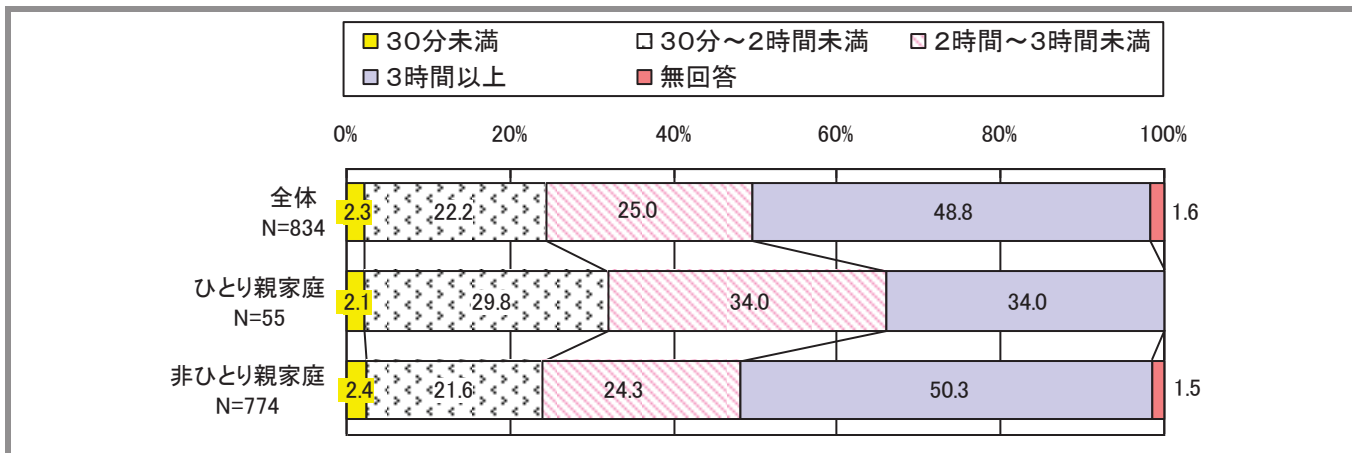
● 働いている母親の就労体制は上のおりで、「土曜出勤」は全体の25.5%、同じく「日曜・祝日出勤」は17.4%となっている。

問10 問7で1～5または7を選んだ方はだいたいの帰宅時間を教えてください。
 該当の番号に○をつけてください。



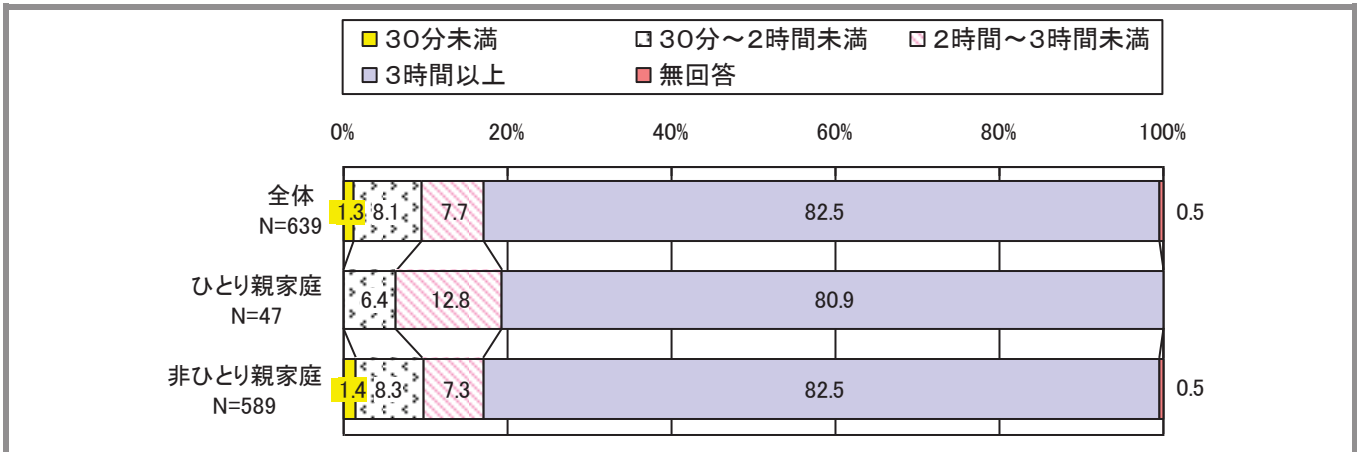
- 働いている母親の帰宅時間については、「18時までに」が全体の58.2%を占めているが、ひとり親世帯に限って見ると、非ひとり親家庭に比べ「正規職員・従業員」の割合が高いこともあって、「18～20時」が51.1%と最も高い割合となっている。

問11 問7で1～7を選んだ方は就労日(仕事のある日)にお子さんといっしょに過ごしている(同じ部屋にいる・話をする・いっしょに遊ぶ)時間は、だいたいどれくらいになりますか。
 該当の番号に○をつけてください。



- 働いている母親が就労日に子どもといっしょに過ごしている時間については、「3時間以上」が全体の48.8%と最も多くなっており、「30分未満」という回答は2.3%となっている。
- ひとり親家庭に限って見ると、「3時間以上」は34.0%と、非ひとり親家庭(50.3%)に比べ16.3ポイント低い割合となっている。

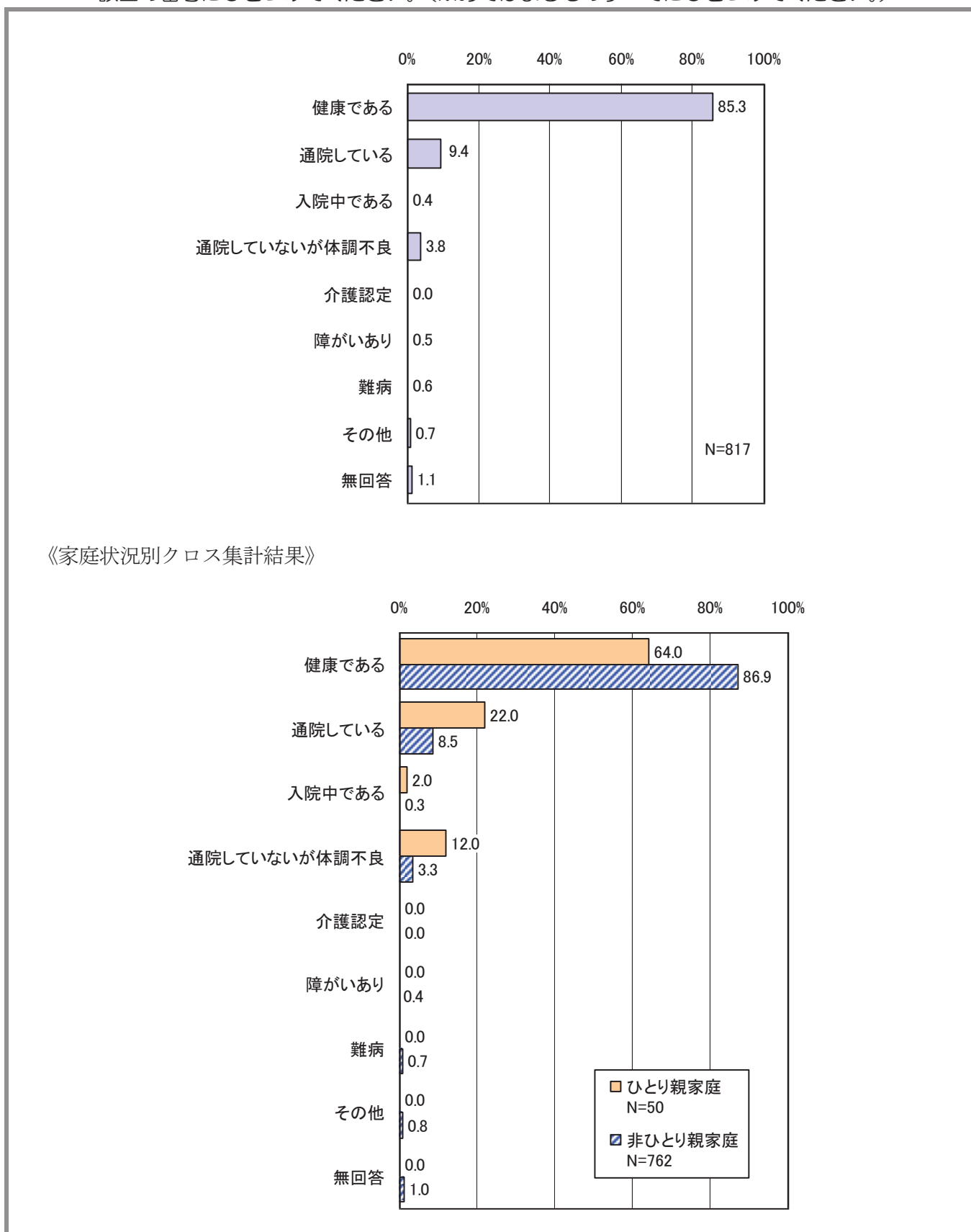
問12 問7で1～7を選んだ方は、休日（仕事のない日）にお子さんといっしょに過ごしている（同じ部屋にいる・話をする・いっしょに遊ぶ）時間は、だいたいどれくらいになりますか。該当の番号に○をつけてください。



- 働いている母親が休日に子どもといっしょに過ごしている時間については、「3時間以上」が全体の82.5%と最も多くなっており、「30分未満」という回答は1.3%となっている。
- ひとり親家庭については、「30分未満」という回答は無く、就労日のような非ひとり親家庭との差異はほとんど認められない。

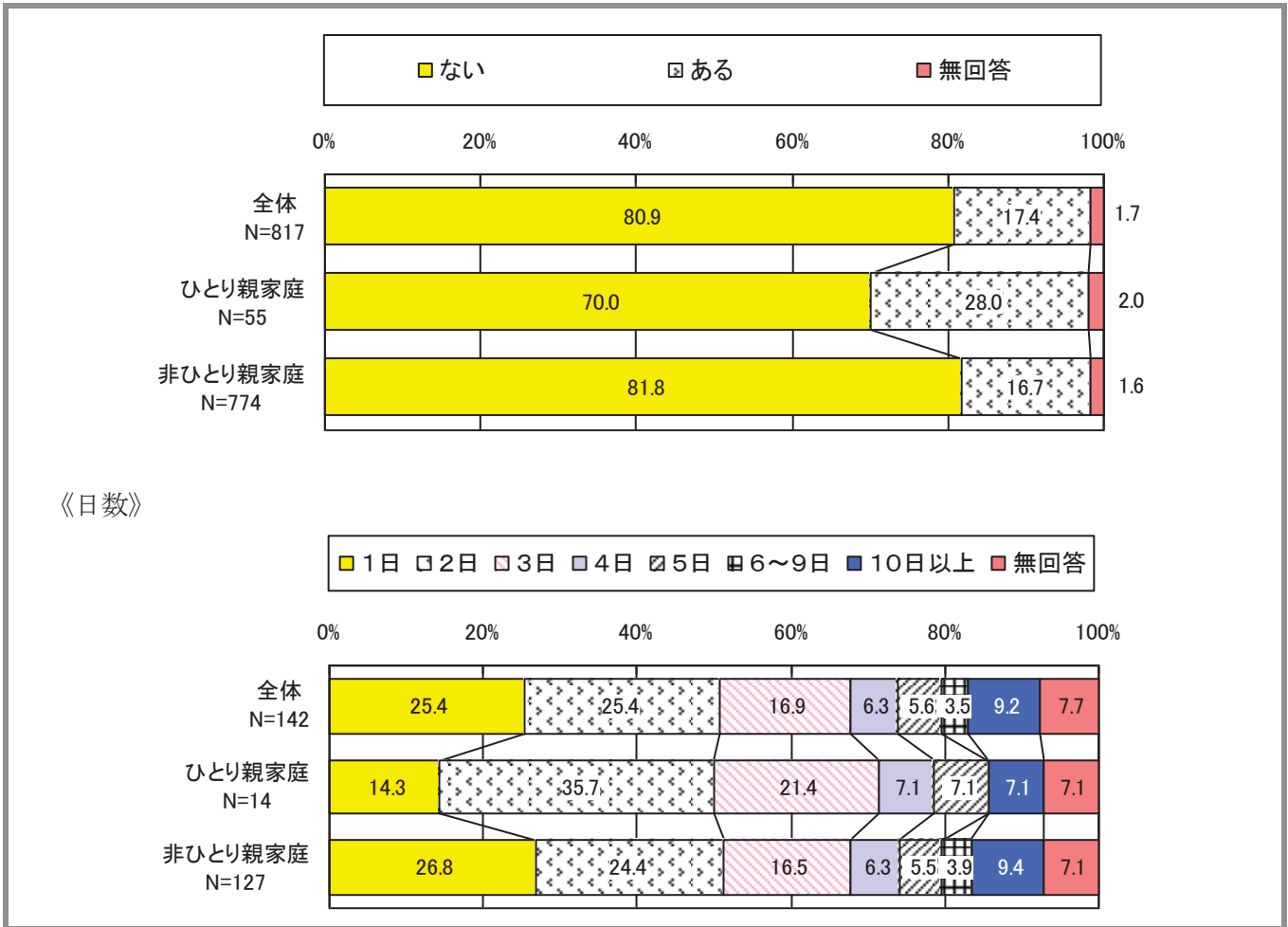
問13 現在の健康状態はいかがですか？

該当の番号に○をつけてください。(※あてはまるものすべてに○をつけてください。)



- 母親の健康状態について「健康である」と回答した人は全体の85.3%で、「通院している」「通院していないが体調不良」の割合は、非ひとり親家庭に比べひとり親家庭の方が高くなっている。

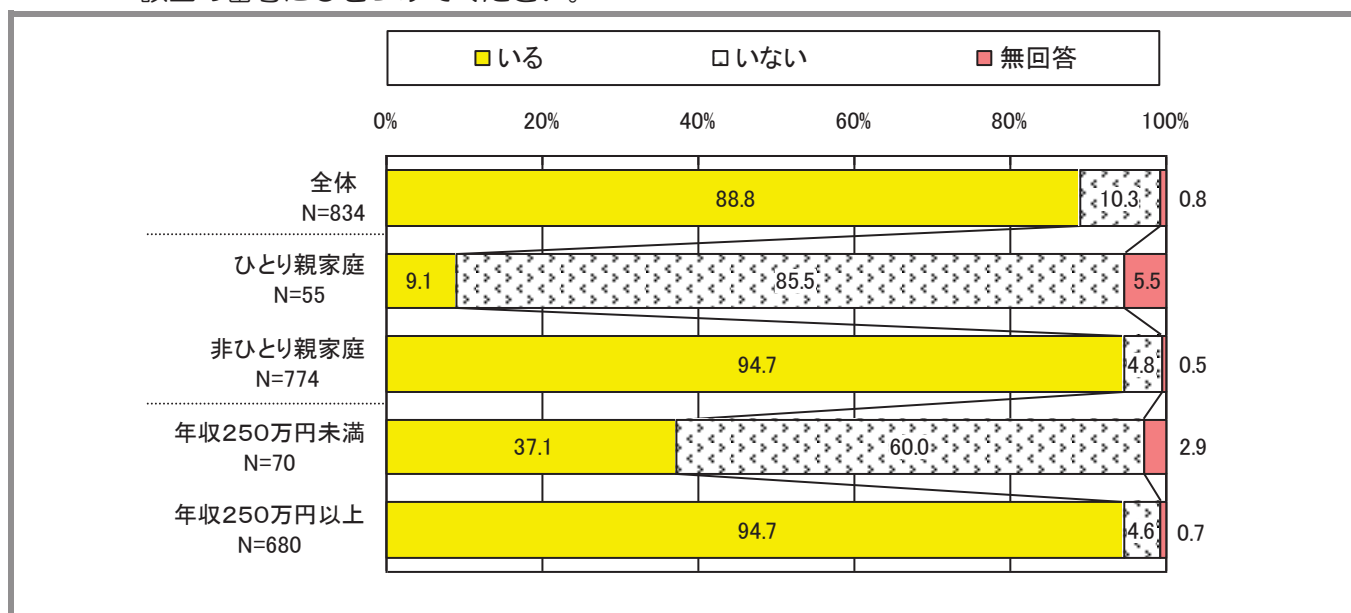
問14 過去1か月の間に体調不良で仕事を休んだり、家事ができなかったりした日はありますか？
 該当の番号に○をつけてください。※【2 ある】を選んだ場合は、日数を記載ください。



- 過去1か月の間に体調不良で仕事を休んだり、家事ができなかったりした日が「ある」母親は全体の17.4%となっているが、ひとり親家庭に限って見ると28.0%と、非ひとり親家庭(16.7%)に比べ11.3ポイント高い割合となっている。
- その日数については、「1日」「2日」がともに25.4%となっており、2日以下が半数を占めているが、中には「10日以上」(9.2%)という回答も見られる。

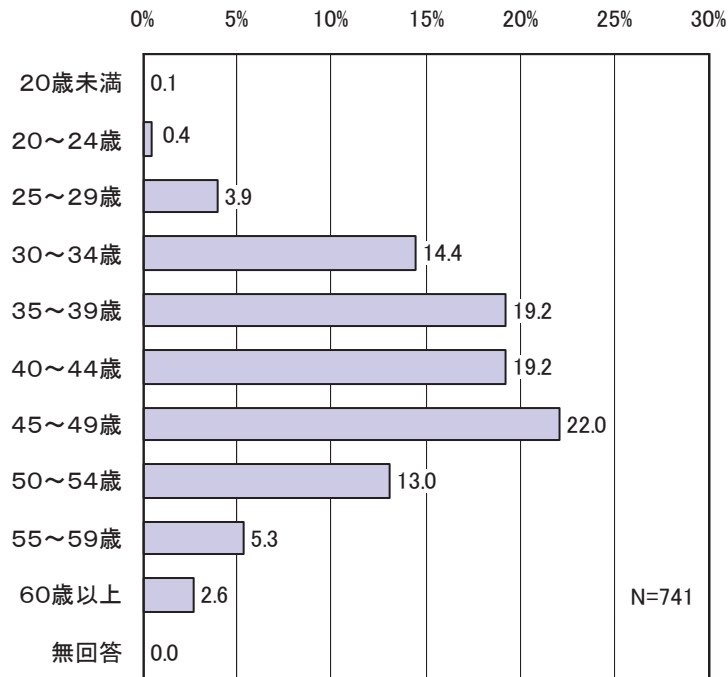
2. 父親について

問15 父親についてお答えください
該当の番号に○をつけてください。

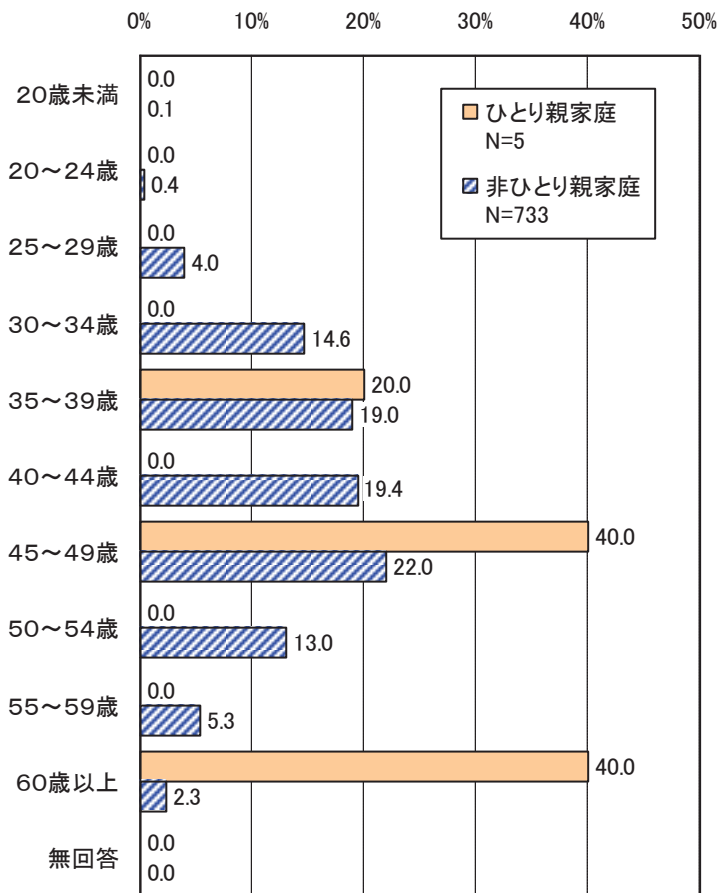


- 父親が「いる」家庭は全体の88.8%となっており、ひとり親家庭では9.1%、年収250万円未満では37.1%となっている。

問16 父親の年齢をお答えください。
 該当の番号に○をつけてください。



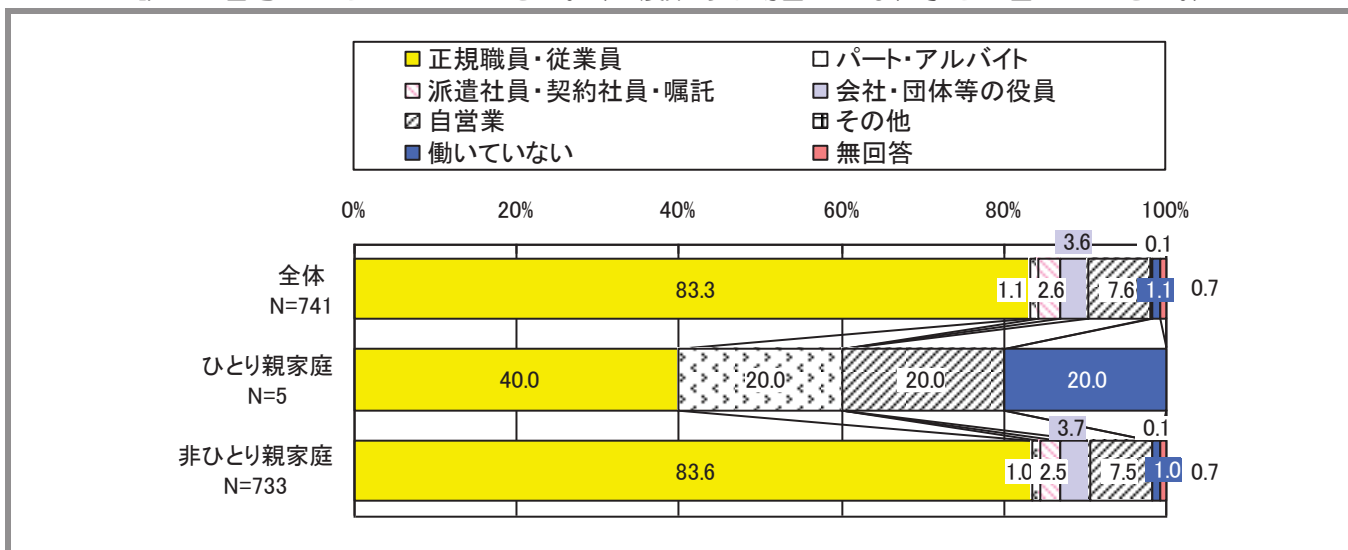
《家庭状況別クロス集計結果》



● 父親の年齢分布は上のおりで、40代後半の割合が最も高くなっている。

問17 父親の仕事についてお答えください。

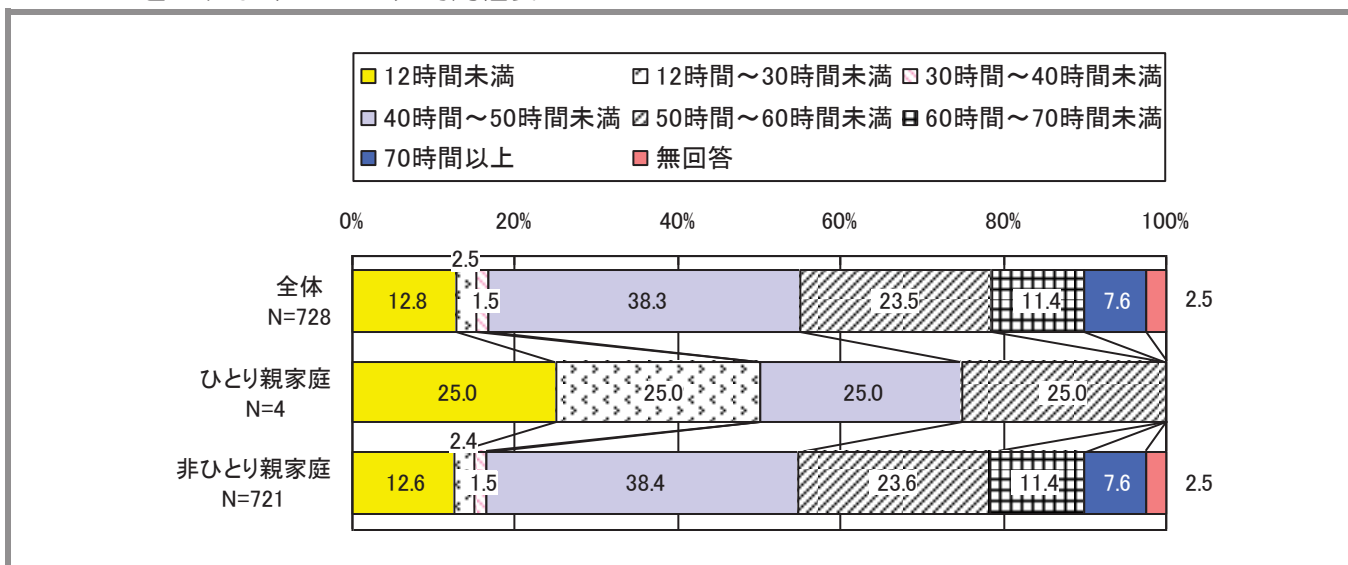
該当の番号に○をつけてください。(※複数ある場合は主な仕事をお答えください。)



- 父親の仕事については、「正規職員・従業員」が全体の83.3%と最も多く、「自営業」が7.6%、「会社・団体等の役員」が3.6%となっている。

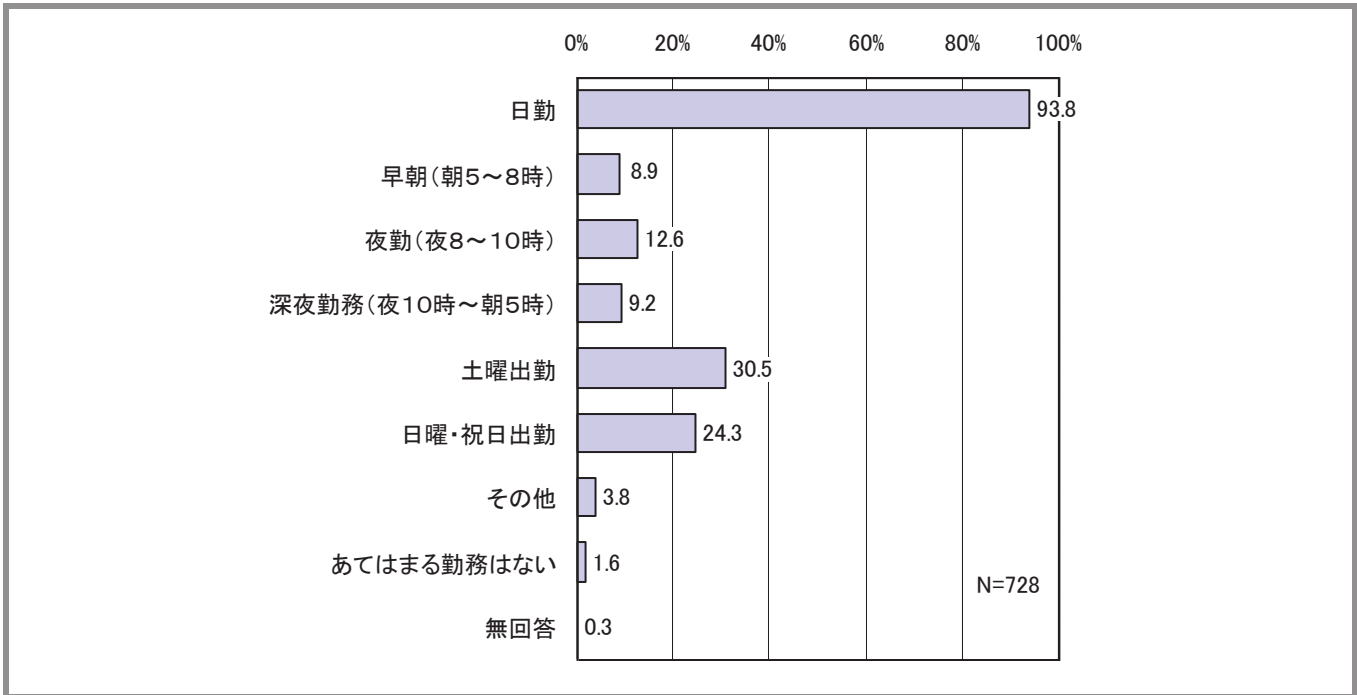
問18 問17で1～7を選んだ方は1週間の平均就労時間はどれくらいですか？

週に平均()時間程度



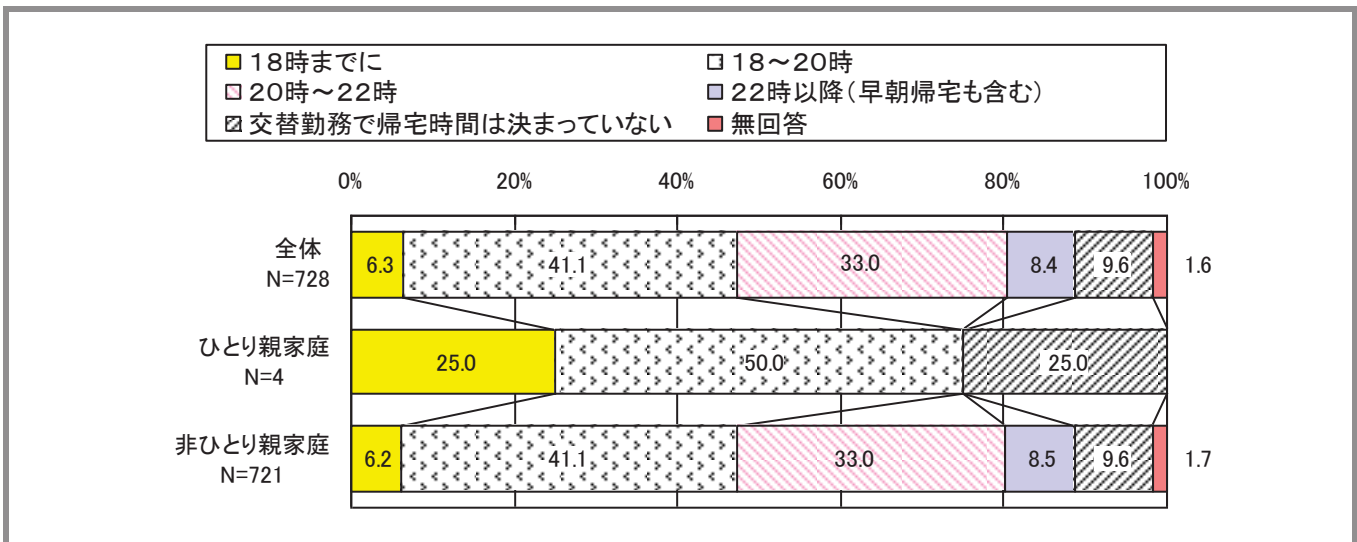
- 働いている父親の1週間の平均就労時間については、「40時間～50時間未満」が38.3%と最も多く、以下、「50時間～60時間未満」が23.5%、「12時間未満」が12.8%、「60時間～70時間未満」が11.4%と続いている。

問19 問17で1～7を選んだ方は就労体制はつぎのどれにあたりますか？（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）



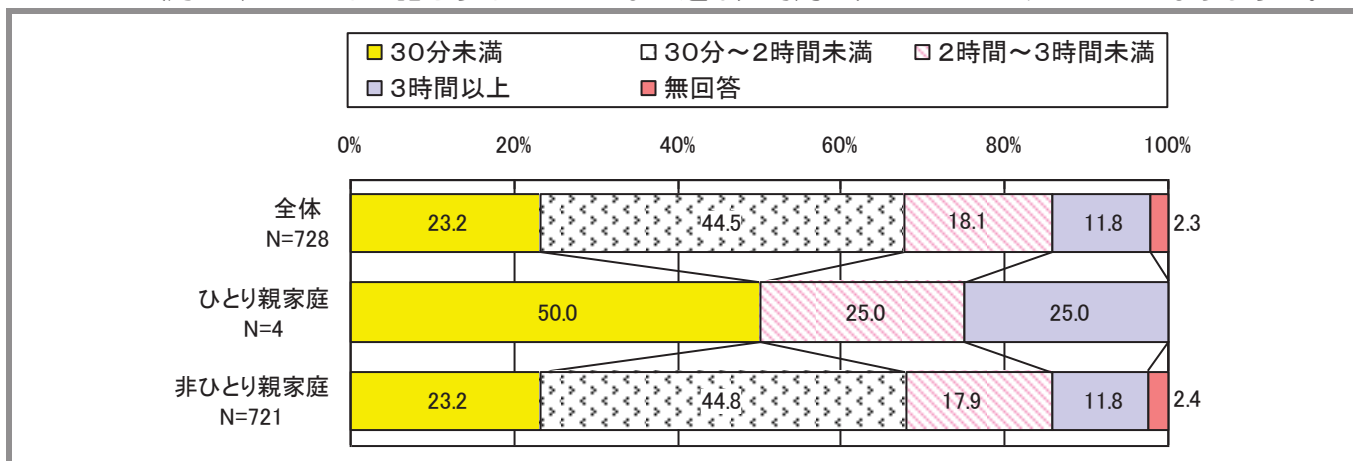
● 働いている父親の就労体制は上のおりで、「土曜出勤」は全体の30.5%、同じく「日曜・祝日出勤」は24.3%となっている。

問20 問17で1～5または7を選んだ方はだいたいの帰宅時間を教えてください。該当の番号に○をつけてください。



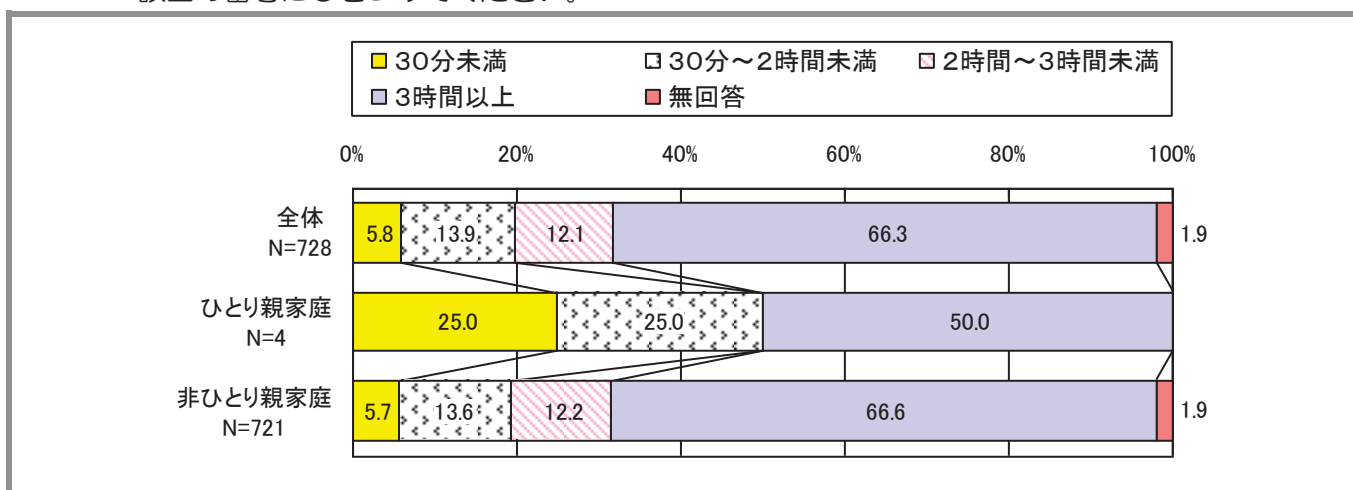
● 働いている父親の帰宅時間については、「18～20時」が41.1%と最も多く、以下、「20～22時」が33.0%、「交替勤務で帰宅時間は決まっていない」が9.6%、「22時以降（早朝帰宅も含む）」が8.4%と続いている。

問21 問17で1～7を選んだ方は、就労日（仕事のある日）にお子さんといっしょに過ごしている（同じ部屋にいる・話をする・いっしょに遊ぶ）時間は、だいたいどれくらいになりますか。



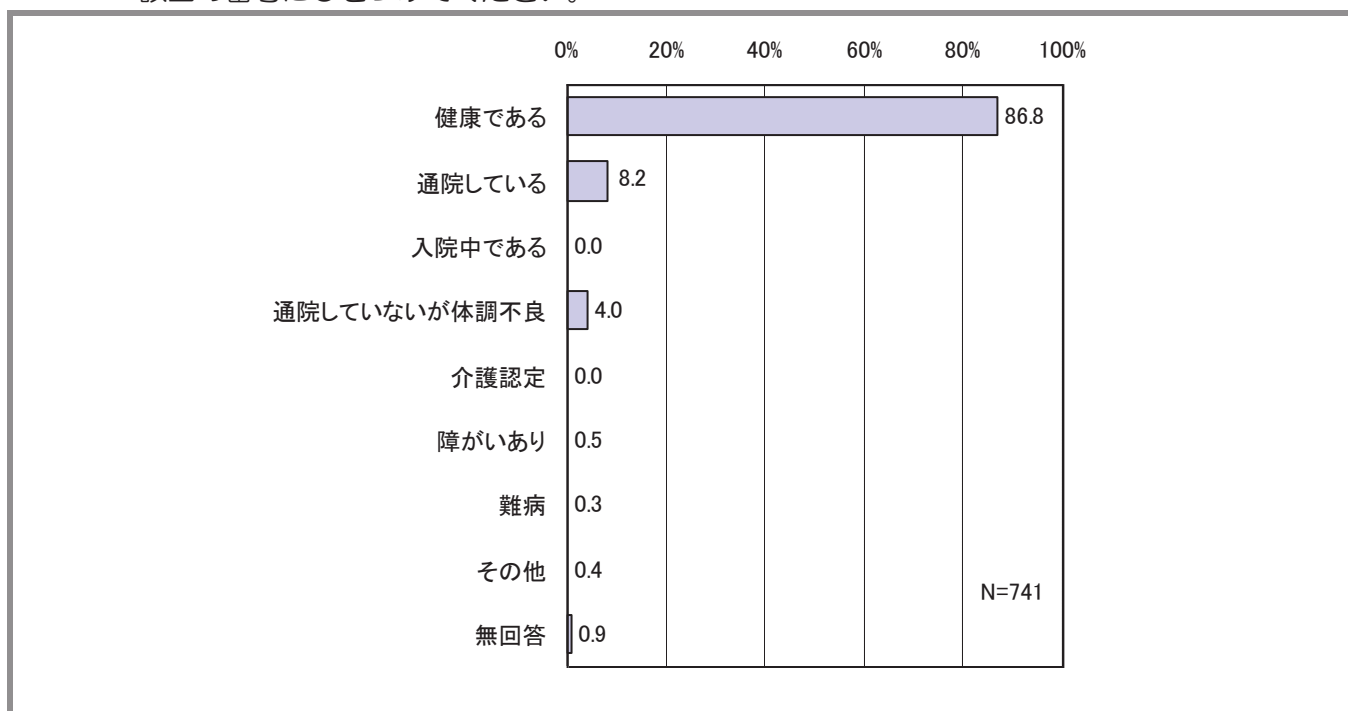
- 働いている父親が就労日に子どもといっしょに過ごしている時間については、「30分～2時間未満」が全体の44.5%と最も多くなっており、「30分未満」が23.2%で、それに続いている。

問22 問17で1～7を選んだ方は休日（仕事のない日）にお子さんといっしょに過ごしている（同じ部屋にいる・話をする・いっしょに遊ぶ）時間は、だいたいどれくらいになりますか。該当の番号に○をつけてください。

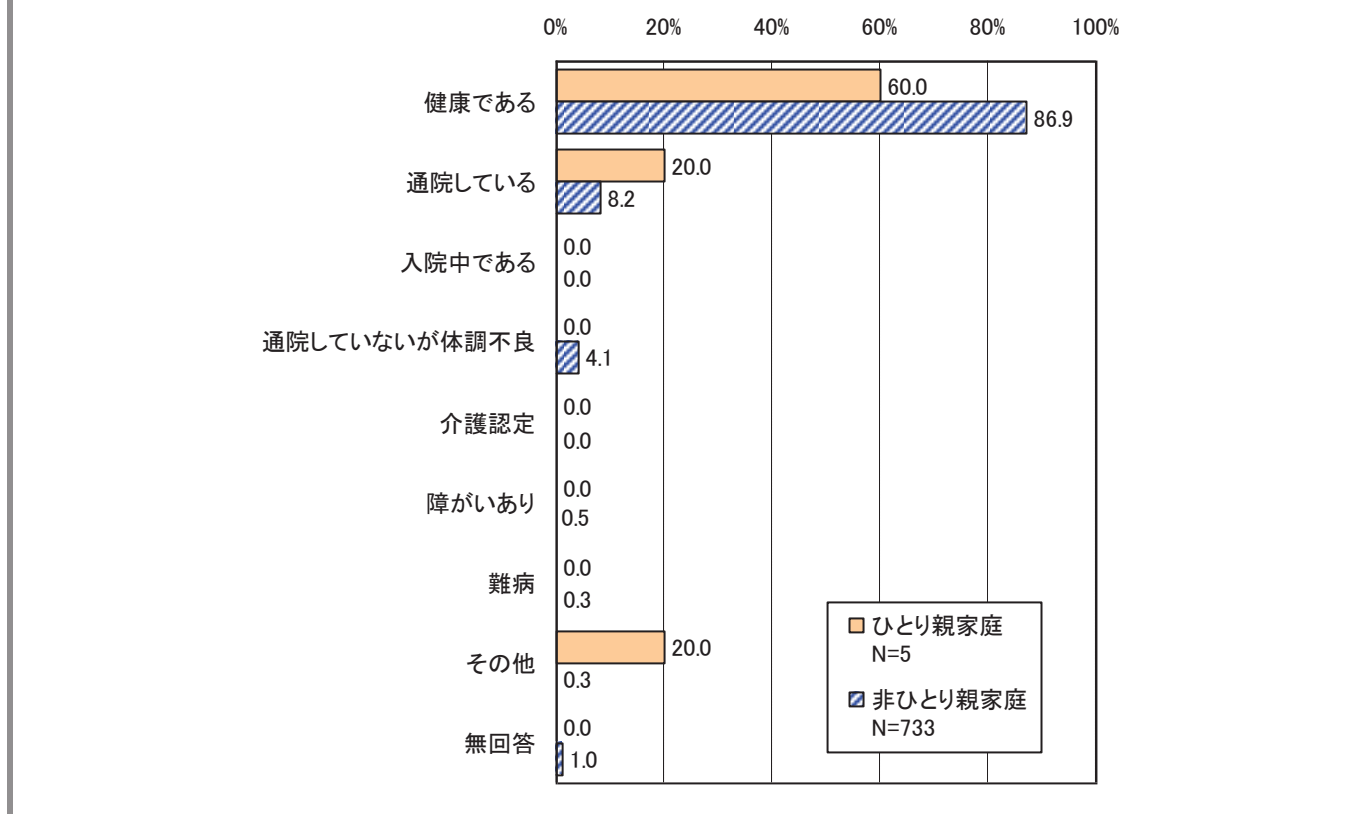


- 働いている父親が休日に子どもといっしょに過ごしている時間については、「3時間以上」が全体の66.3%と最も多くなっており、「30分未満」という回答は5.8%となっている。

問23 現在の健康状態はいかがですか？
該当の番号に○をつけてください。

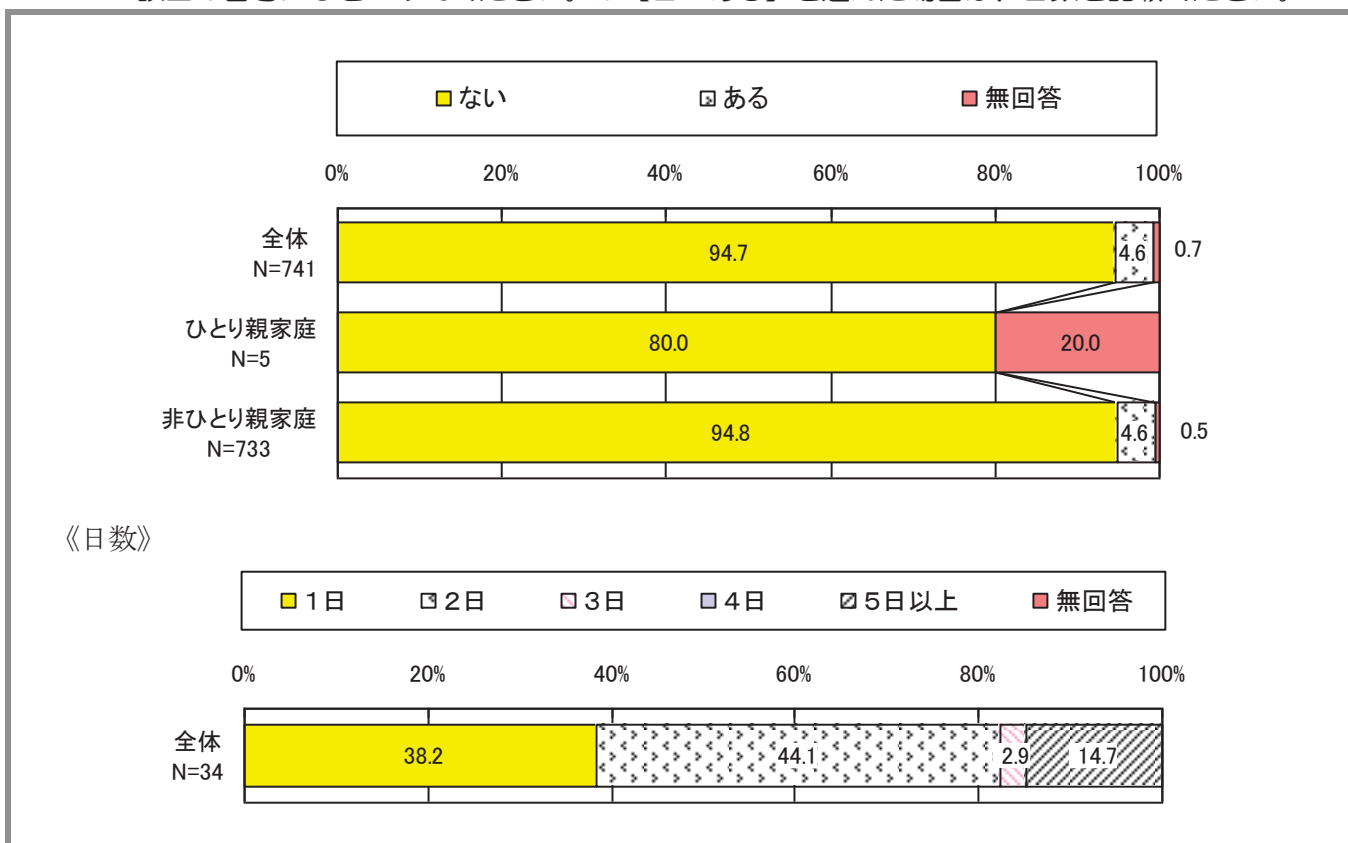


《家庭状況別クロス集計結果》



● 父親の健康状態について「健康である」と回答した人は全体の86.8%で、「通院している」は8.2%、「通院していないが体調不良」は4.0%となっている。

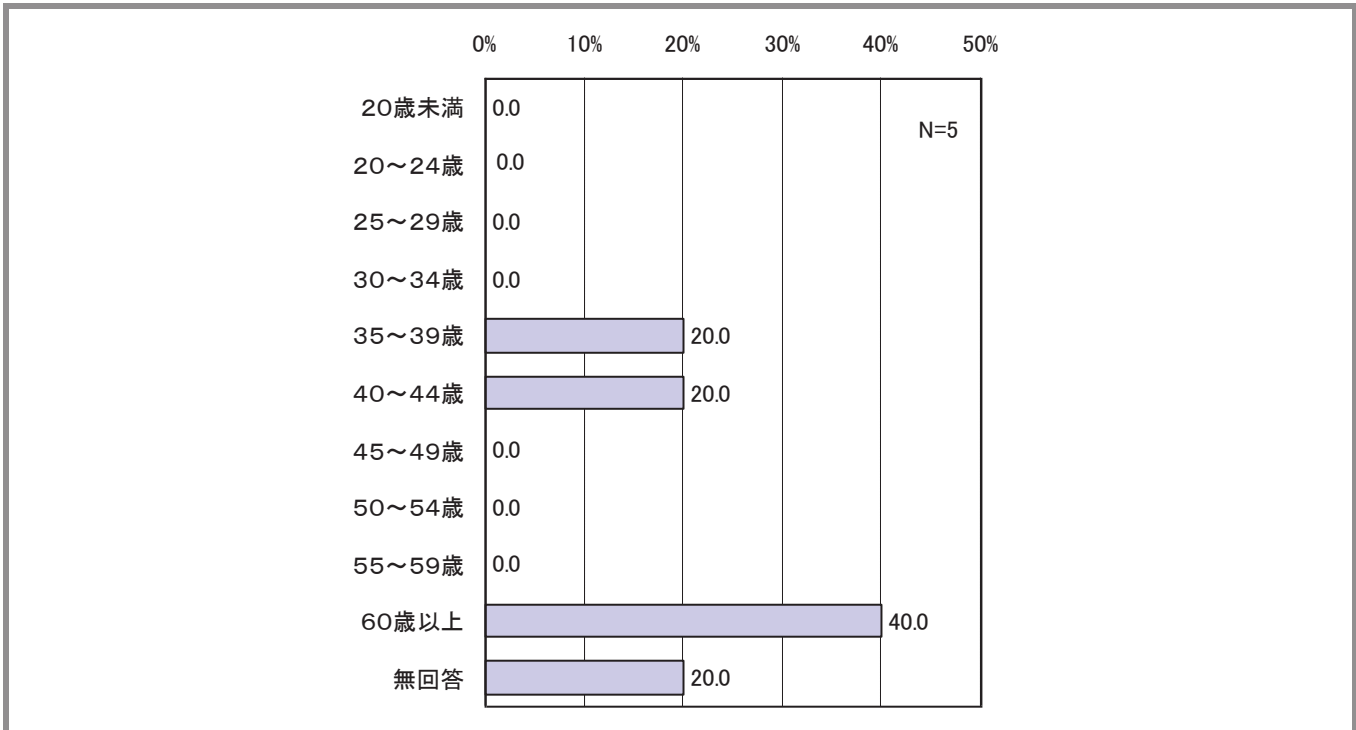
問24 過去1か月の間に体調不良で仕事を休んだり、家事ができなかったりした日はありますか？
 該当の番号に○をつけてください。※【2 ある】を選んだ場合は、日数を記載ください。



- 過去1か月の間に体調不良で仕事を休んだり、家事ができなかったりした日が「ある」父親は全体の4.6%となっている。
- その日数については、「2日」が44.1%と最も多く、2日以下が82.3%を占めている。

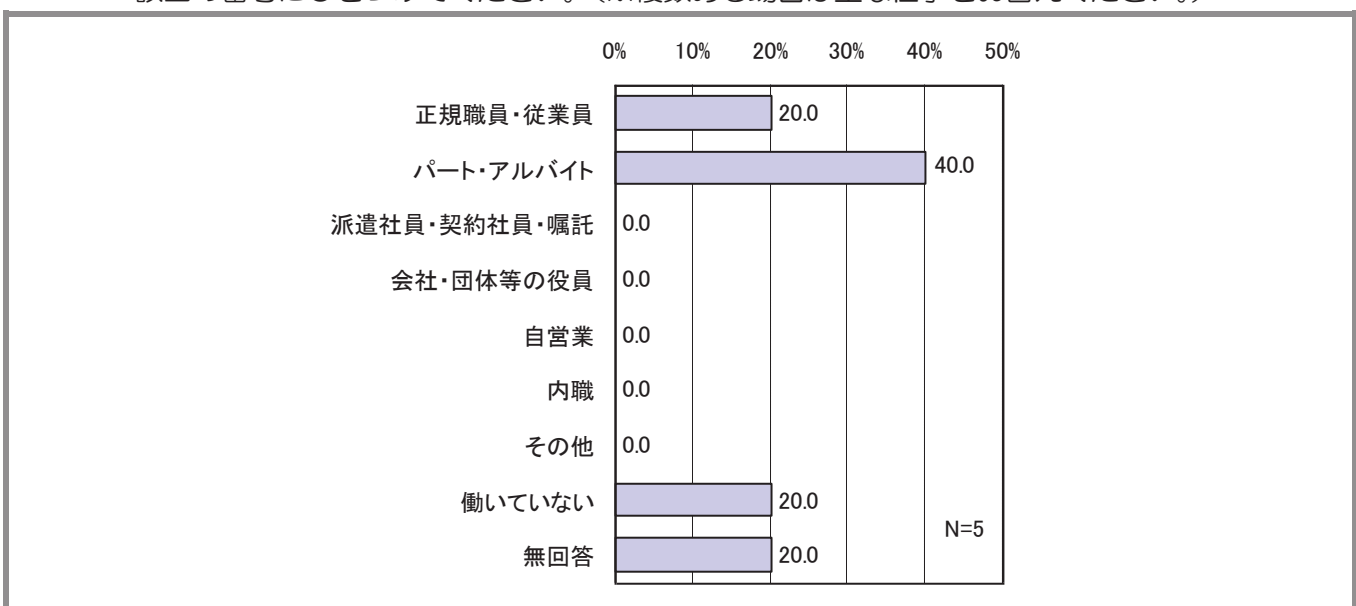
4. 母親・父親以外が主にお子さんを観ている場合、その方について

問25 保護者の年齢をお答えください。
 該当の番号に○をつけてください。

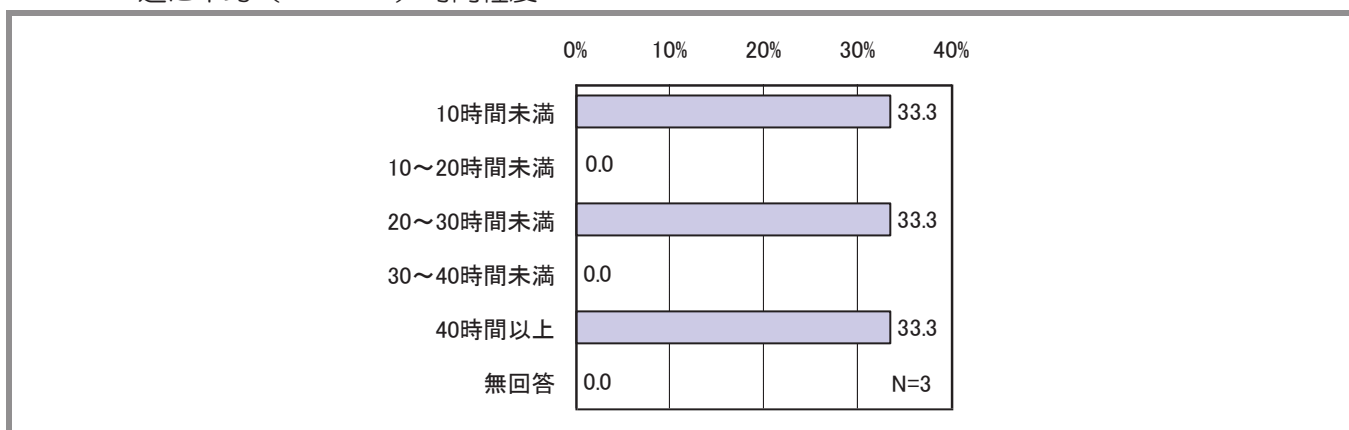


● 母親・父親以外が主にお子さんを観ている場合については、全体で5件の回答があったが、回答数が極めて少ないため、以下、問33までは調査結果のグラフ掲載のみとする。

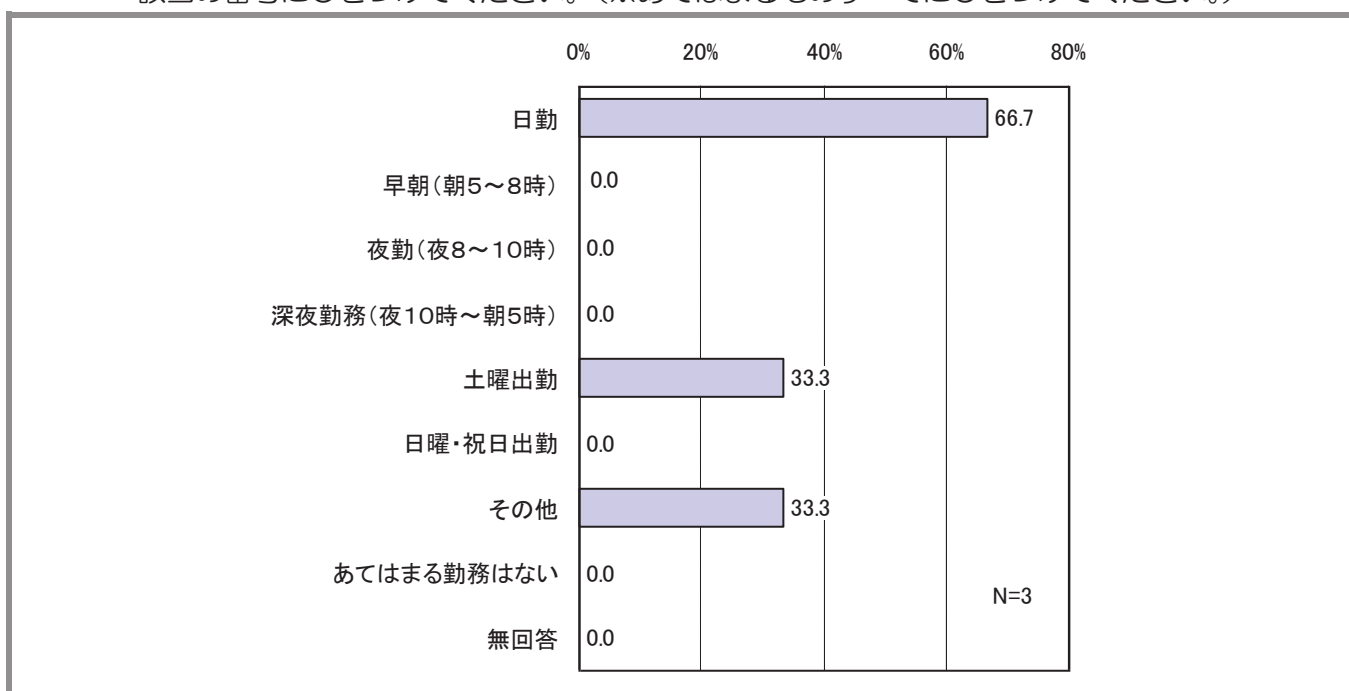
問26 保護者の仕事についてお答えください。
 該当の番号に○をつけてください。（※複数ある場合は主な仕事をお答えください。）



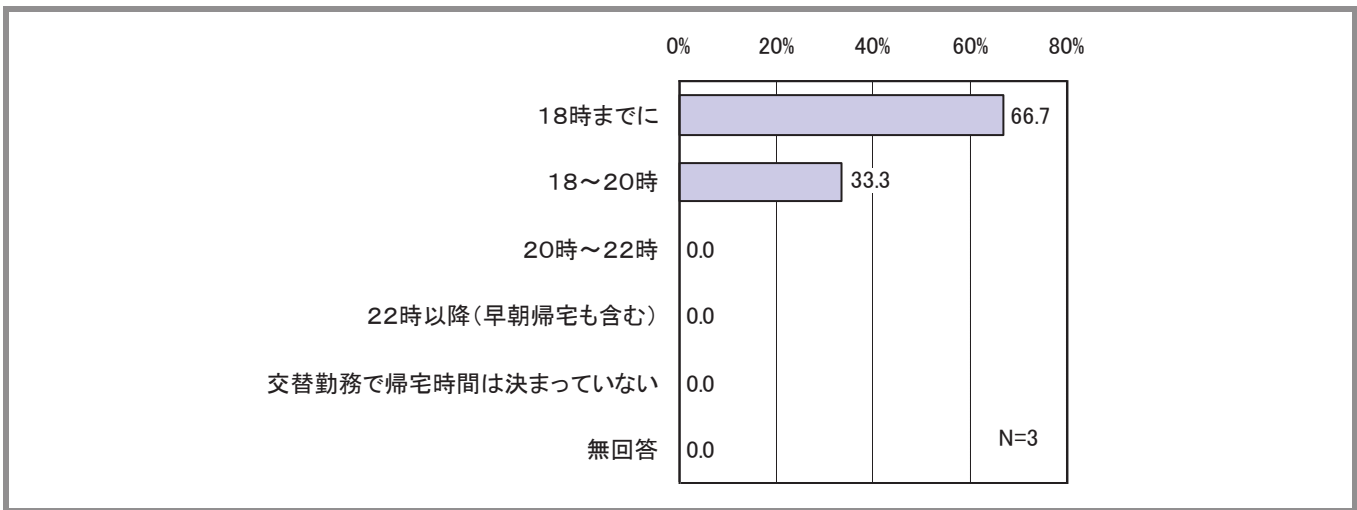
問27 問26で1～7を選んだ方は1週間の平均就労時間はどれくらいですか？
週に平均（ ）時間程度



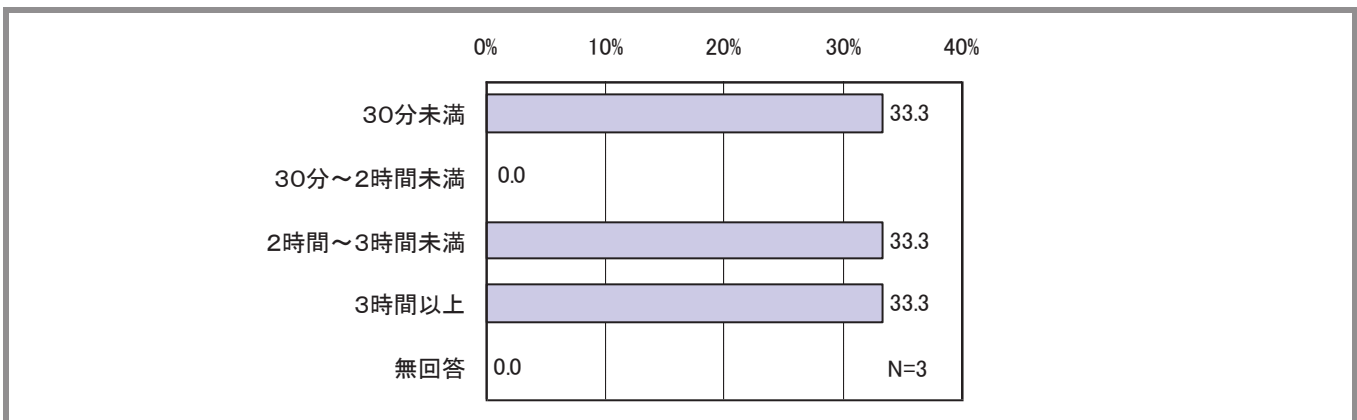
問28 問26で1～7を選んだ方は就労体制はつぎのどれにあたりますか？
該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）



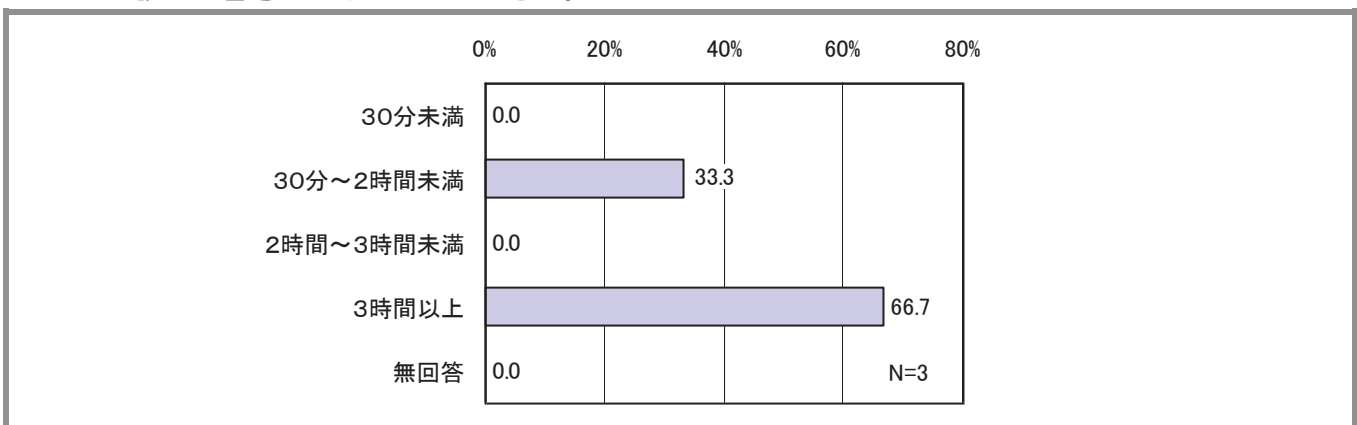
問29 問26で1～5または7を選んだ方はだいたいの帰宅時間を教えてください。
該当の番号に○をつけてください。



問30 問26で1～7を選んだ方は、就労日(仕事のある日)にお子さんといっしょに過ごしている(同じ部屋にいる・話をする・いっしょに遊ぶ)時間は、だいたいどれくらいになりますか? 該当の番号に○をつけてください。

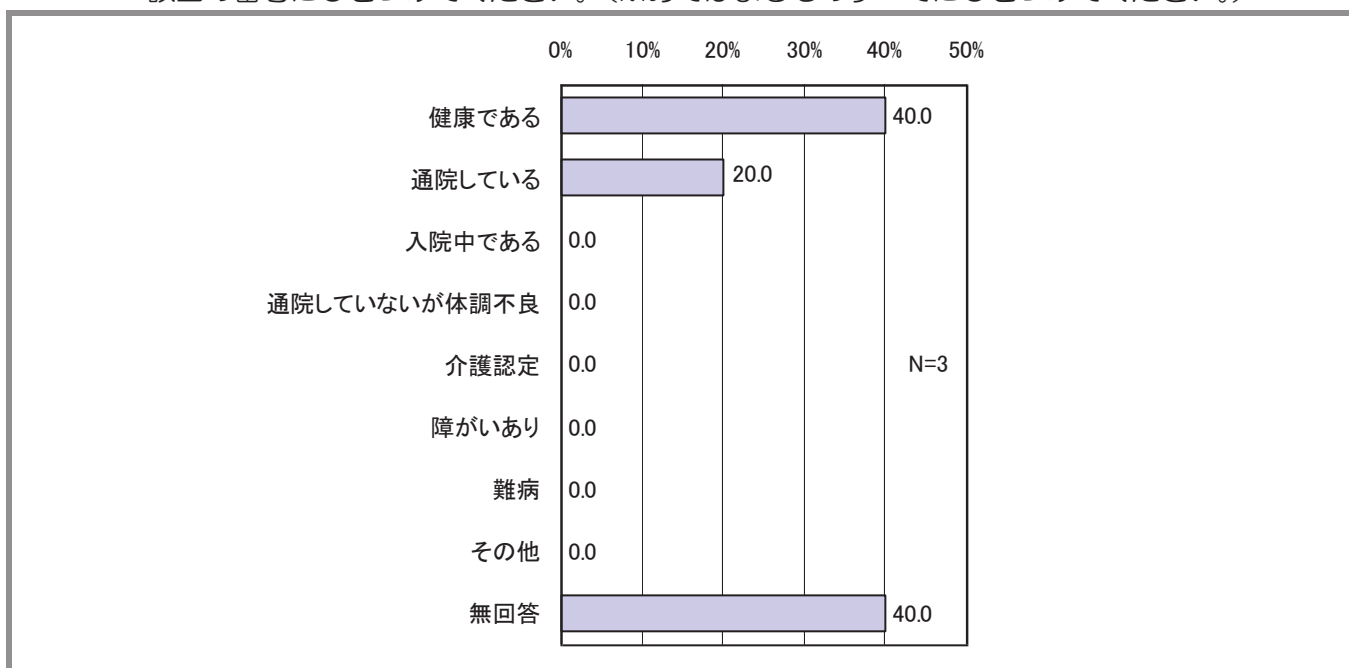


問31 問26で1～7を選んだ方は、休日(仕事のない日)にお子さんといっしょに過ごしている(同じ部屋にいる・話をする・いっしょに遊ぶ)時間は、だいたいどれくらいになりますか? 該当の番号に○をつけてください。



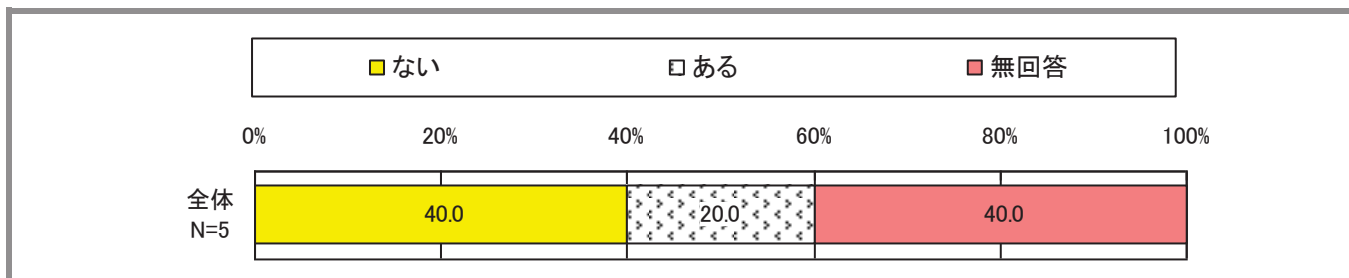
問32 現在の健康状態はいかがですか？

該当の番号に○をつけてください。(※あてはまるものすべてに○をつけてください。)



問33 過去1か月の間に体調不良で仕事を休んだり、家事ができなかったりした日はありますか？

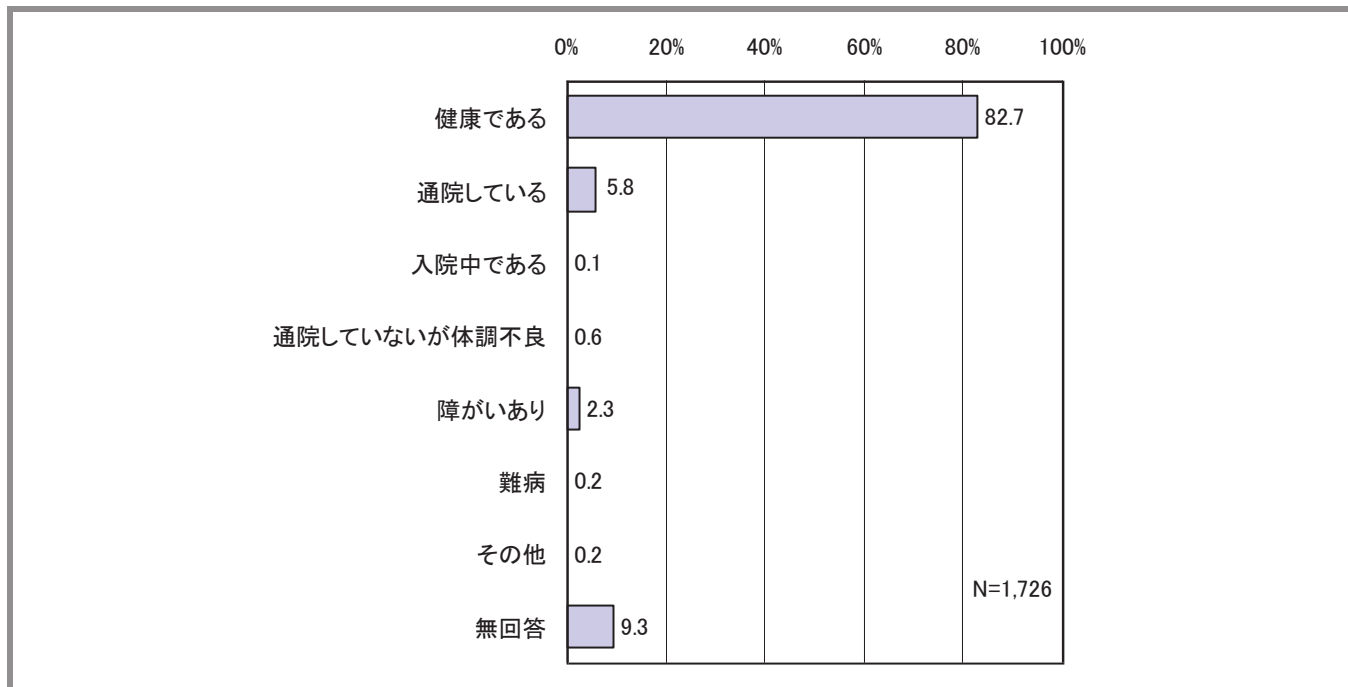
該当の番号に○をつけてください。※【2. ある】を選んだ場合は、日数を記載ください。



5. 子どもの健康状態について

問34 お子さんの現在の健康状態はいかがですか？

それぞれのお子さんごとに ※ のあてはまる番号をすべて記載ください。



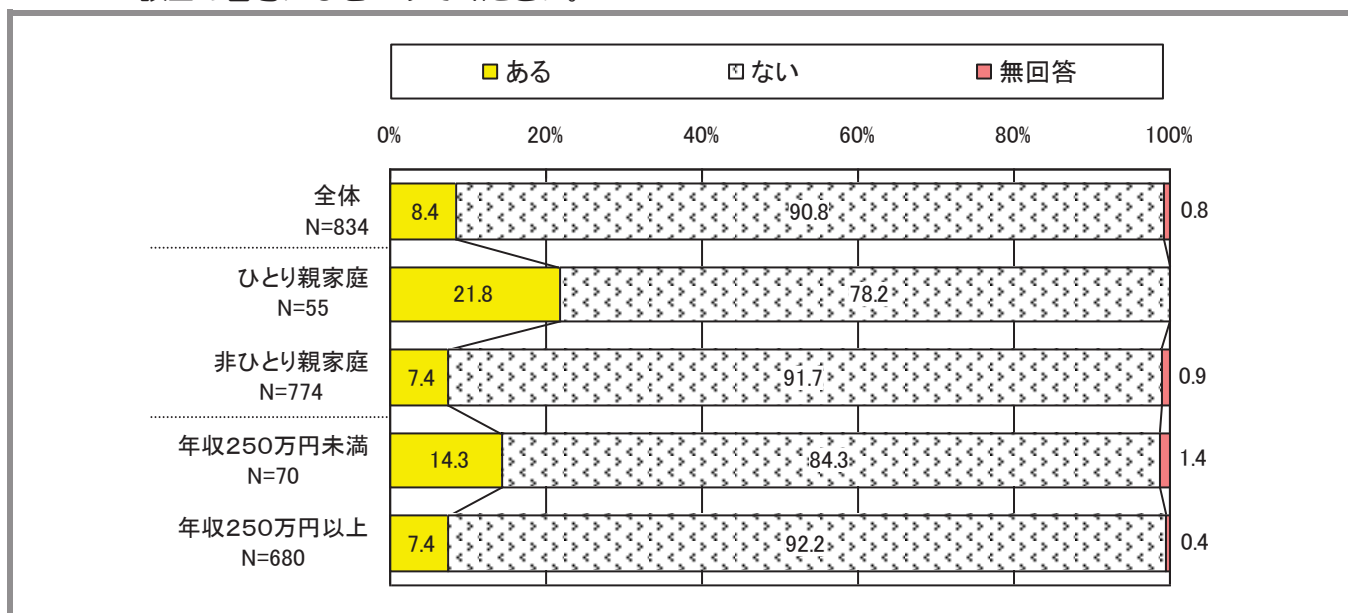
- 子どもの健康状態については、「健康である」が全体の 82.7%で、「通院している」は 5.8%、「障がいあり」は 2.3%となっている。
- 子どもの世代別クロス集計結果は次ページのとおりで、「障がいあり」の回答割合は、小学生 (4.5%) が他の世代に比べやや高くなっている。

《子どもの世代別クロス集計》

(単位:%)

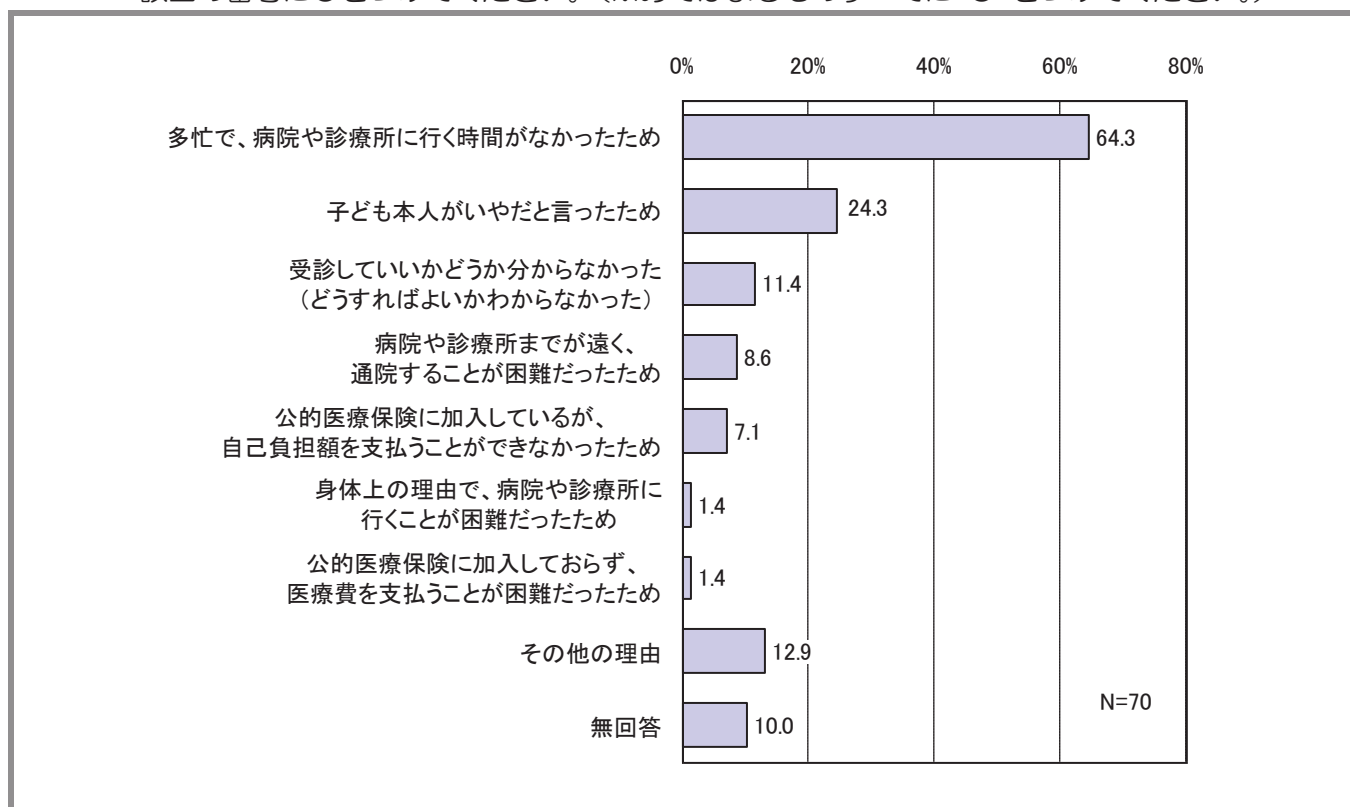
	健康である	通院している	入院中である	通院していないが体調不良	障がいあり	難病	その他	無回答
未就学児 N=524	89.5	7.3	0.2	0.6	1.1	0.0	0.0	1.9
小学生 N=487	88.1	6.0	0.0	0.6	4.5	0.2	0.4	2.7
中学生 N=236	88.6	5.9	0.0	0.8	1.7	0.0	0.0	3.8
高校生 N=229	84.3	5.2	0.0	0.9	2.6	0.9	0.0	7.0
大学生 (短大・専門学校等含む) N=57	91.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
働いているお子さん N=59	89.8	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	6.8
その他 N=6	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7

問35 過去1年間にお子さんの病気やけがのための治療を受診した方がいいと思ったが、受診しなかったことがありますか？
 該当の番号に○をつけてください。



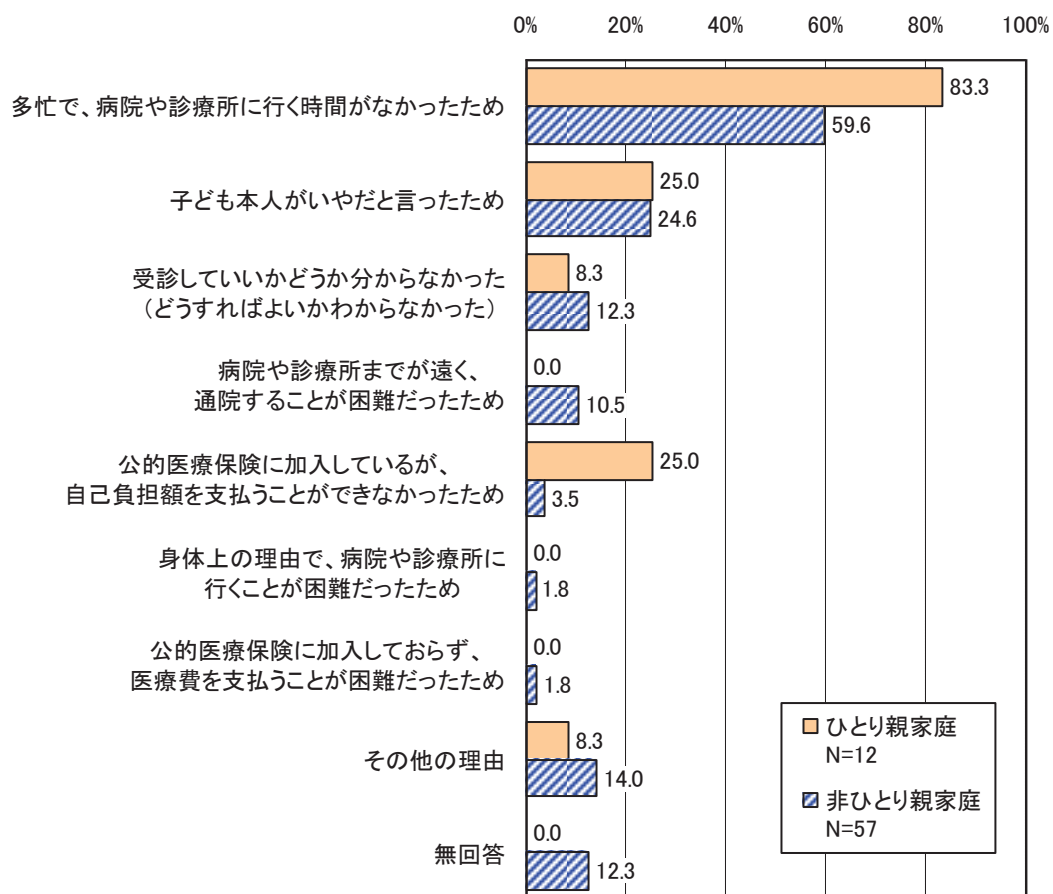
- 過去1年間にお子さんの病気やけがのための治療を受診した方がいいと思ったが、受診しなかったことが「ある」と回答した世帯の割合は全体の8.4%となっている。
- ひとり親家庭では、「ある」の割合が21.8%と、非ひとり親家庭（7.4%）に比べ14.4ポイント高くなっている。

問36 問35で「1. ある」を選んだ方にお伺いします。受診しなかった理由をお答えください。該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）



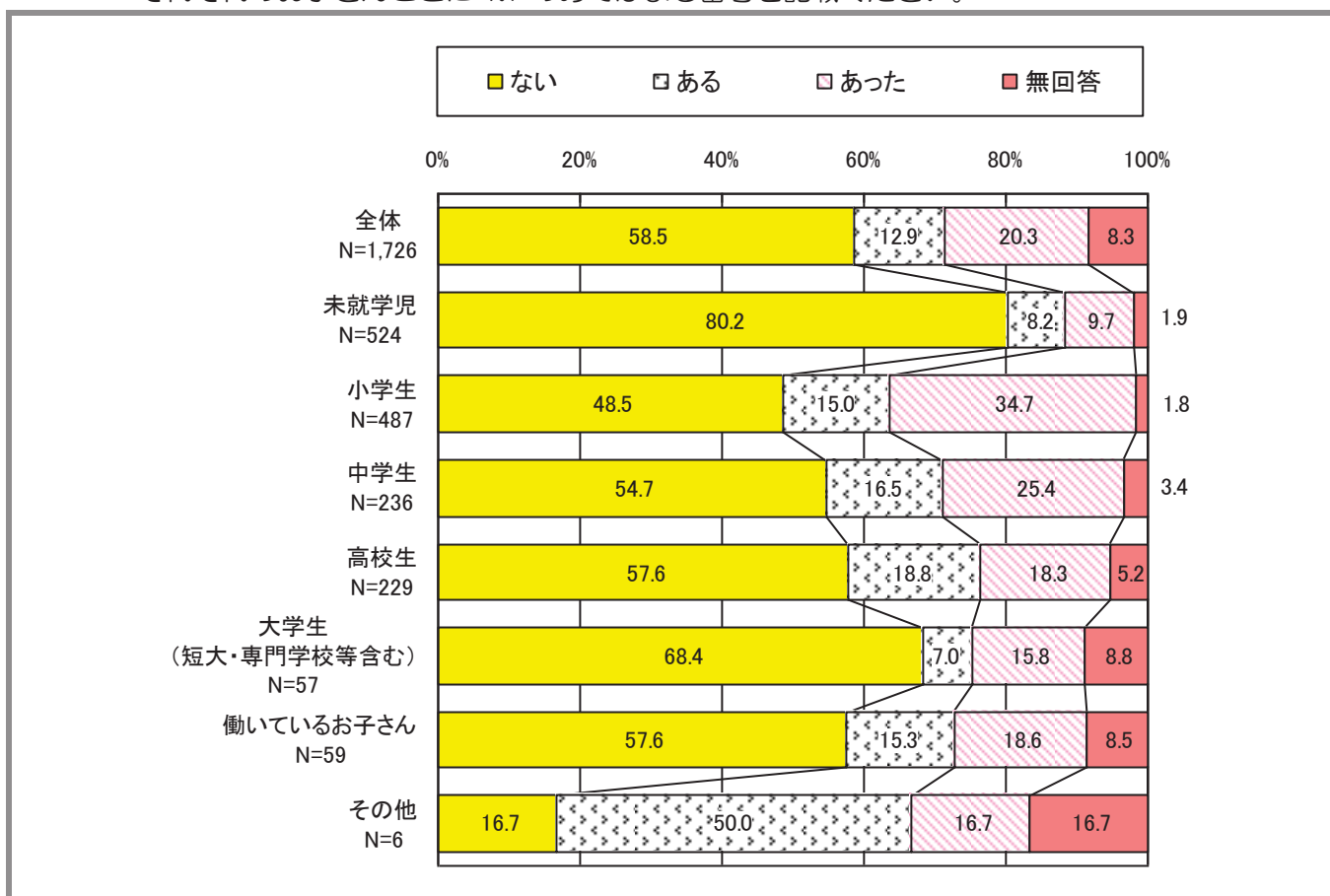
- 前問で過去1年間にお子さんの病気やけがのための治療を受診した方がいいと思ったが、受診しなかったことが「ある」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「多忙で、病院や診療所に行く時間がなかったため」が64.3%と最も多く、「子ども本人がいやだと言ったため」が24.3%でそれに続いている。
- 「公的医療保険に加入しているが、自己負担額を支払うことができなかったため」という回答は全体の7.1%となっているが、ひとり親家庭に限って見ると25.0%となっている（次ページ参照）。

《家庭の状況別クロス集計》



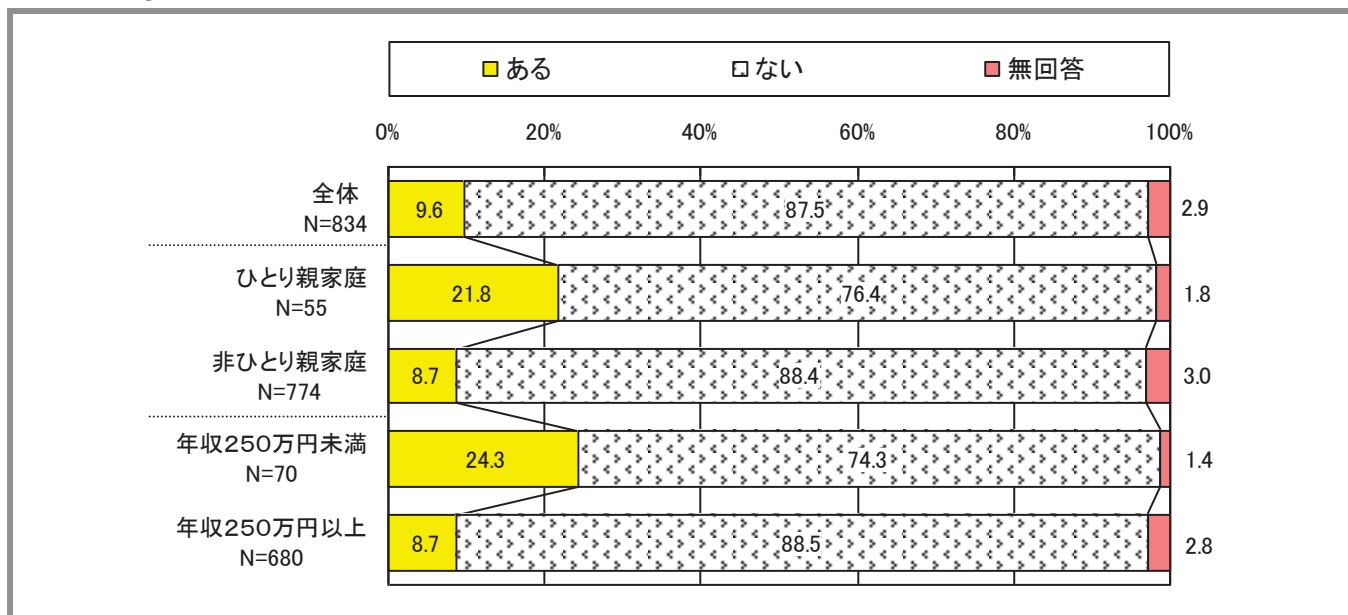
問37 虫歯について

それぞれのお子さんごとに ※ のあてはまる番号を記載ください。



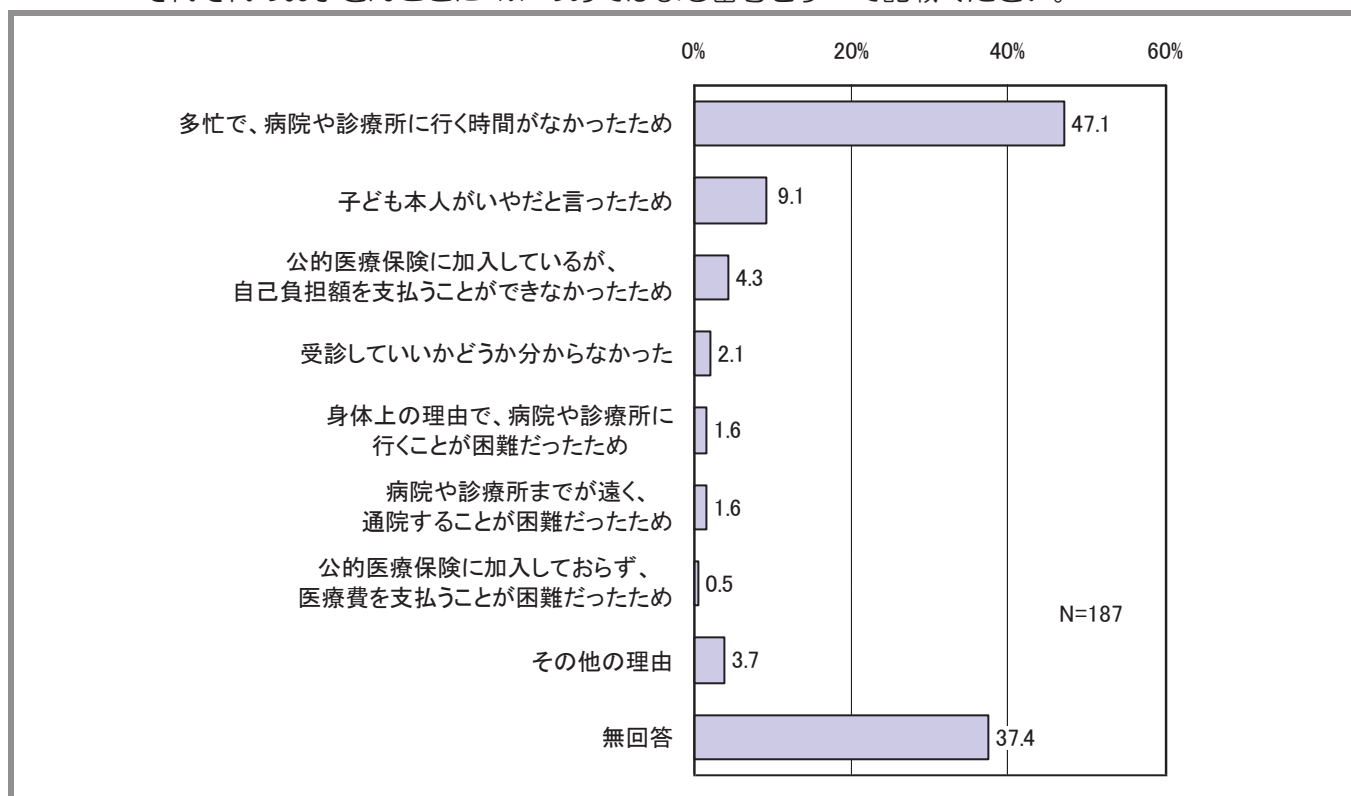
- 子どもの虫歯については、「ない」が全体の58.5%、「ある」が12.9%、「あった」が20.3%となっている。
- 子どもの世代別に見ると、未就学児では「ない」が80.2%と大半を占めているが、小学生では48.5%と一気に31.7ポイント低くなっている。

問38 お子さんの虫歯の治療のための受診をした方がいいと思ったが、受診しなかったことがありますか？



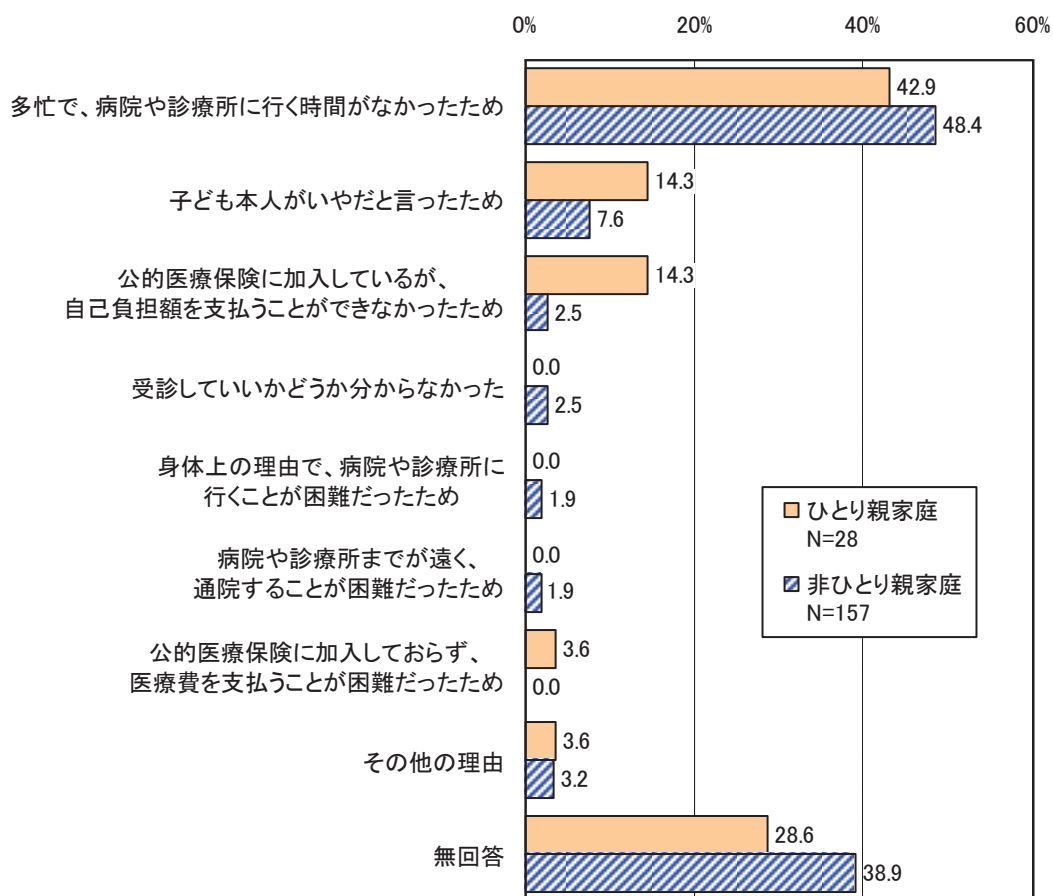
- 子どもの虫歯治療のため受診した方がいいと思ったが、受診しなかったことが「ある」と回答した世帯の割合は全体の9.6%となっている。
- ひとり親家庭では、「ある」の割合が21.8%と、非ひとり親家庭（8.7%）に比べ13.1ポイント高くなっている。

問39 問38で「1. ある」を選んだ方にお伺いします。受診しなかった理由をお答えください。それぞれのお子さんごとに ※ のあてはまる番号をすべて記載ください。



- 前問で子どもの虫歯治療のため受診した方がいいと思ったが、受診しなかったことが「ある」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「多忙で、病院や診療所に行く時間がなかったため」が47.1%と最も多く、「子ども本人がいやだと言ったため」が9.1%でそれに続いている。
- 「公的医療保険に加入しているが、自己負担額を支払うことができなかったため」という回答は全体の4.3%となっているが、ひとり親家庭に限って見ると14.3%となっている（次ページ参照）。
- 子どもの世代別に見ると、未就学児では「受診していいかどうか分からなかった」という回答(12.5%)も見られる（次々ページ参照）。

《家庭の状況別クロス集計》



《子どもの世代別クロス集計》

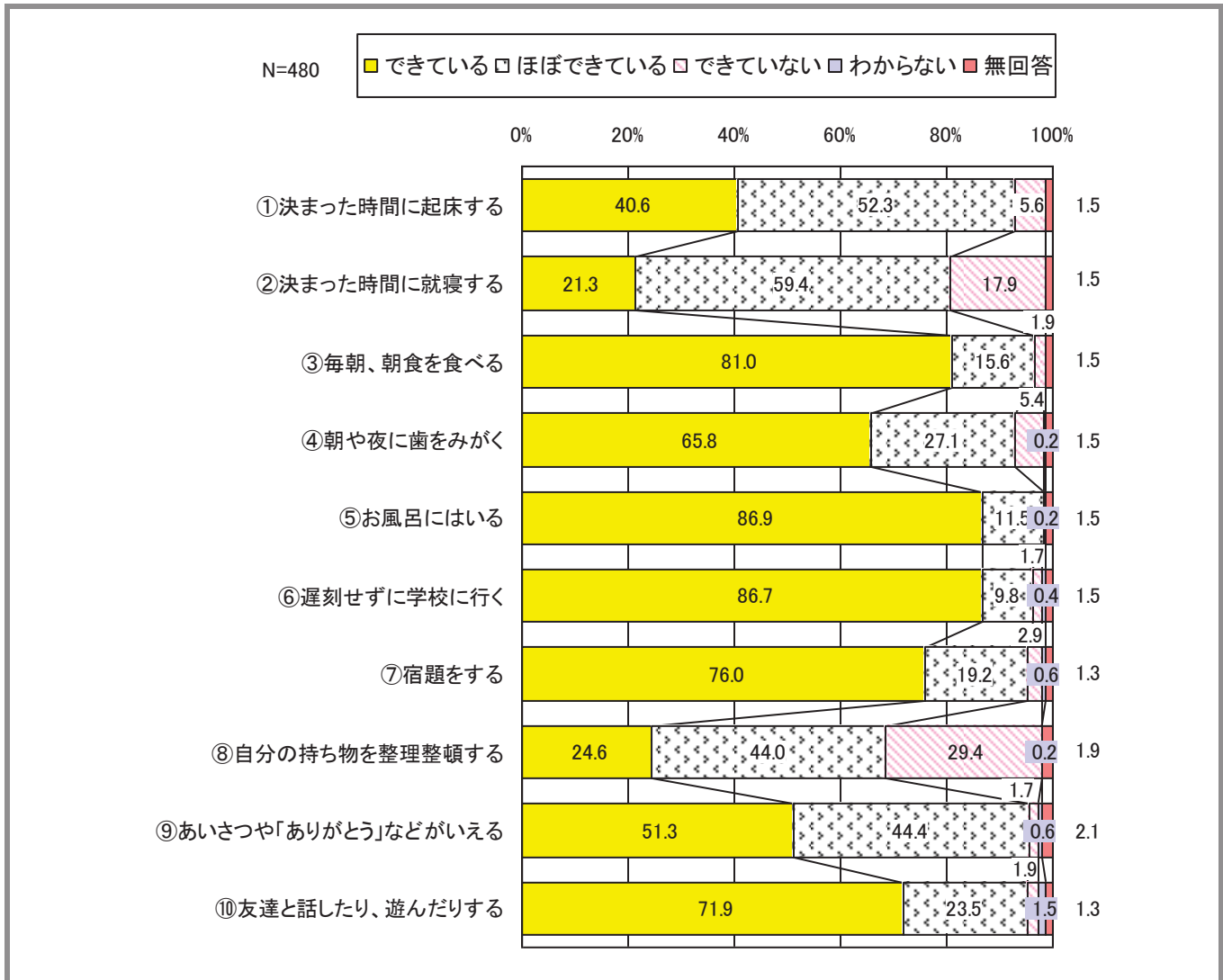
(単位:%)

	多忙で、病院や診療所に行く時間がなかったため	子ども本人がいやだと言ったため	公的医療保険に加入しているが、自己負担額を支払うことができなかったため	受診していいかどうか分からなかった	身体上の理由で、病院や診療所に行くことが困難だったため	病院や診療所までが遠く、通院することが困難だったため	公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが困難だったため	その他の理由	無回答
未就学児 N=24	29.2	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	50.0
小学生 N=42	50.0	7.1	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0	2.4	33.3
中学生 N=41	70.7	12.2	4.9	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	17.1
高校生 N=37	48.6	8.1	5.4	0.0	8.1	0.0	0.0	8.1	27.0
大学生 (短大・専門学校等含む) N=6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
働いているお子さん N=13	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5
その他 N=2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 子どもの生活・学習習慣について

問40 お子さんの基本的な生活・学習習慣について、以下の各項目の状況をお答えください。

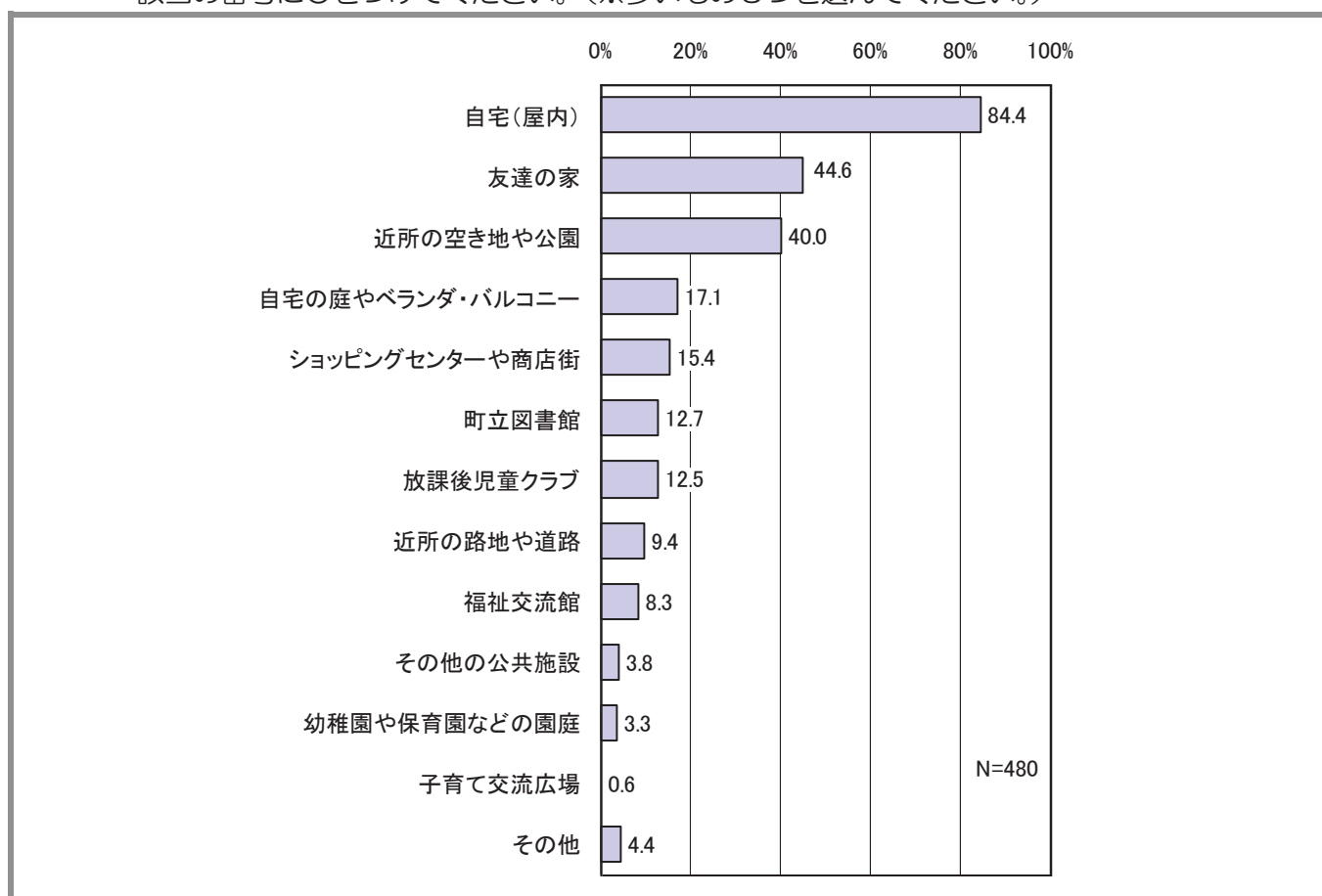
①～⑩のそれぞれについて1～4のいずれかに○をつけてください。



● 子どもの基本的な生活・学習習慣について「できていない」という回答割合が高かったのは、「⑧自分の持ち物を整理整頓する」(29.4%)と「②決まった時間に就寝する」(17.9%)で、「①決まった時間に起床する」(5.6%)と「④朝や夜に歯をみがく」(5.4%)がそれに続いている。

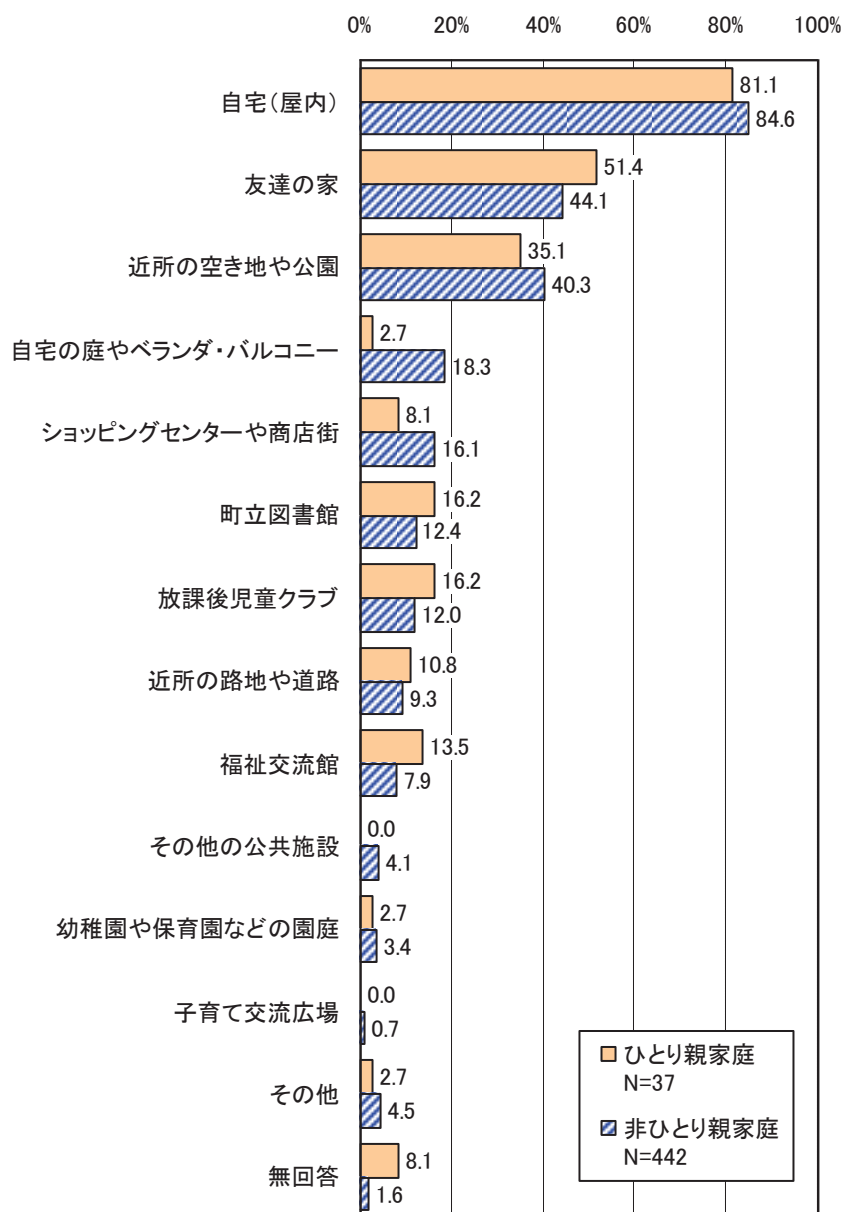
問41 お子さんはどこで遊ぶことが多いですか？

該当の番号に○をつけてください。(※多いもの3つを選んでください。)



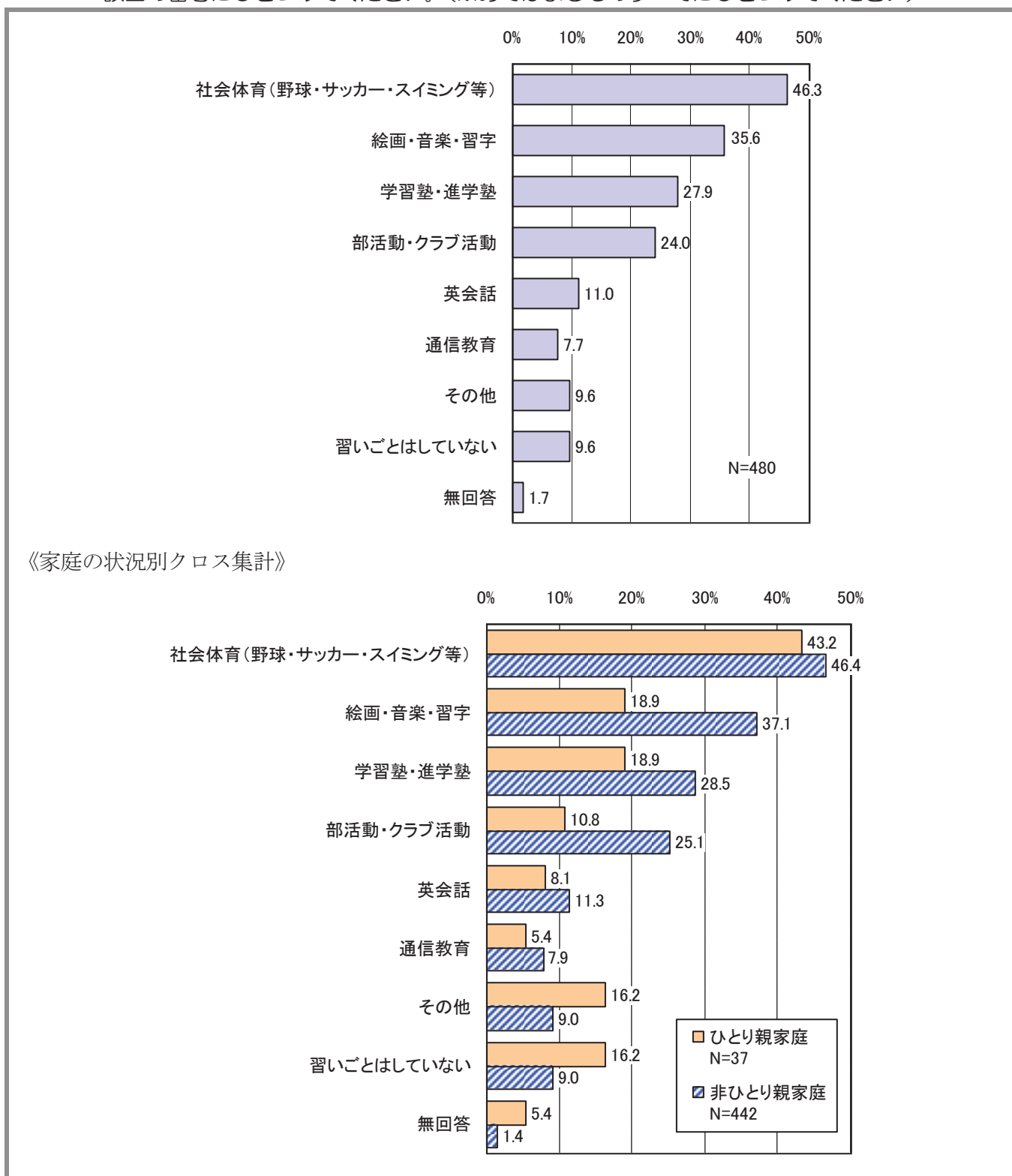
- 子どもの遊ぶ場所については、「自宅（屋内）」が全体の 84.4%と最も多く、「友達の家」（44.6%）や「近所の空き地や公園」（40.0%）がそれに続いている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭では非ひとり親家庭に比べ、「友達の家」や「町立図書館」「放課後児童クラブ」「福祉交流館」の割合がやや高くなっている（次ページ参照）。

《家庭の状況別クロス集計》



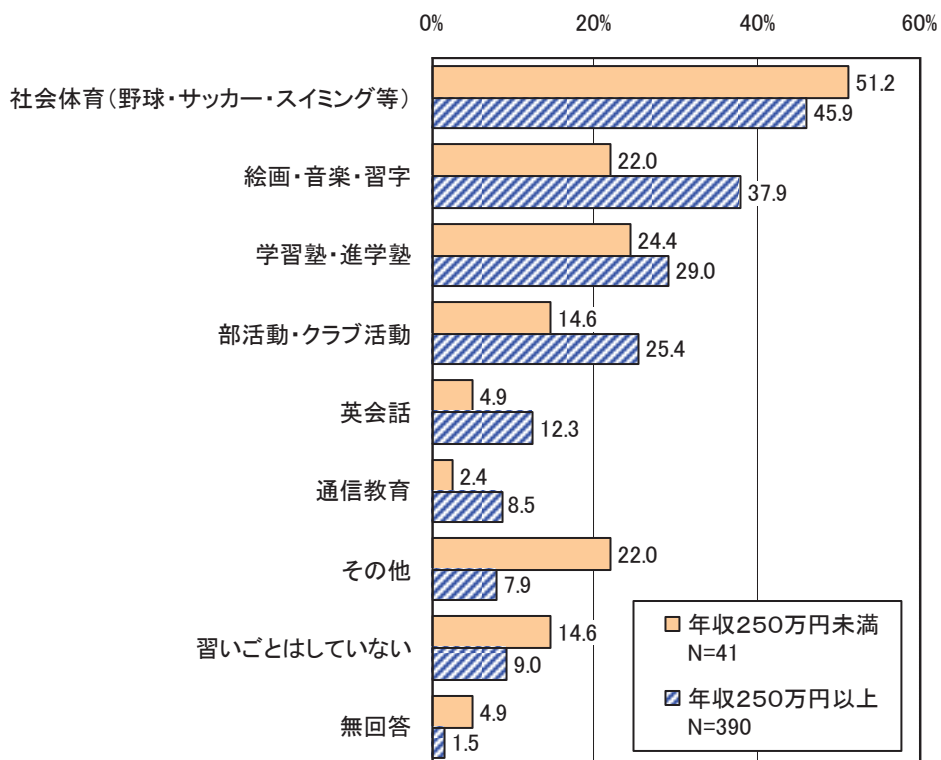
問42 お子さんは、現在習いごと等をしていますか？

該当の番号に○をつけてください。(※あてはまるものすべてに○をつけてください)



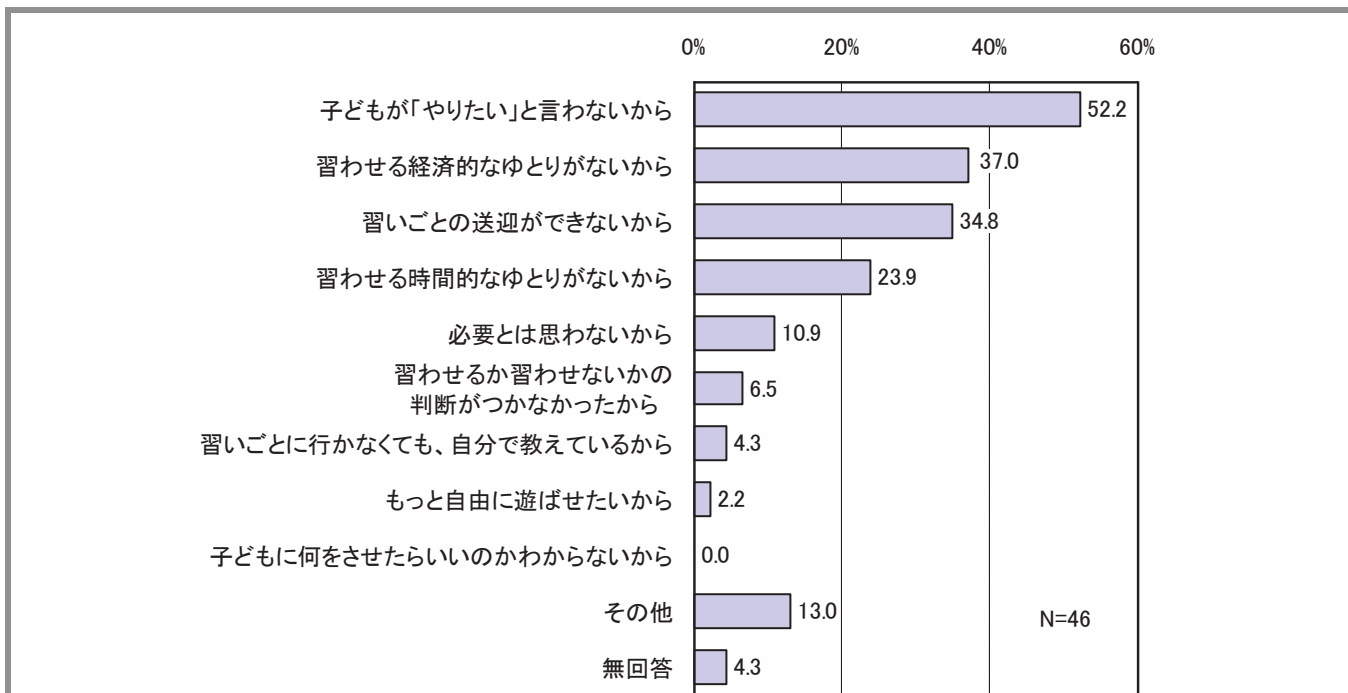
- 子どもの習いごとについては、「社会体育（野球・サッカー・スイミング等）」が全体の46.3%と最も多く、以下、「絵画・音楽・習字」（35.6%）、「学習塾・進学塾」（27.9%）、「部活動・クラブ活動」（24.0%）と続いており、「習いごとはしていない」と回答した家庭の割合は9.6%となっている。
- 「習いごとをしていない」という回答割合は、ひとり親家庭では16.2%と、年収250万円未満の家庭では14.6%（次ページ参照）と、それ以外の家庭に比べ高い割合となっている。

《家庭の状況別クロス集計》

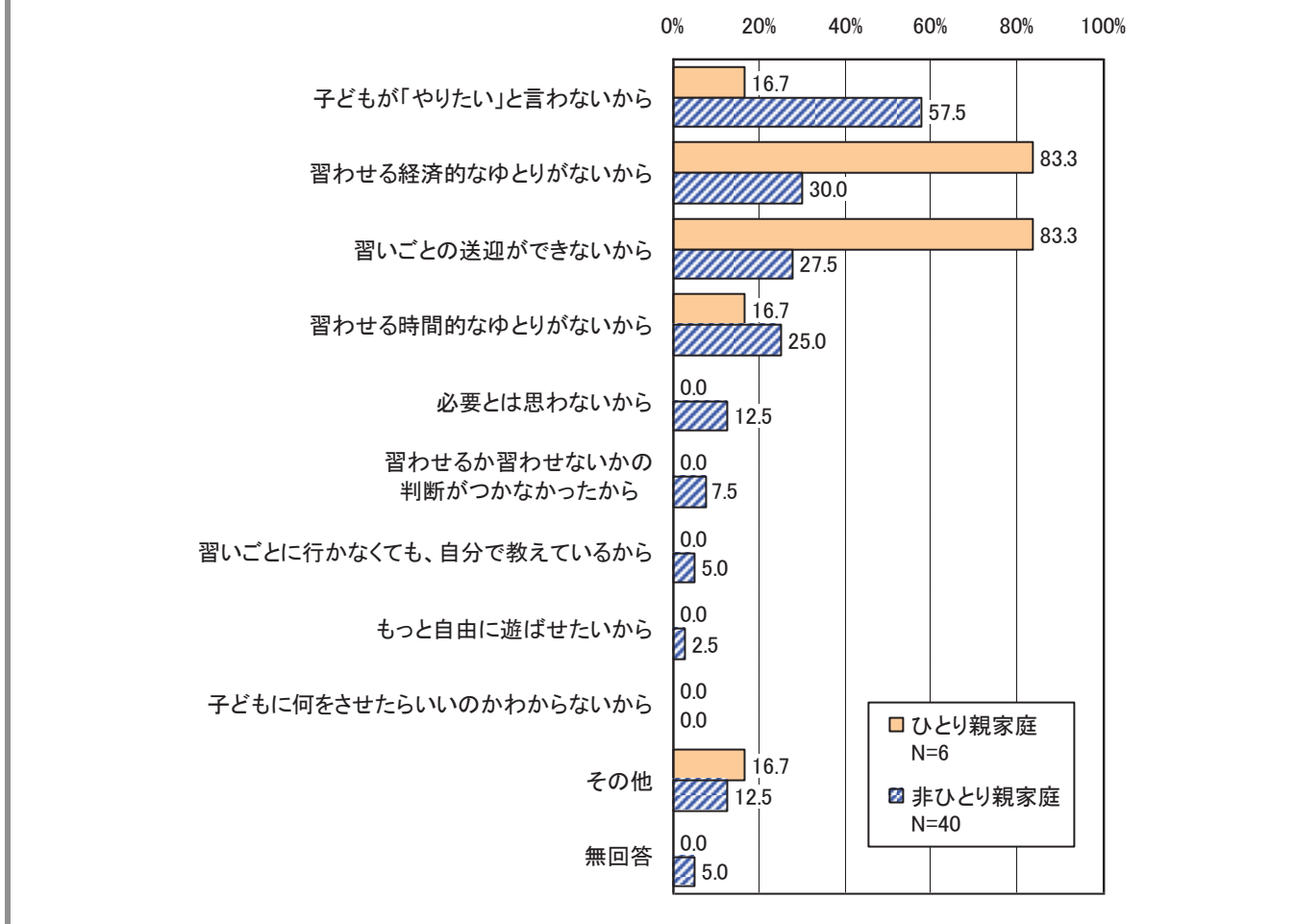


問43 問42で「8. 習いごとはしていない」を選んだ方にお伺いします。習いごとをしていない理由をお答えください。

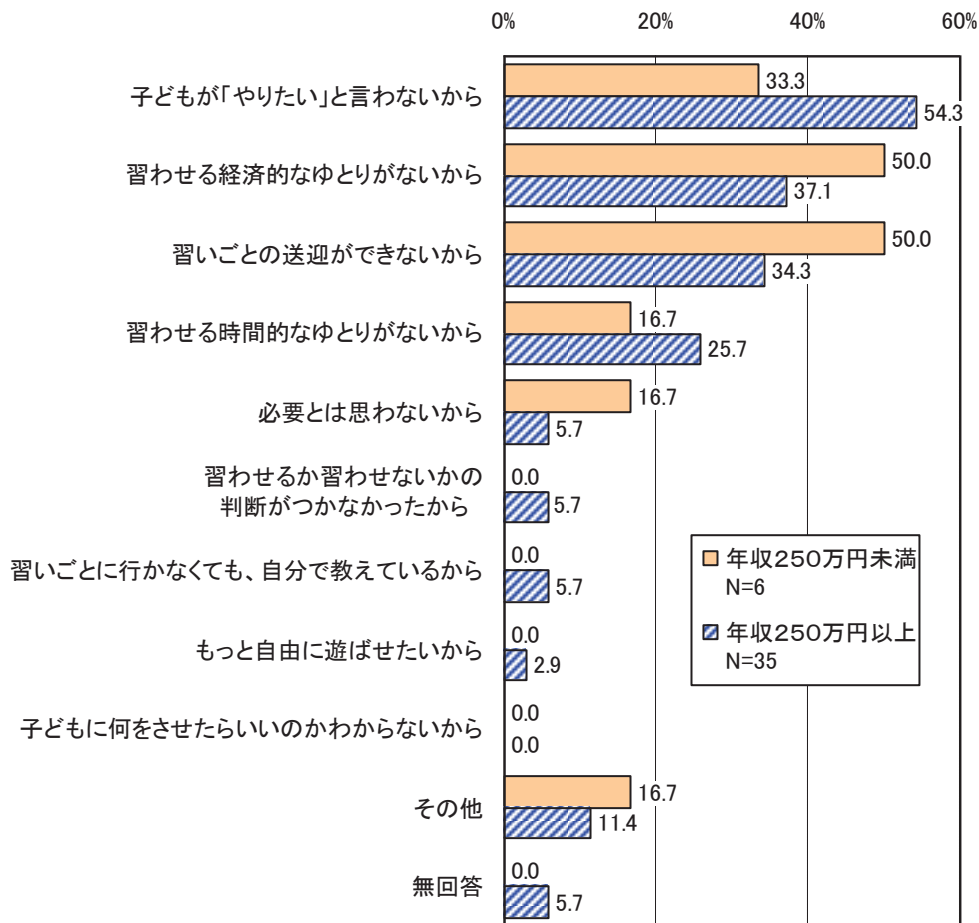
該当の番号に○をつけてください。(※あてはまるものすべてに ○ をつけてください。)



《家庭の状況別クロス集計》

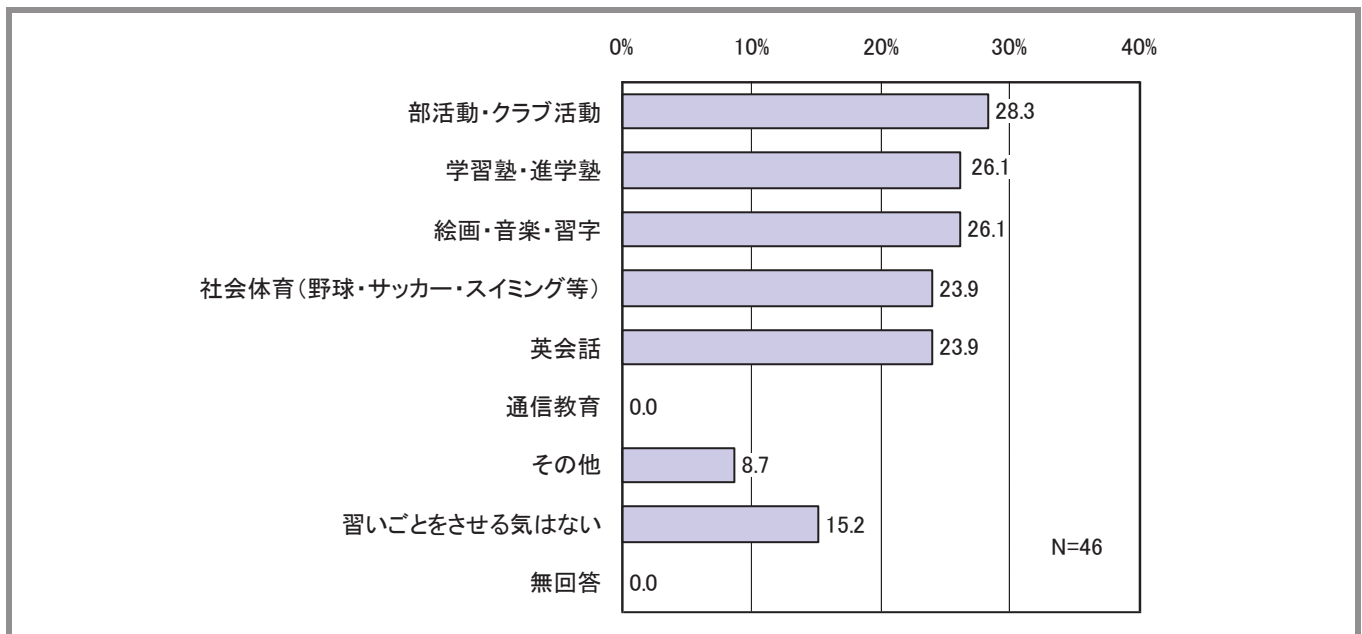


《家庭の状況別クロス集計》



- 子どもは「習いごとはしていない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「子どもが「やりたい」と言わないから」が全体の52.2%と最も多くなっており、以下、「習わせる経済的なゆとりがないから」(37.0%)、「習いごとの送迎ができないから」(34.8%)と続いている(前ページ参照)。
- 家庭の状況別にみると、ひとり親家庭と年収250万円未満の家庭ではそれ以外の家庭に比べ、「習わせる経済的なゆとりがないから」と「習いごとの送迎ができないから」の回答割合が高くなっている。

問44 問42で「8. 習いごとはしていない」を選んだ方にお伺いします。今後、習いごとをさせるとしたら、どんな習い事をさせたいですか？
該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに ○ をつけてください。）

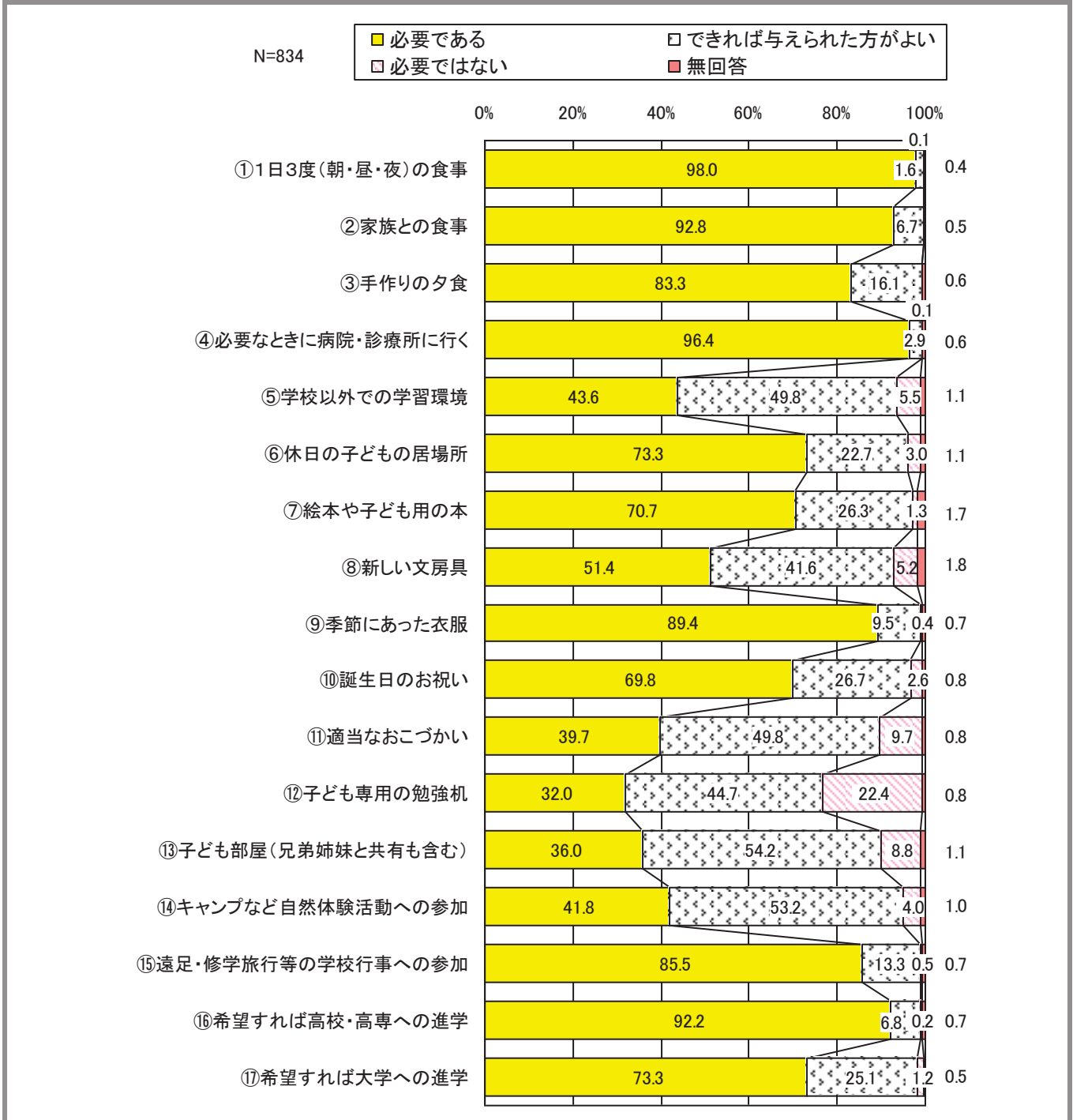


- 子どもは「習いごとはしていない」と回答した人に、今後、習いごとをさせるとしたら、どんな習い事をさせたいかを尋ねたところ、「部活動・クラブ活動」が全体の28.3%と最も多くなっているが、「学習塾・進学塾」「絵画・音楽・習字」（ともに26.1%）、社会体育（野球・サッカー・スイミング等）「英会話」（ともに23.9%）も大差ない割合が続いている。

7. 子どもを取り巻く環境・モノについて

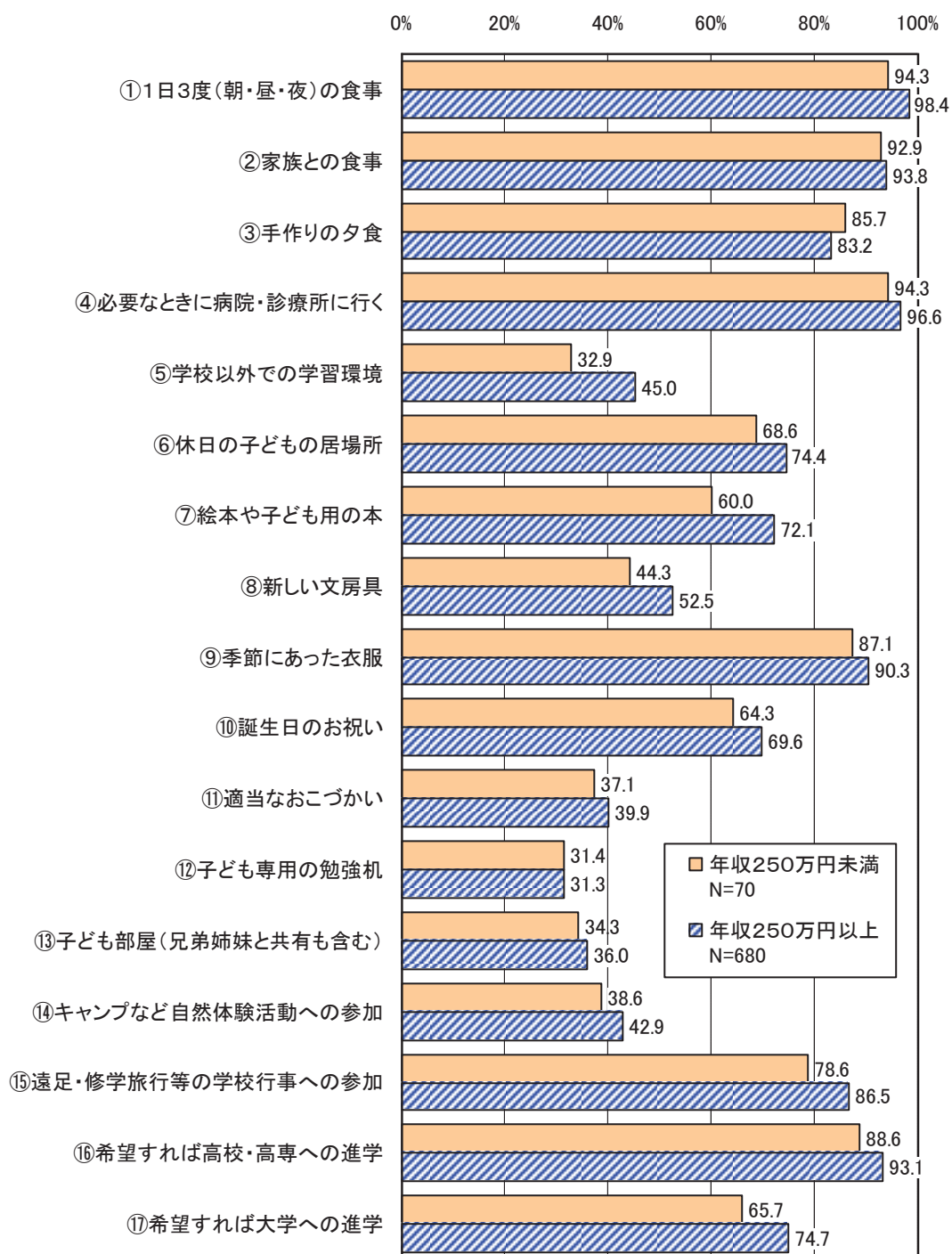
問45 次のような環境・モノについて、子どもにとって必要であると思いますか。

①～⑰のそれぞれについて1～3のいずれかに○をつけてください。



- 子どもを取り巻く環境・モノについて、「必要である」という回答割合が高かったのは、「①1日3度(朝・昼・夜)の食事」(98.0%)、「④必要なときに病院・診療所に行く」(96.4%)、「②家族との食事」(92.8%)、「⑯希望すれば高校・高専への進学」(92.2%)となっている。
- 「必要ではない」という回答割合が比較的高かったのは、「⑫子ども専用の勉強机」(22.4%)、「⑪適当なおこづかい」(9.7%)、「⑬子ども部屋(兄弟姉妹と共有も含む)」(8.8%)となっている。

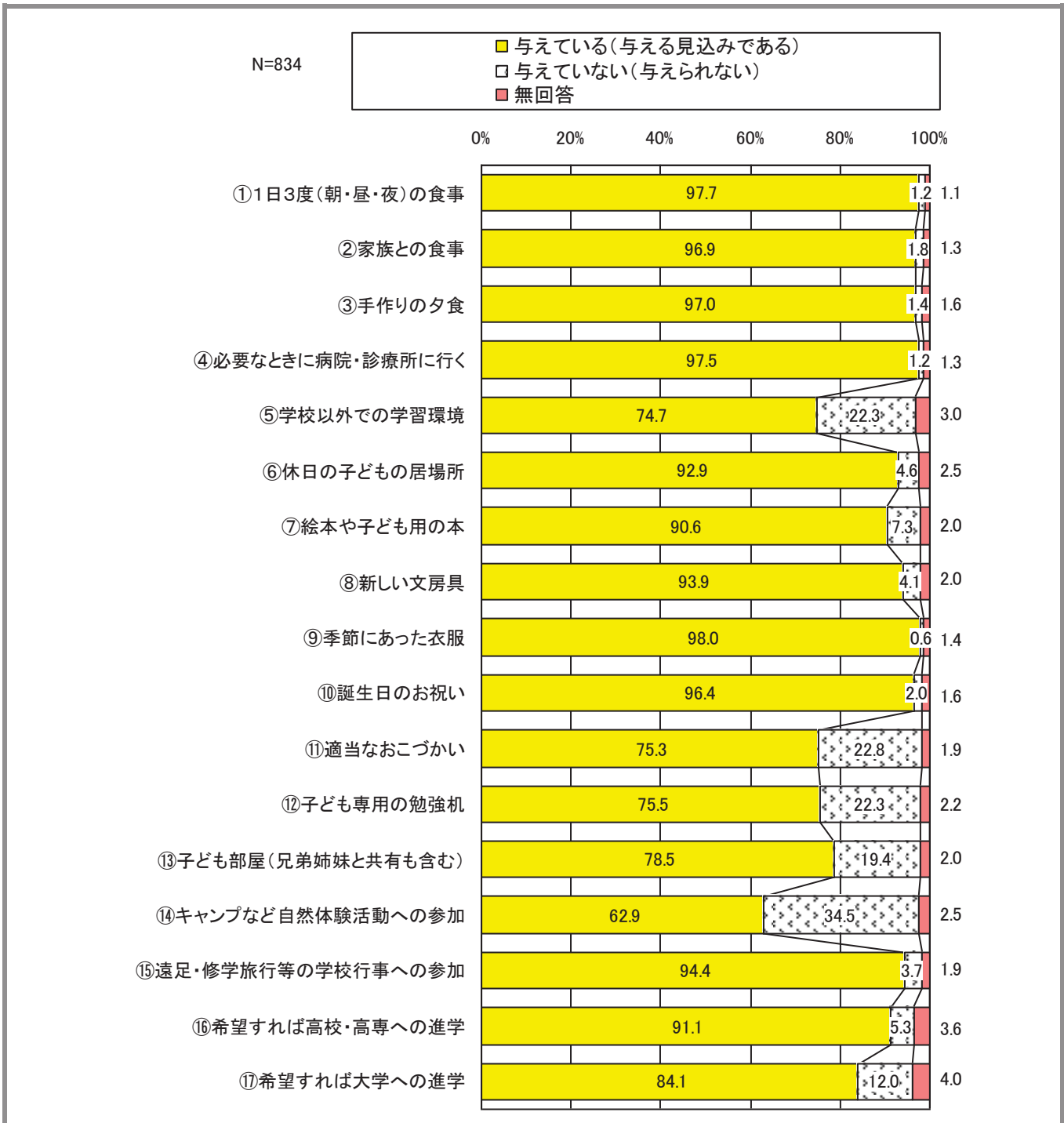
《家庭の状況別（「必要である」または「できれば与えられた方がよい」という回答割合）》



- 年収 250 万円以上の家庭と年収 250 万円未満の家庭を比べ、「必要である」または「できれば与えられた方がよい」という回答割合に差が見られたのは、「⑤学校以外での学習環境」「⑦絵本や子ども用の本」（ともに 12.1 ポイント差）、「⑰希望すれば大学への進学」（9.0 ポイント差）、「⑧新しい文房具」（8.2 ポイント差）、「⑮遠足・修学旅行等の学校行事への参加」（7.9 ポイント差）などとなっているが、それ以外の環境・モノについては概ね同じような回答傾向となっている。

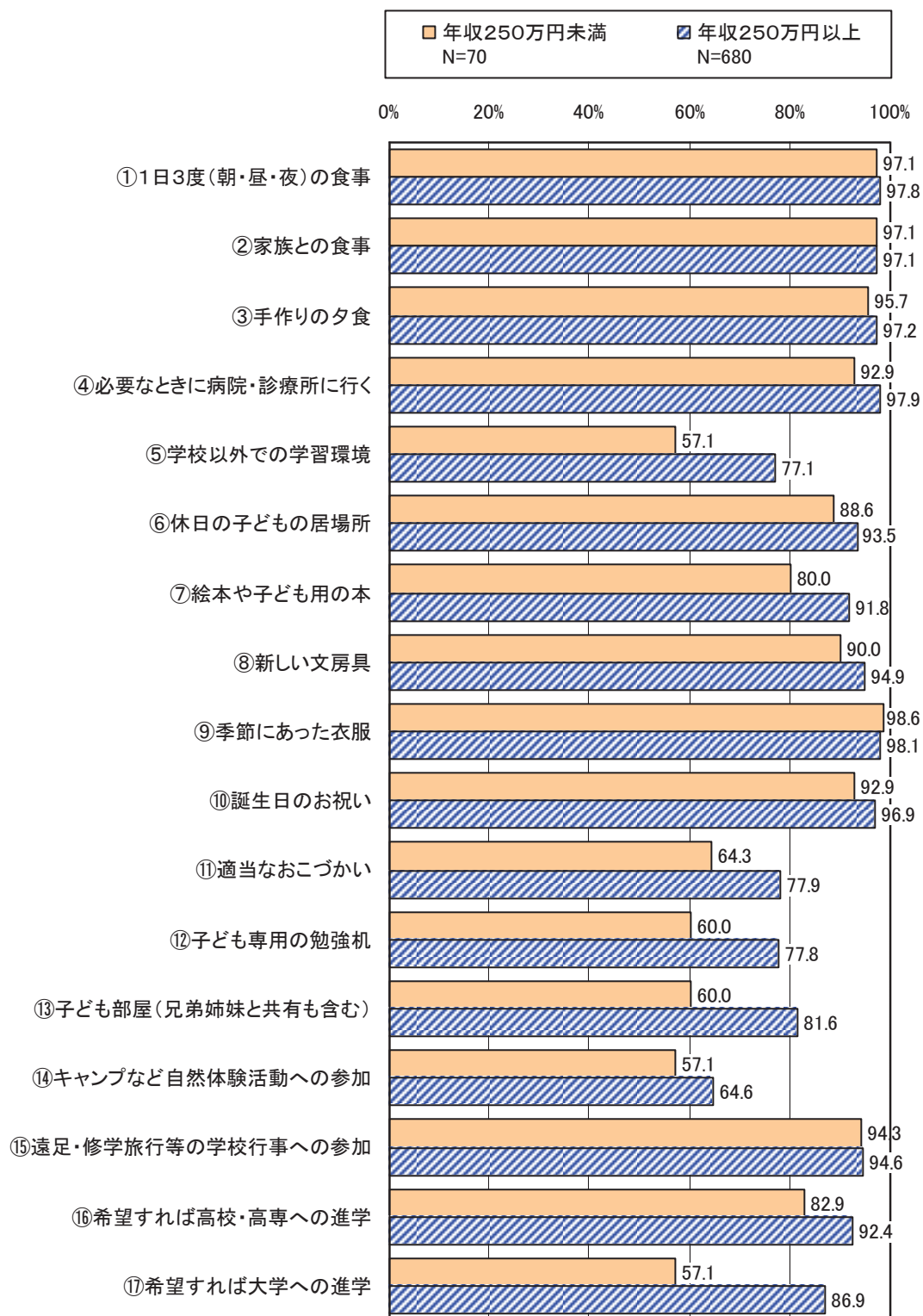
問46 次のような環境・モノについて、あなたの家庭ではお子さんに与えられていますか？または与えられそうですか？

①～⑰のそれぞれについて1，2のいずれかに○をつけてください。



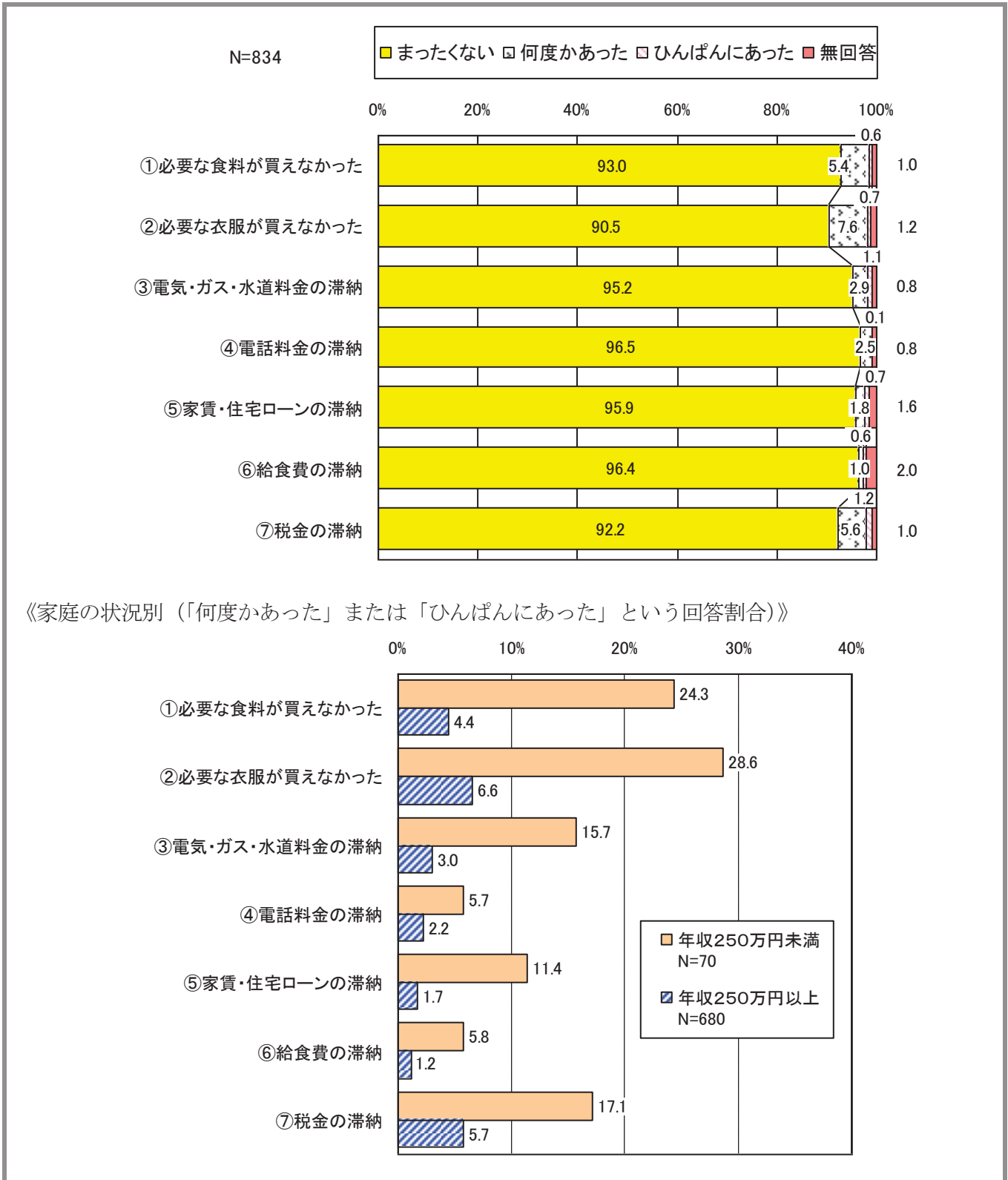
● 前問と同じ子どもを取り巻く環境・モノについて、子どもに「与えていない(与えられない)」という回答割合が高かったのは、「⑭キャンプなど自然体験活動への参加」(34.5%)、「⑪適当なおこづかい」(22.8%)、「⑤学校以外での学習環境」「⑫子ども専用の勉強机」(ともに22.3%)、「⑬子ども部屋(兄弟姉妹と共有も含む)」(19.4%) などとなっている。

《家庭の状況別「与えている（与える見込みである）」という回答割合》



- 年収 250 万円以上の家庭と年収 250 万円未満の家庭を比べ、「与えていない（与えられない）」という回答割合に差が見られたのは、「⑰希望すれば大学への進学」（29.8 ポイント差）、「⑬子ども部屋（兄弟姉妹と共有も含む）」（21.6 ポイント差）「⑤学校以外での学習環境」（20.0 ポイント差）、「⑫子ども専用の勉強机」（17.8 ポイント差）などとなっている。

問47 あなたの家庭では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか？
①～⑦のそれぞれについて1～3のいずれかに○をつけてください。

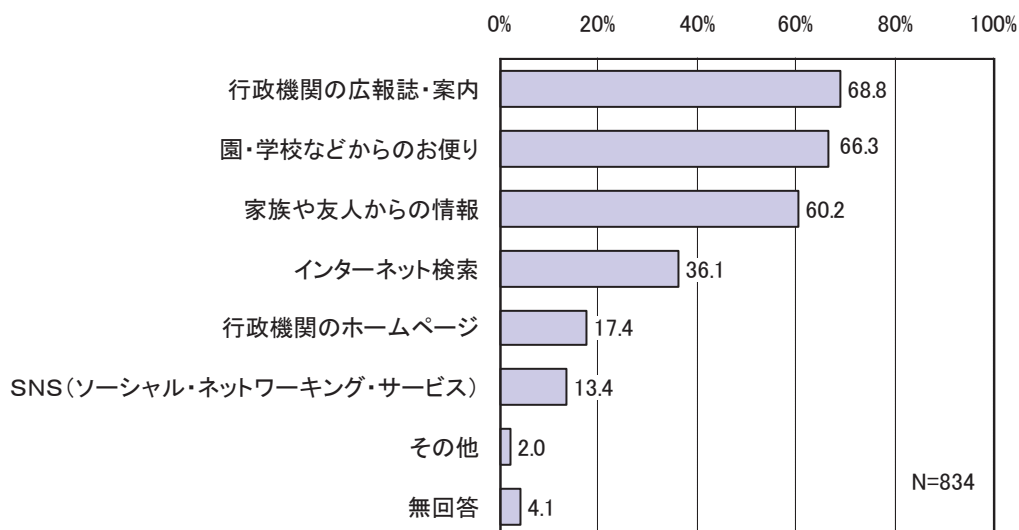


● 全体で見ると、いずれの項目も「まったくない」という回答割合が大半を占めているが、年収 250 万円未満の家庭に限って見ると、いずれの項目についても「何度かあった」または「ひんぱんにあった」という回答割合が高くなっている。

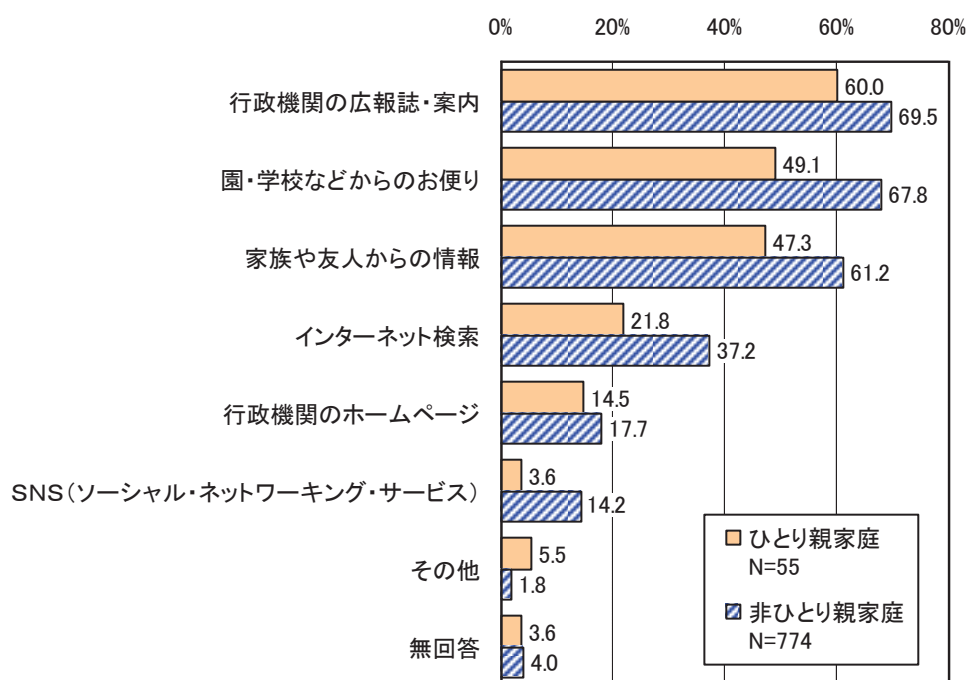
8. 各種サービス・支援について

問48 あなたは子育てについての各種サービス・支援について、どのような方法で情報を収集していますか？

該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに ○ をつけてください。）



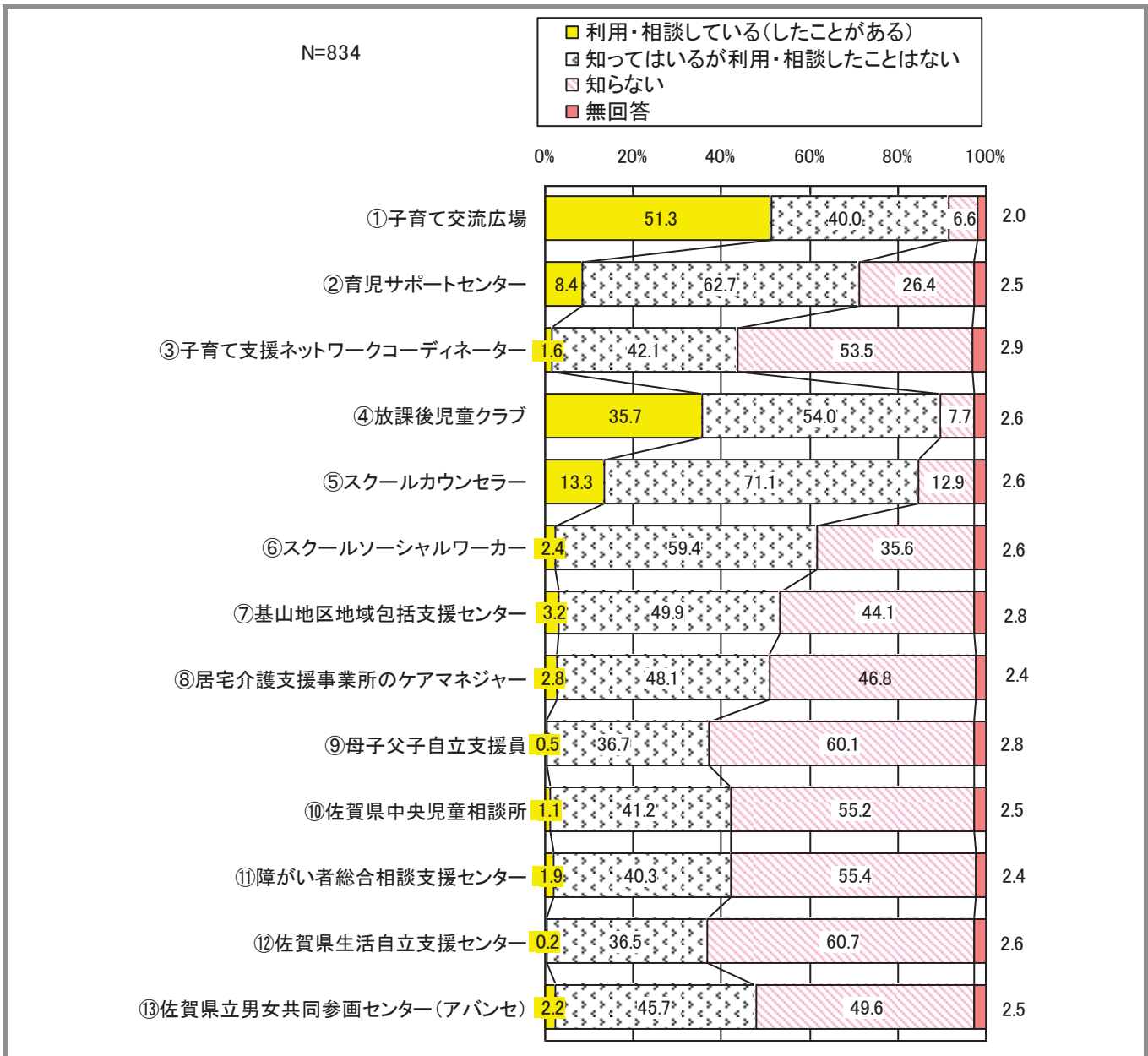
《家庭の状況別クロス集計》



- 子育てについての各種サービス・支援に関する情報収集手段については、「行政機関の広報誌・案内」が全体の68.8%と最も多く、以下、「園・学校などからのお便り」(66.3%)、「家族や友人からの情報」(60.2%)、「インターネット検索」(36.1%)と続いている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭ではほとんどの項目で非ひとり親家庭に比べ回答割合が低くなっている。

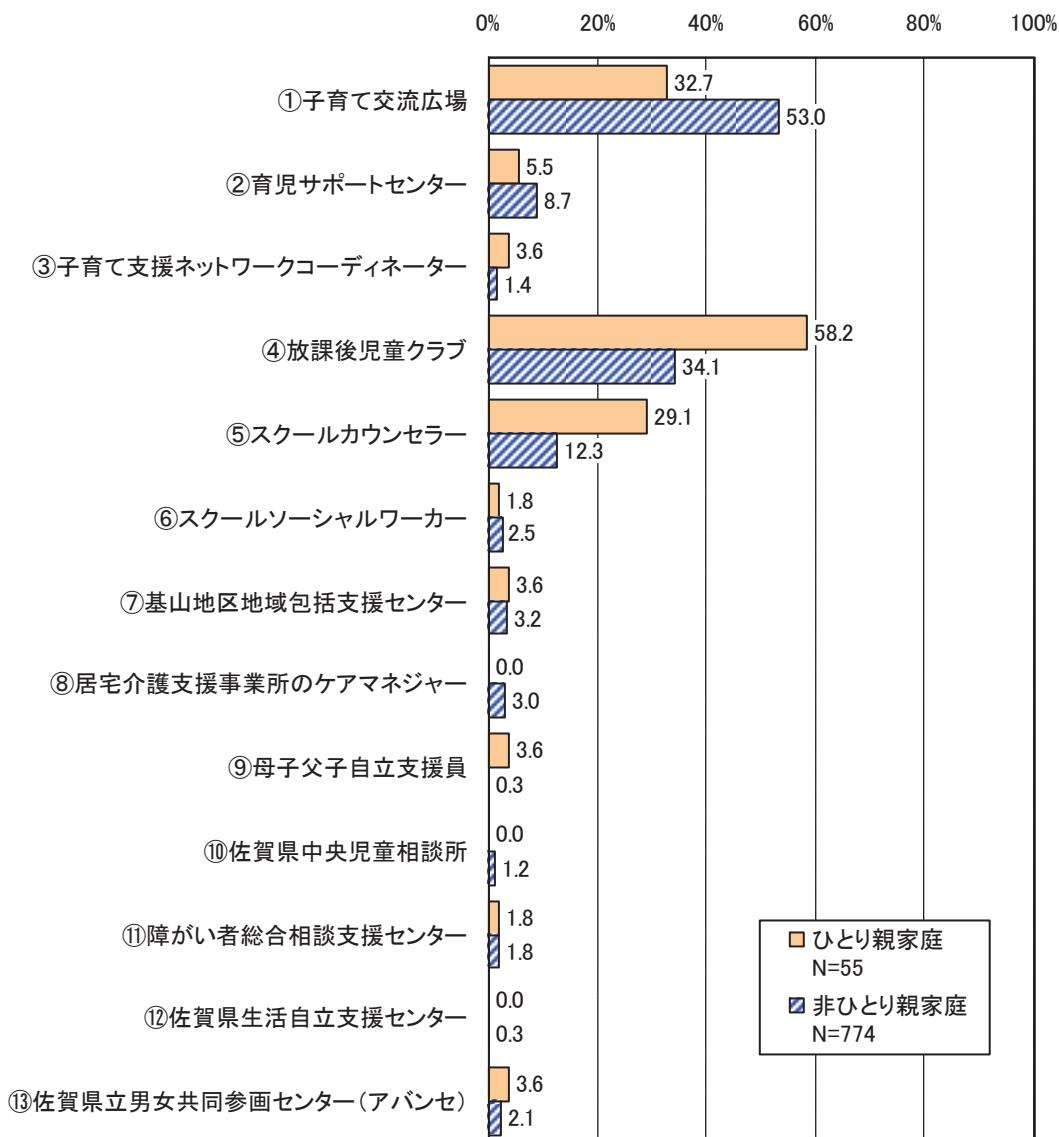
問49 あなたは、次のようなサービス・支援などを利用・相談したことがありますか？

①～⑬のそれぞれについて1～3のいずれかに○をつけてください。



- サービス・支援等の利用状況について、「利用・相談している（したことがある）」という回答割合が最も高かったのは「①子育て交流広場」(51.3%)で、以下、「④放課後児童クラブ」(35.7%)、「⑤スクールカウンセラー」(13.3%)、「②育児サポートセンター」(8.4%)と続いている。
- 家庭の状況別に利用状況等を見ると、ひとり親家庭では非ひとり親家庭に比べ、「④放課後児童クラブ」や「⑤スクールカウンセラー」の利用率が高く、逆に「①子育て交流広場」の利用率は非ひとり親家庭に比べ20ポイント以上低くなっている（次ページ参照）。
- 「知らない」という回答割合が高かったのは、「⑫佐賀県生活自立支援センター」(60.7%)を筆頭に「⑨母子父子自立支援員」(60.1%)、「⑪障がい者総合相談支援センター」(55.4%)、「⑩佐賀県中央児童相談所」(55.2%)、「③子育て支援ネットワークコーディネーター」(53.5%)などが上位を占めている。

《家庭の状況別「利用・相談している（したことがある）」という回答割合》



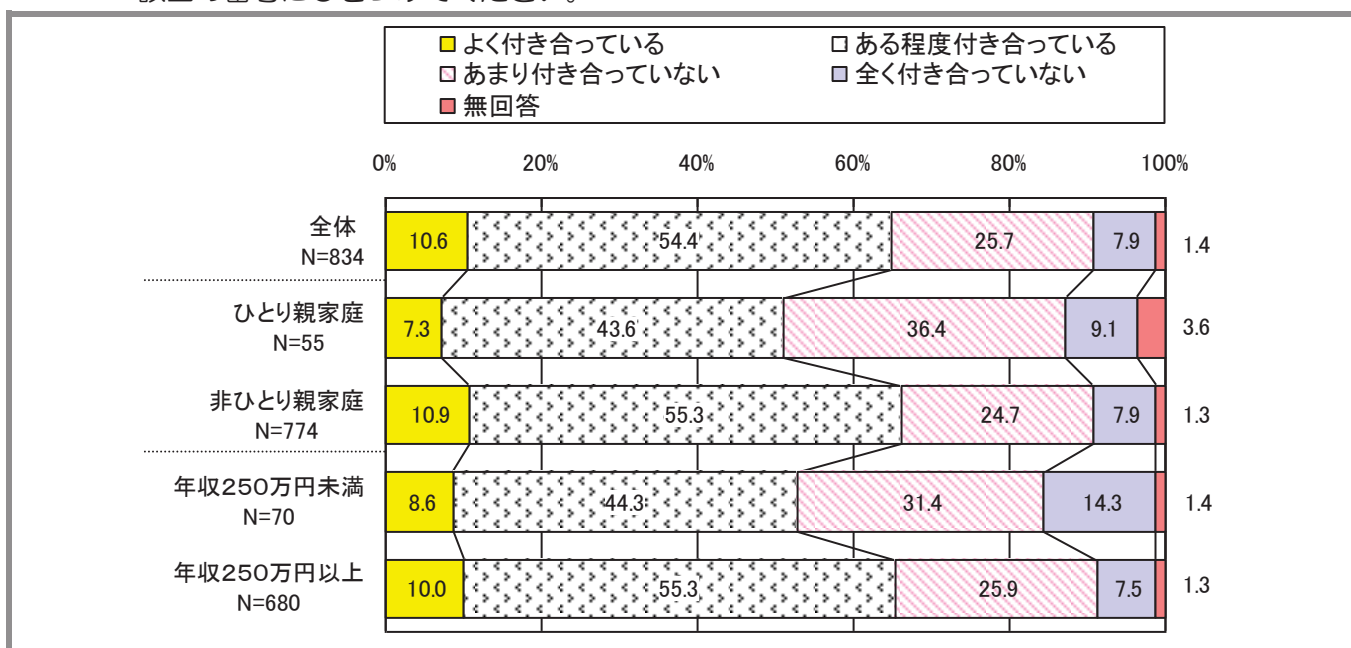
問50 問49以外の事業で利用しているものがあればご記入ください。

No.	回答内容
1	SGK
2	SGKの寺子屋(水曜放課後)
3	シルバー人材センター、家事支援
4	それいゆ、若楠
5	ソレイユのわくわくキッズ(ひかり園)
6	ライフポット小郡
7	近隣の町の子育てサポート事業
8	計画相談員
9	児童発達支援センター
10	児童発達支援センター、放課後デイサービス
11	若楠療育園
12	若楠療育園
13	就労継続支援B型、就労移行支援
14	図書館のおはなし会
15	先心療和合
16	鳥栖市やみやき町の子育て支援センター
17	福祉交流館
18	保健センターの育児相談(ぽっぽの会など)、赤ちゃん訪問
19	放課後等デイサービス、計画相談
20	放課後等デイサービス、日中一時支援(障がいのある子のみ)
21	療育の専門機関(それいゆ、アナザープラネット)、相談支援専門員
22	和合

● 問49以外の事業で利用しているものについては、上記22件の記入があった。

9. 子育ての悩みや相談、必要な支援について

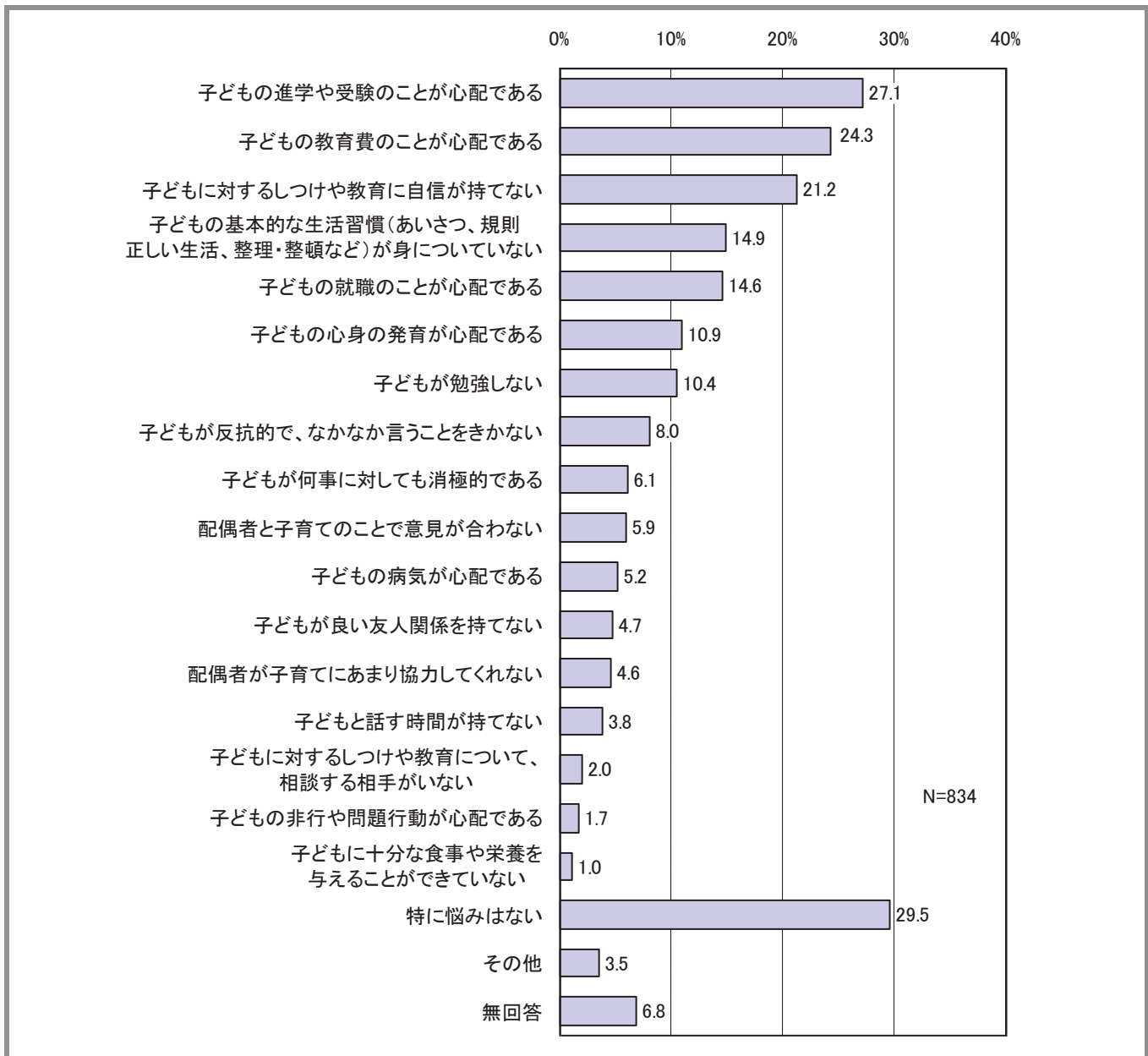
問51 あなたは、近所との付き合いをしていますか？
該当の番号に○をつけてください。



- 近所との付き合いの状況については、「よく付き合っている」が全体の 10.6%、「ある程度付き合っている」が 54.4%と、合わせて 65.0%は近所との付き合いがあると回答している。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭や年収 250 万円未満の家庭では、それ以外の家庭に比べ「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」という回答割合が 10 数ポイント低くなっている。

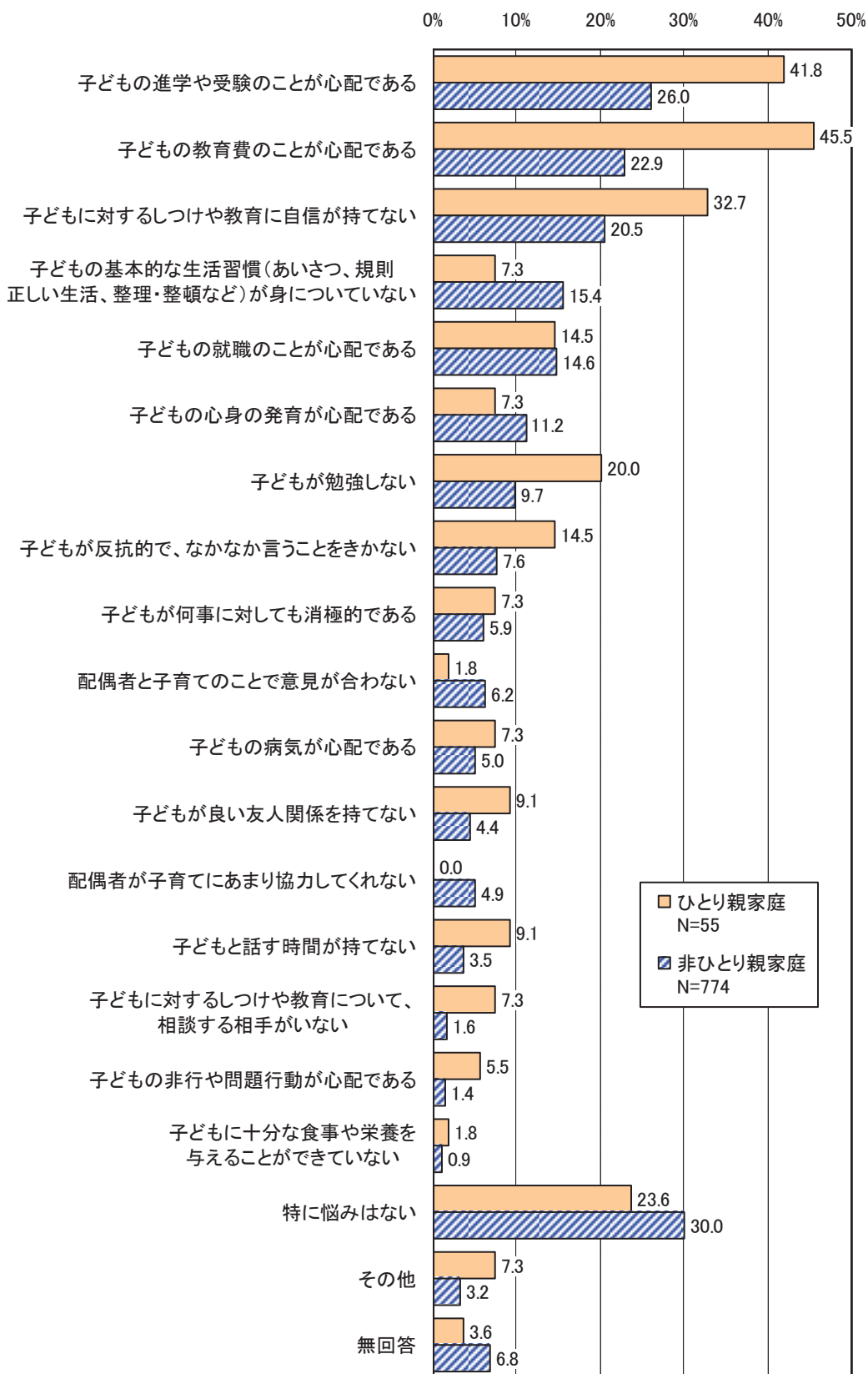
問52 あなたはお子さんについて、現在悩んでいることはありますか？

該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）

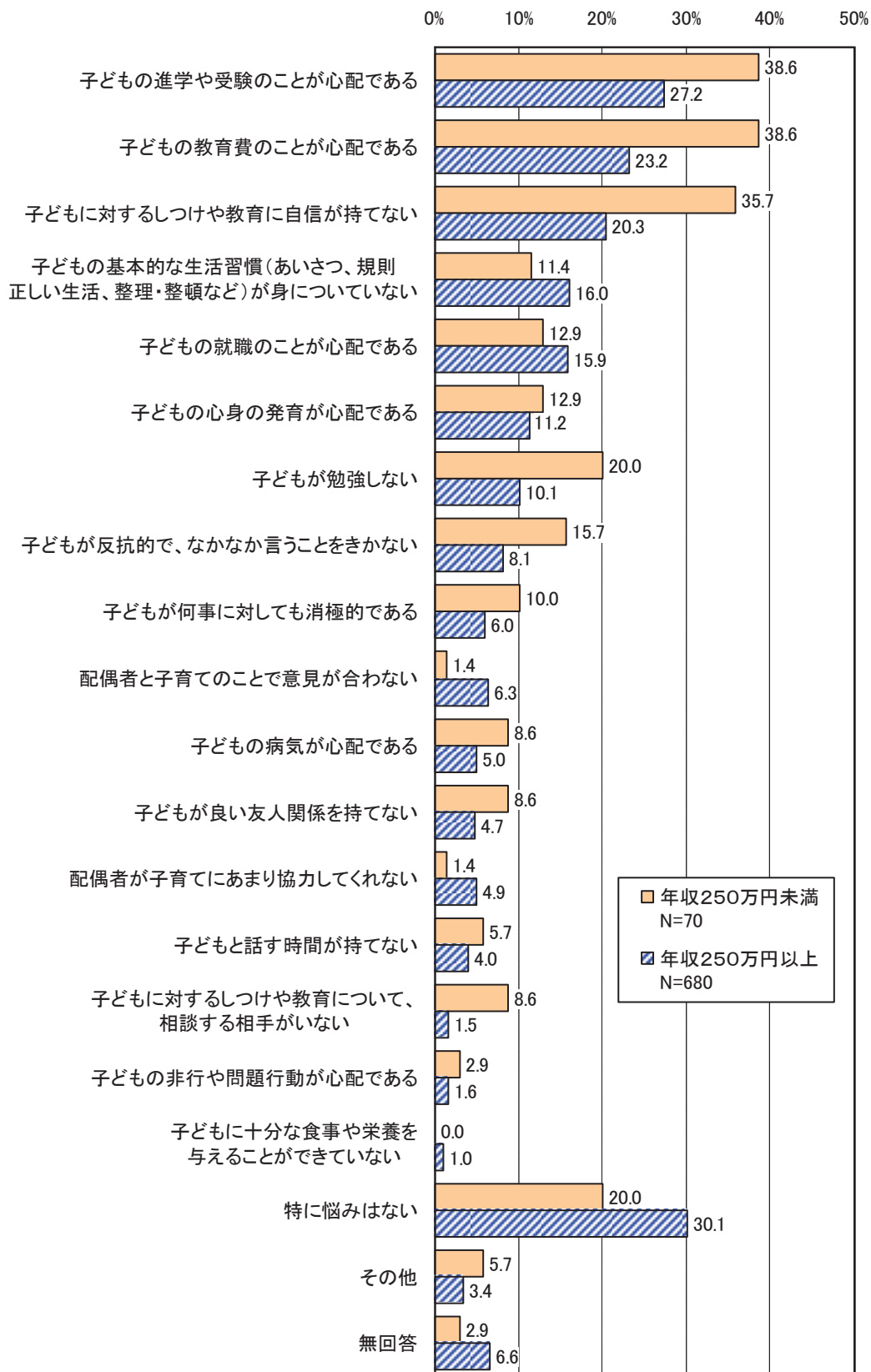


- 子どもに関する悩みについては、「子どもの進学や受験のことが心配である」が全体の27.1%と最も多く、以下、「子どもの教育費のことが心配である」(24.3%)、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」(21.2%)と続いており、「特に悩みはない」と回答した人の割合は29.5%となっている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭では「子どもの教育費のことが心配である」(45.5%)、「子どもの進学や受験のことが心配である」(41.8%)、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」(32.7%)、「子どもが勉強しない」(20.0%)など、それ以外の家庭に比べ高い回答割合となっている項目が目立っている(次ページ参照)。
- 年収250万円未満の家庭についても、ひとり親家庭と同様の傾向となっている(次々頁参照)。

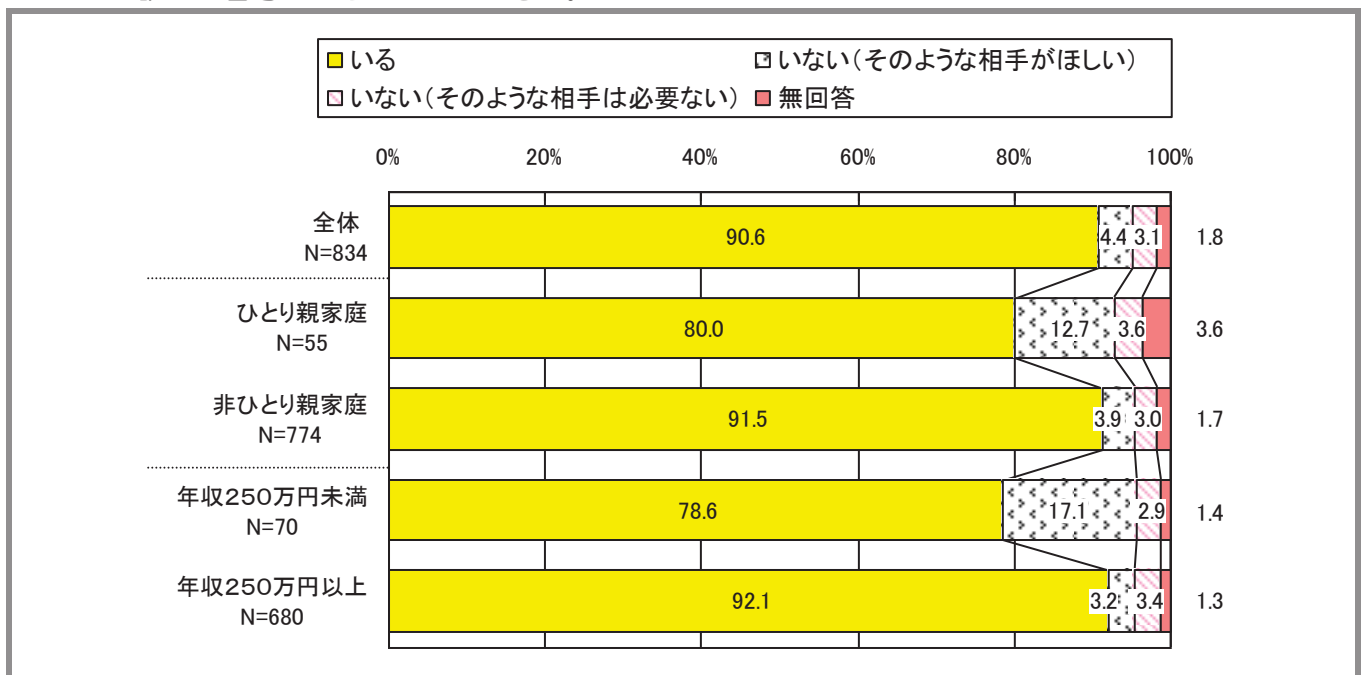
《家庭の状況別クロス集計》



《家庭の状況別クロス集計》

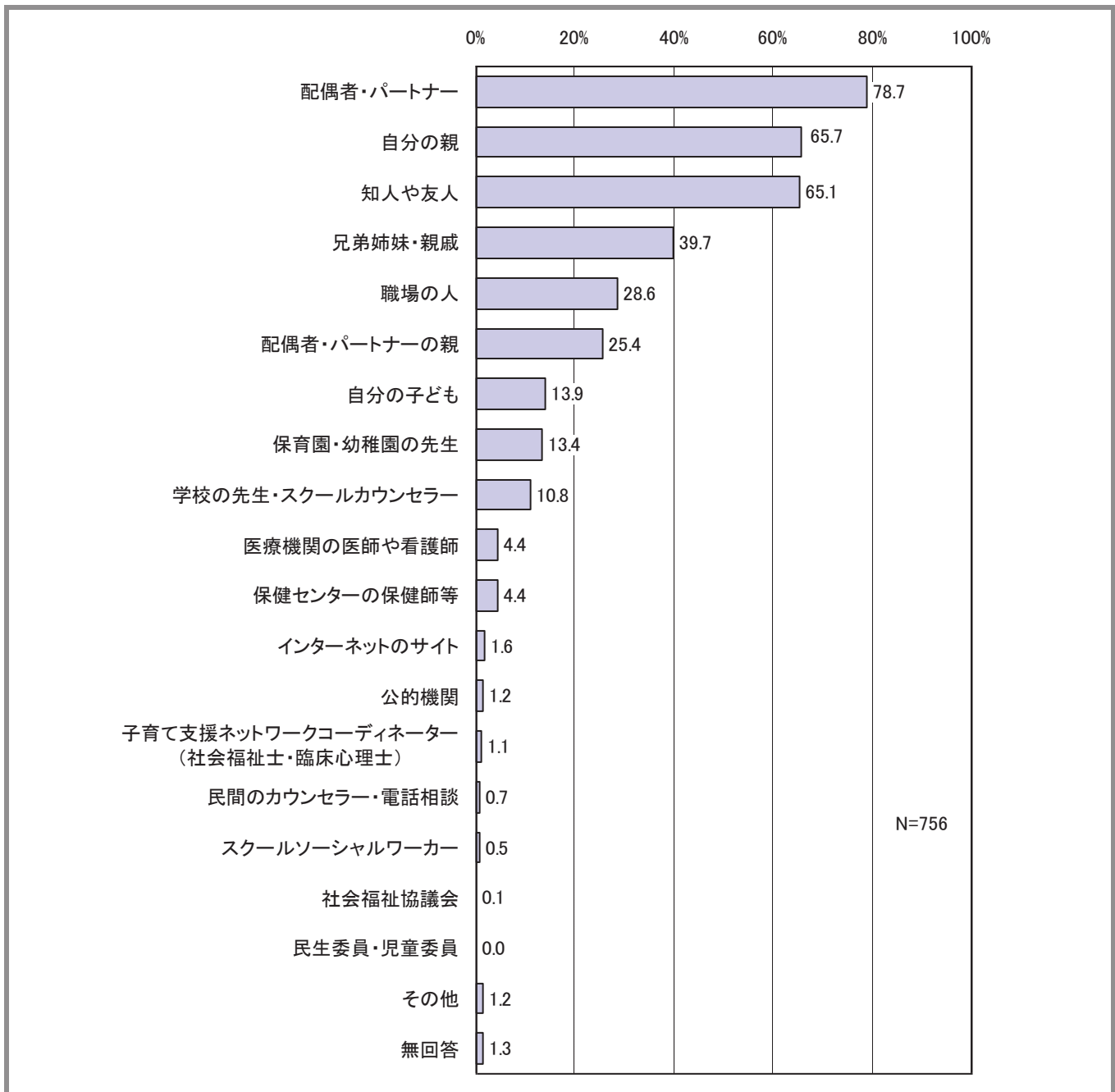


問53 あなたには、現在、心おきなく相談できる相手や、必要なときに頼れる相手がありますか？
該当の番号に○をつけてください。



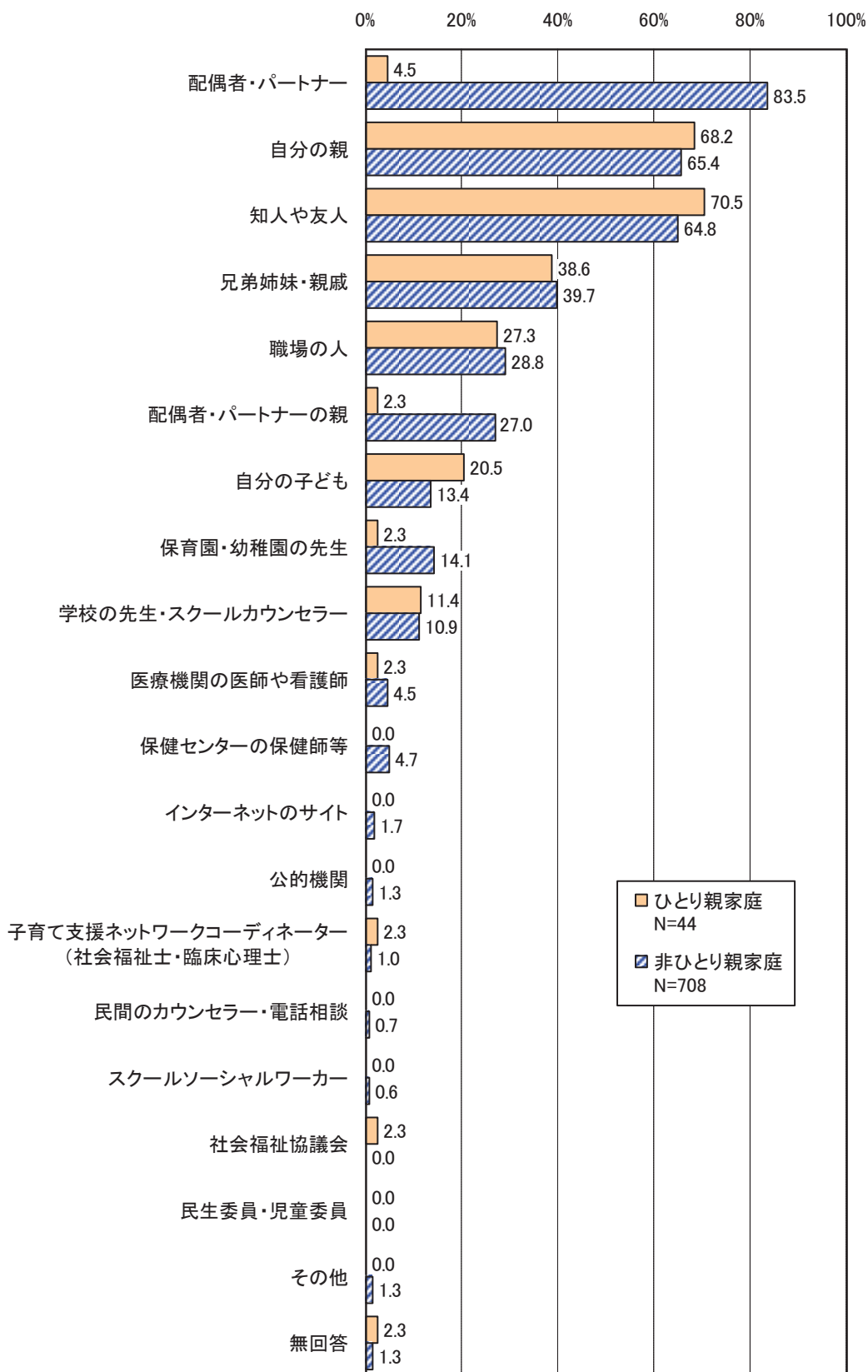
- 現在、心おきなく相談できる相手や、必要なときに頼れる相手が「いる」と回答した人は全体の90.6%となっているが、ひとり親家庭では「いない(そのような相手がほしい)」が12.7%、同じく年収250万円未満の家庭では17.1%と、それぞれそれ以外の家庭に比べ、回答割合が高くなっている。

問54 「1. いる」と回答された方は、あなたが現在、相談している相手はどんな人ですか？
 該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）

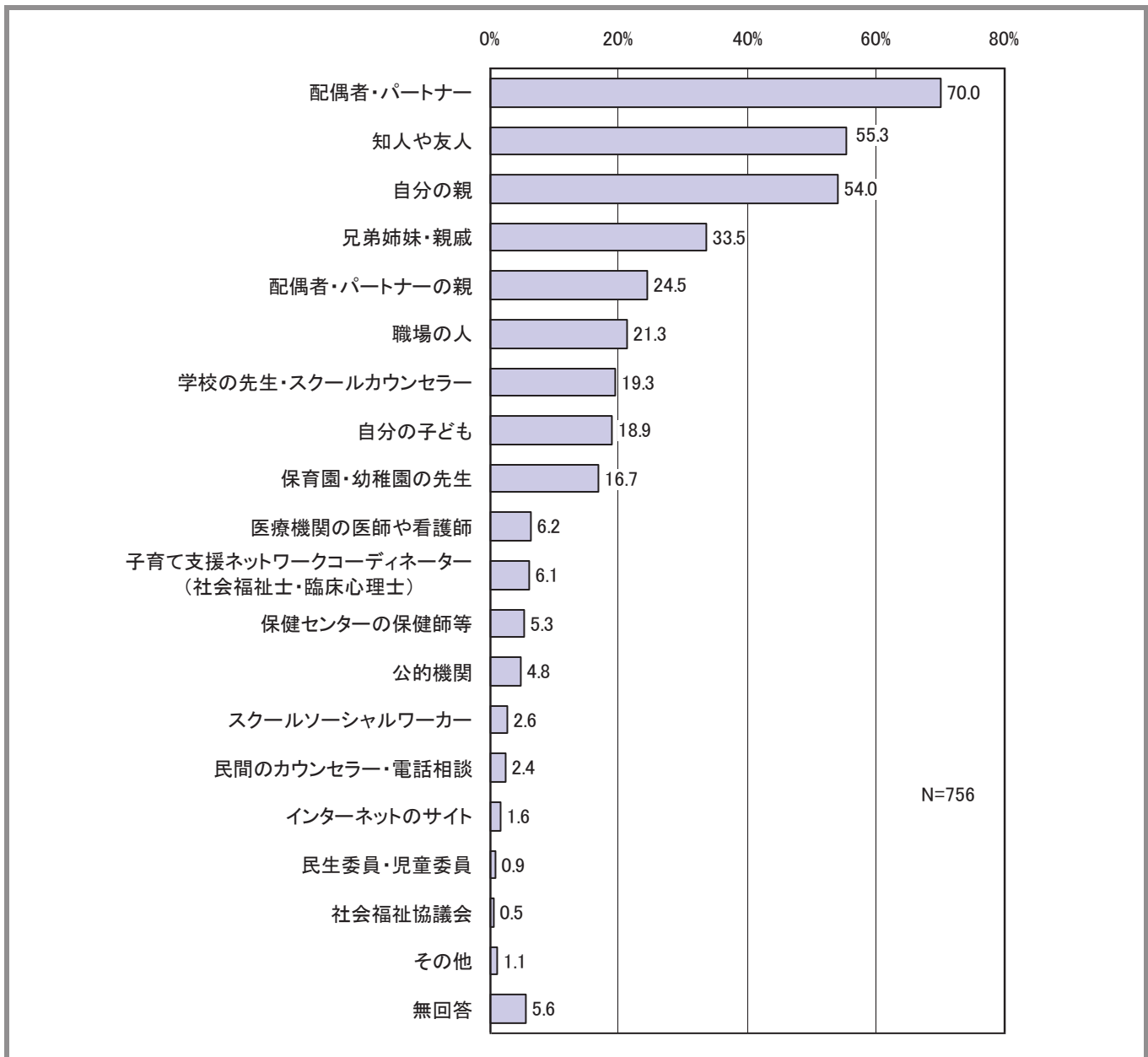


- 前問で、心おきなく相談できる相手や、必要なときに頼れる相手が「いる」と回答した人に、現在の相談相手を尋ねたところ、「配偶者・パートナー」が全体の78.7%と最も多く、以下、「自分の親」(65.7%)、「知人や友人」(65.1%)、「兄弟姉妹・親戚」(39.7%)と続いている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭ではその性格上、「配偶者・パートナー」と「配偶者・パートナーの親」の回答割合は極めて低くなっているが、その他の回答傾向にはあまり差異は見られなかった(次ページ参照)。

《家庭の状況別クロス集計》

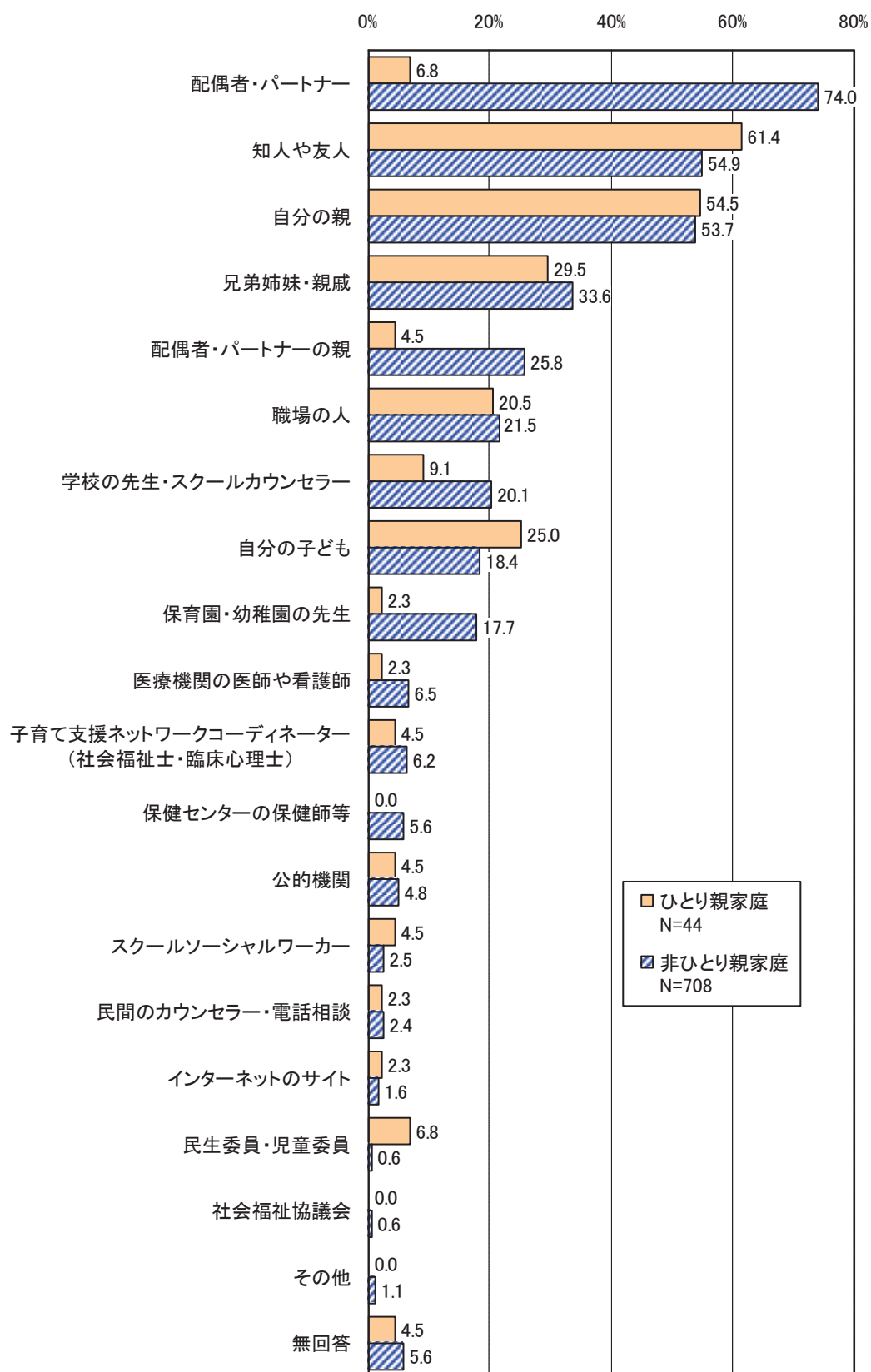


問55 「1. いる」と回答された方で、あなたが、相談したい相手（今後）はどんな人ですか？
 該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに ○ をつけてください。）

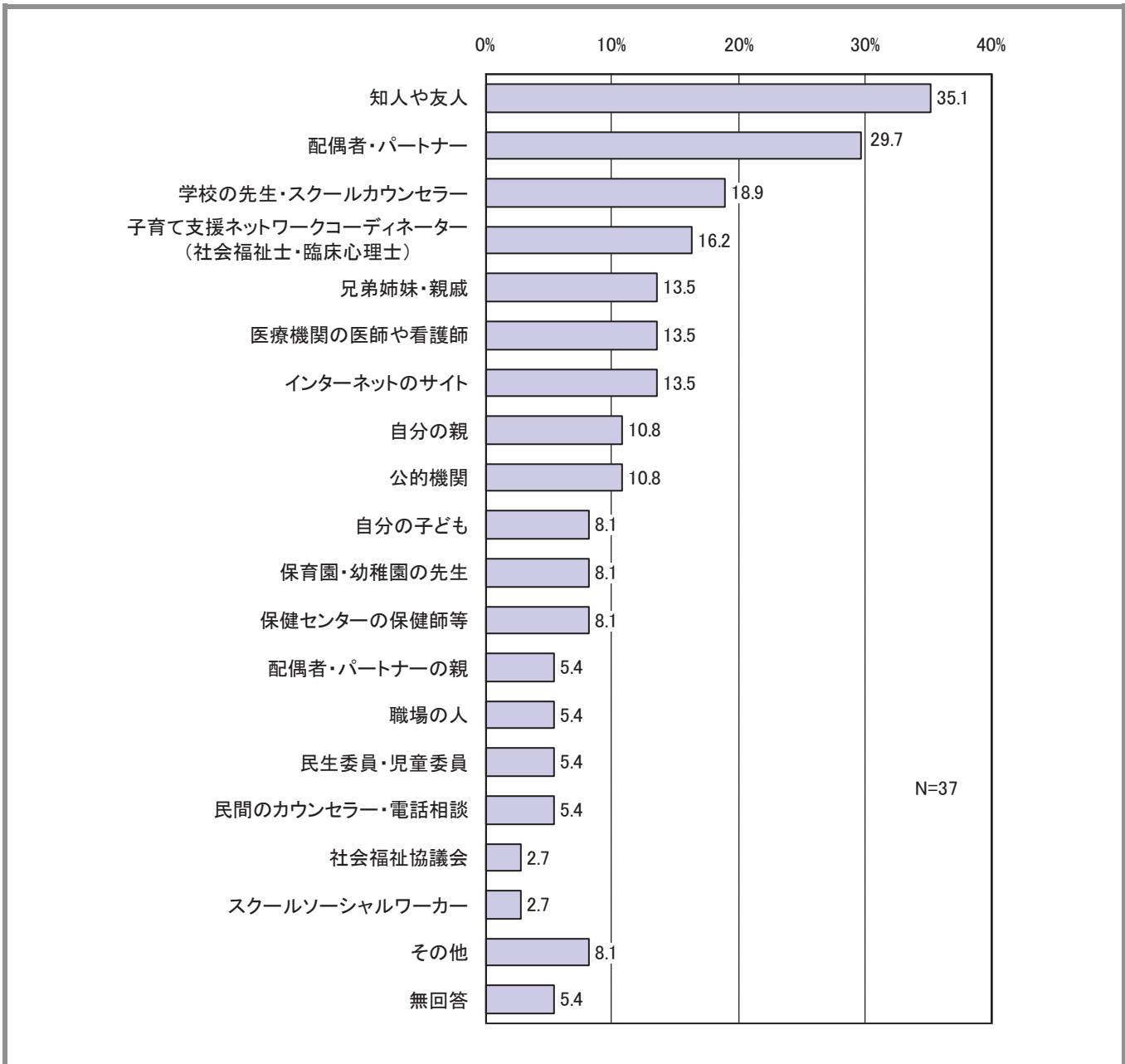


- 問53で、心おきなく相談できる相手や、必要なときに頼れる相手が「いる」と回答した人に、今後相談したい相手を尋ねたところ、「配偶者・パートナー」が全体の70.0%と最も多く、以下、「知人や友人」(55.3%)、「自分の親」(54.0%)、「兄弟姉妹・親戚」(33.5%)と続いており、現在の相談相手と同じ回答傾向となっている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭ではその性格上、「配偶者・パートナー」と「配偶者・パートナーの親」の回答割合は極めて低くなっているほか、現在の相談相手では回答のなかった「民生委員・児童委員」(6.8%)や「スクールソーシャルワーカー」(4.5%)といった回答があがっている(次ページ参照)。

《家庭の状況別クロス集計》



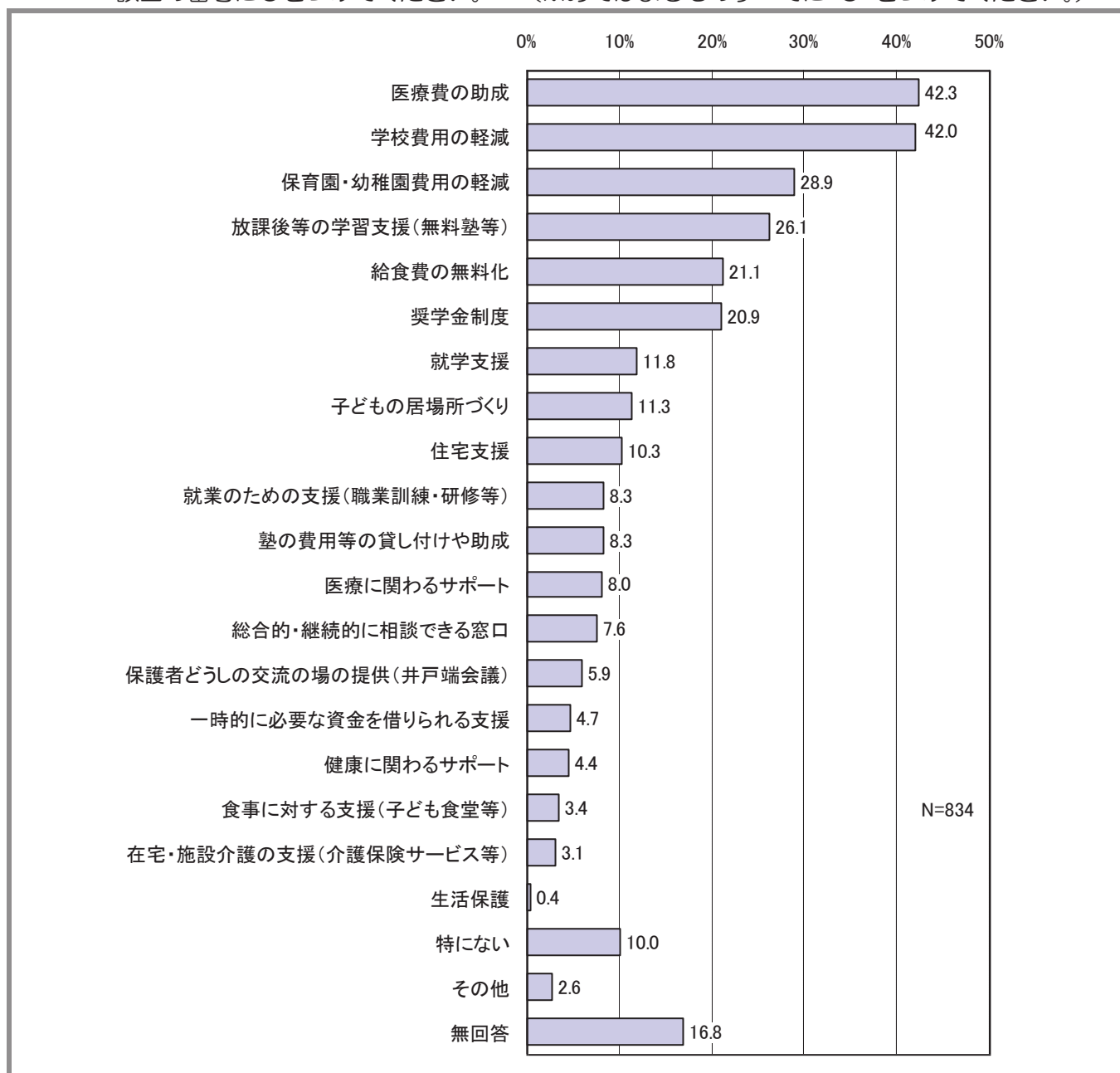
問56 「2. いない（そのような相手がほしい）」と回答された方は、あなたが相談したい相手はどんな人ですか？
 該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに ○ をつけてください。）



● 問53で、心おきなく相談できる相手や、必要なときに頼れる相手が「いない（そのような相手がほしい）」と回答した人に、相談したい相手を尋ねたところ、「知人や友人」が全体の35.1%と最も多く、以下、「配偶者・パートナー」(29.7%)、「学校の先生・スクールカウンセラー」(18.9%)、「子育て支援ネットワークコーディネーター（社会福祉士・臨床心理士）」(16.2%)と続いている。

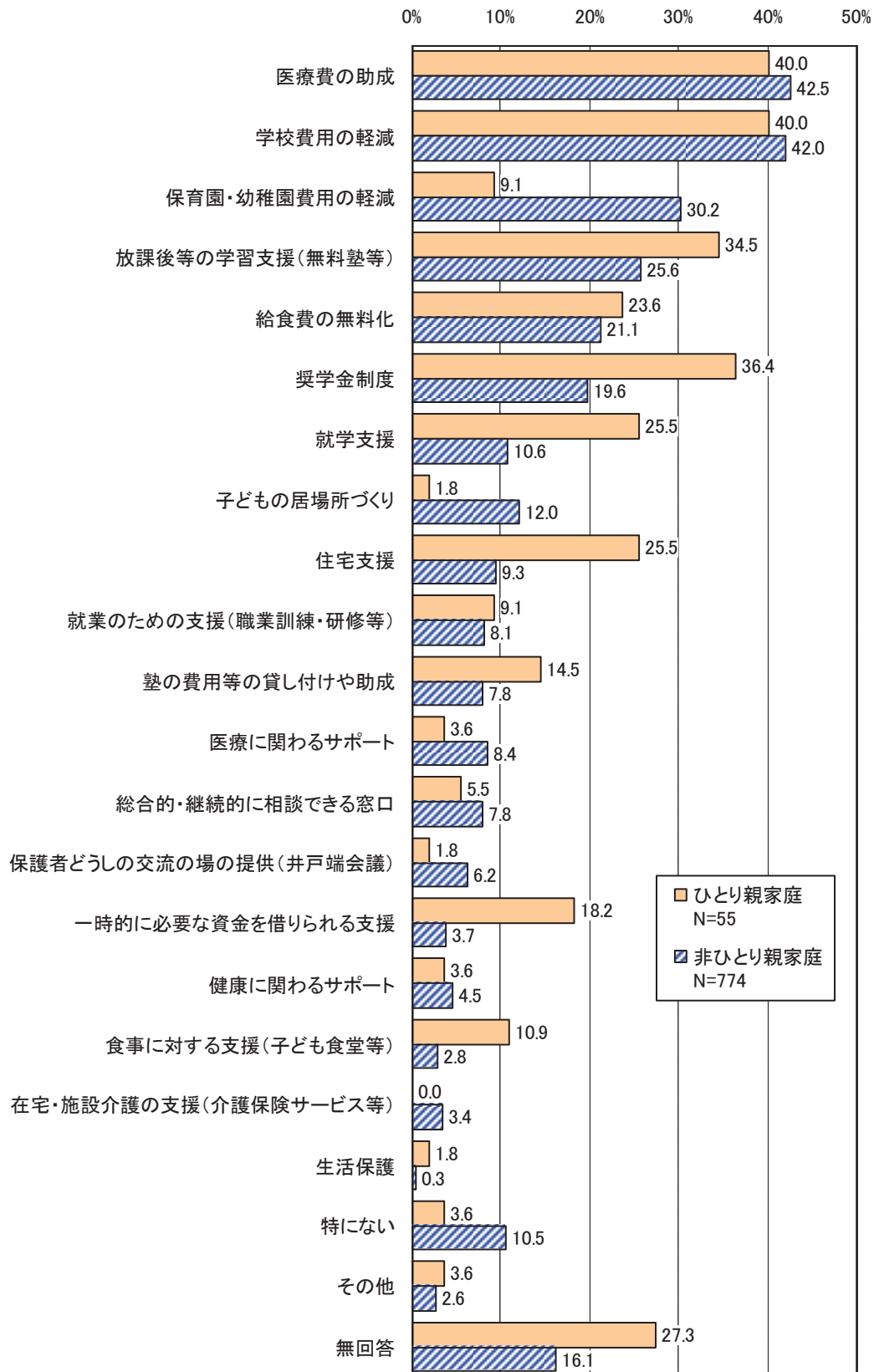
問57 あなたの家族にとって必要な支援は次のうち、どのような支援ですか？

該当の番号に○をつけてください。（※あてはまるものすべてに○をつけてください。）



- 回答者の家族にとって必要な支援を尋ねたところ、「医療費の助成」が全体の 42.3%、「学校費用の軽減」が 42.0%とともに多く、以下、「保育園・幼稚園費用の軽減」(28.9%)、「放課後等の学習支援(無料塾等)」(26.1%)、「給食費の無料化」(21.1%)、「奨学金制度」(20.9%)と続いている。
- 家庭の状況別に見ても上位2項目に差異はないが、ひとり親家庭では「奨学金制度」(36.4%)、「放課後等の学習支援(無料塾等)」(34.5%)、「就学支援」「住宅支援」(ともに 25.5%)、「一時的に必要な資金を借りられる支援」(18.2%)、「塾の費用等の貸し付けや助成」(14.5%)などの項目で、非ひとり親家庭に比べ回答割合が高くなっている(次ページ参照)。

《家庭の状況別クロス集計》



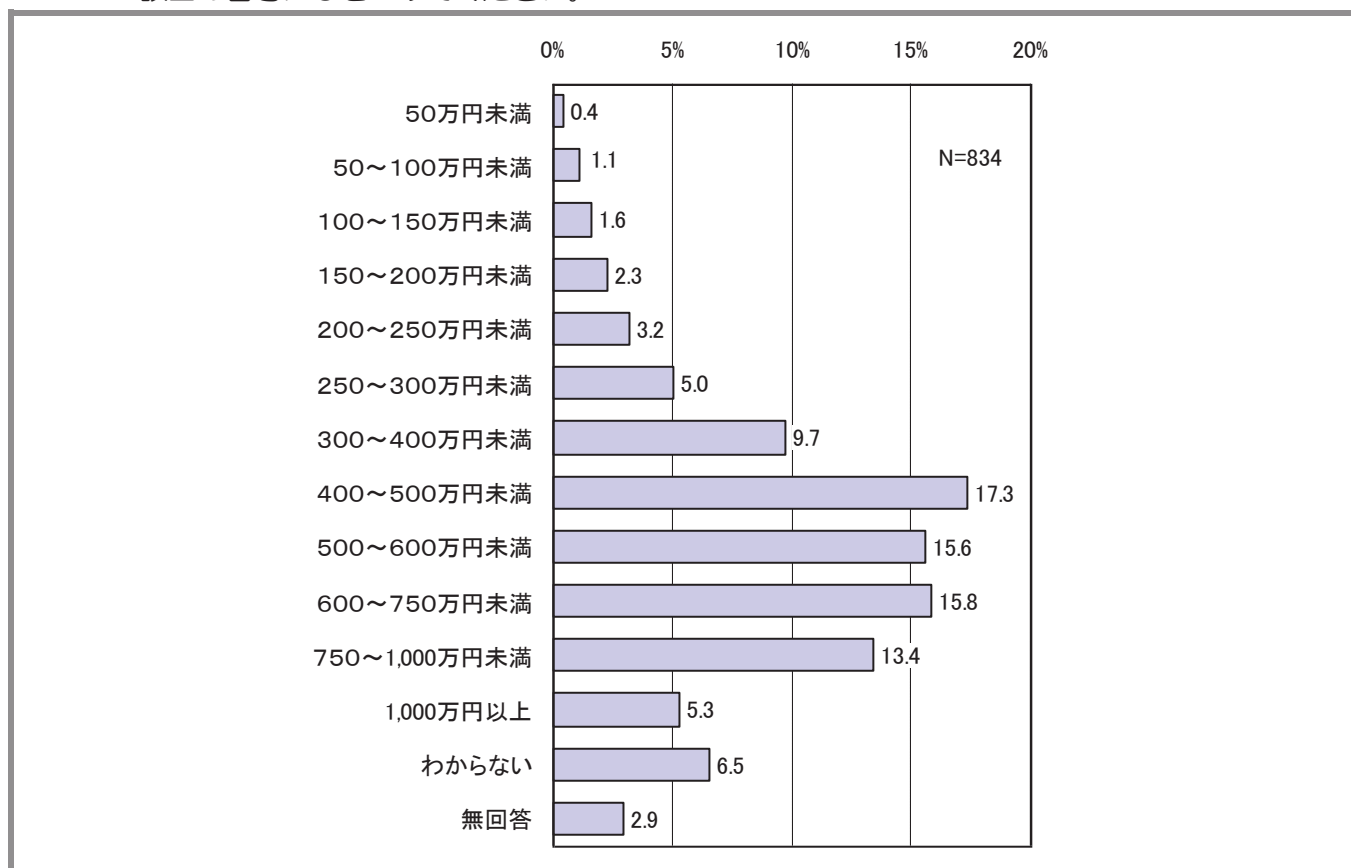
10. 家族の経済状況について

問58 家族全員の収入を合わせた年間収入（平成28年）は、およそいくらでしたか？

※収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入等も含めます。

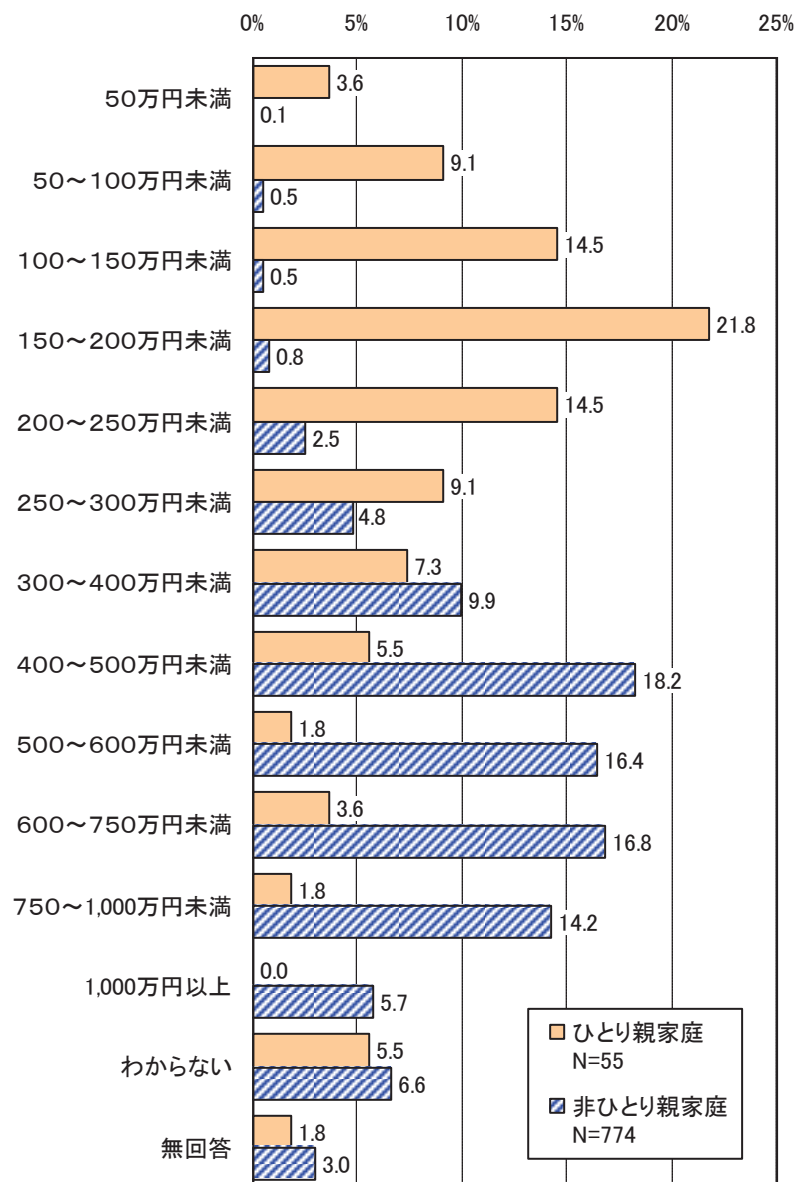
※但し、収入には、公的な援助手当は含めないものとします。

該当の番号に○をつけてください。

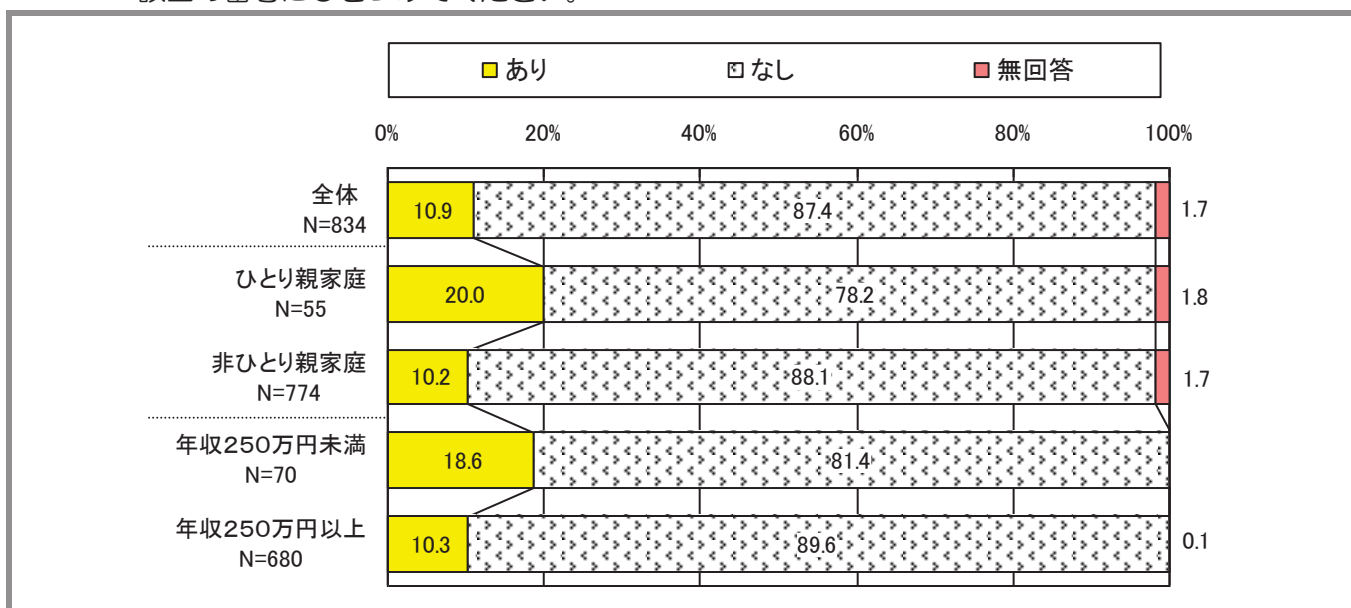


- 年間の世帯収入については、「400～500万円未満」が全体の17.3%と最も多く、以下、「600～750万円未満」(15.8%)、「500～600万円未満」(15.6%)、「750～1,000万円未満」(13.4%)と続いている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭では「150～200万円未満」が21.8%と最も多く、「100～150万円未満」「200～250万円未満」がともに14.5%でそれに続いており、非ひとり親家庭との収入格差が目立っている（次ページ参照）。

《家庭の状況別クロス集計》

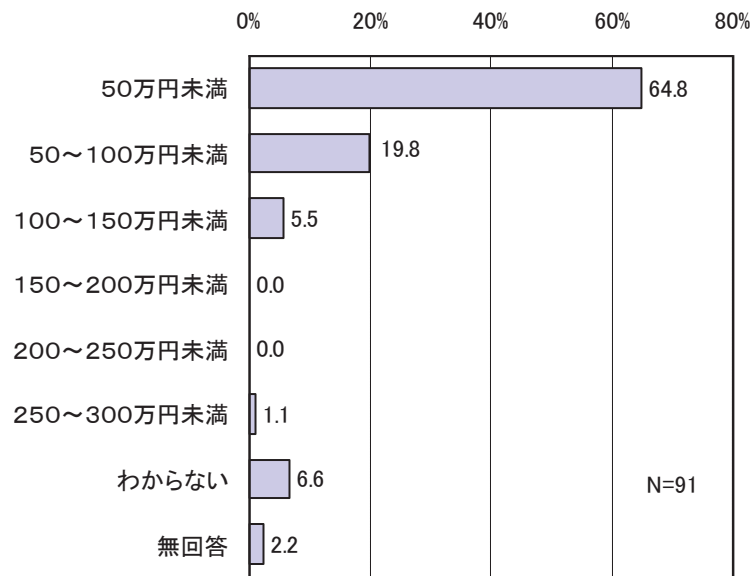


問59 家族以外（同居していない祖父母等）からの資金援助（養育費を含む）はありますか？
該当の番号に○をつけてください。

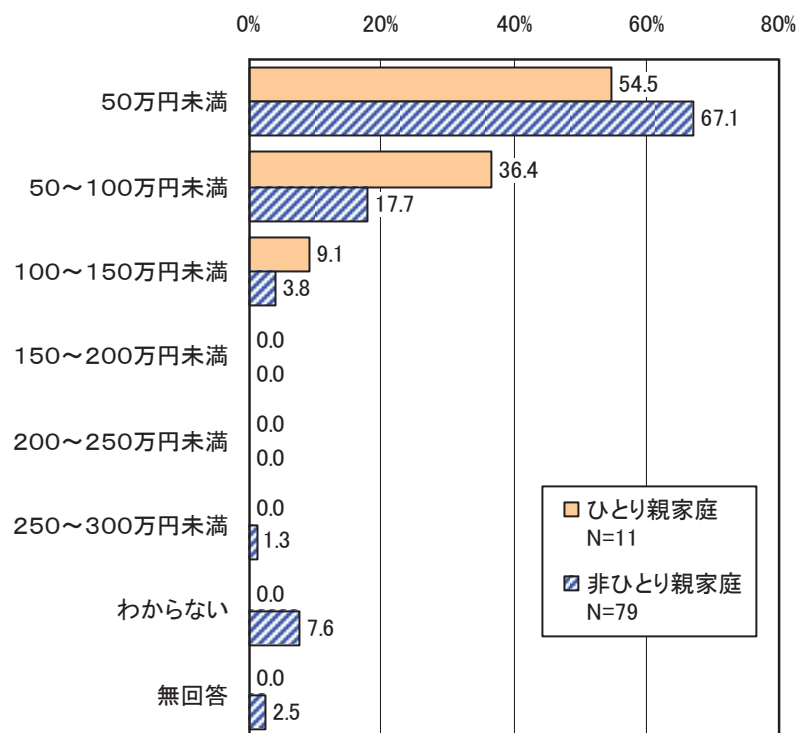


- 家族以外（同居していない祖父母等）からの資金援助（養育費を含む）「あり」と回答した世帯の割合は全体の 10.9%で、ひとり親家庭に限ってみると 20.0%、同様に年収 250 万円未満の家庭では 18.6%とそれぞれそれ以外の家庭に比べ高い割合となっている。

問60 問59で「1. あり」と回答された方は、平成28年の家族以外（同居していない祖父母等）からの資金援助（養育費を含む）は、およそいくらでしたか？



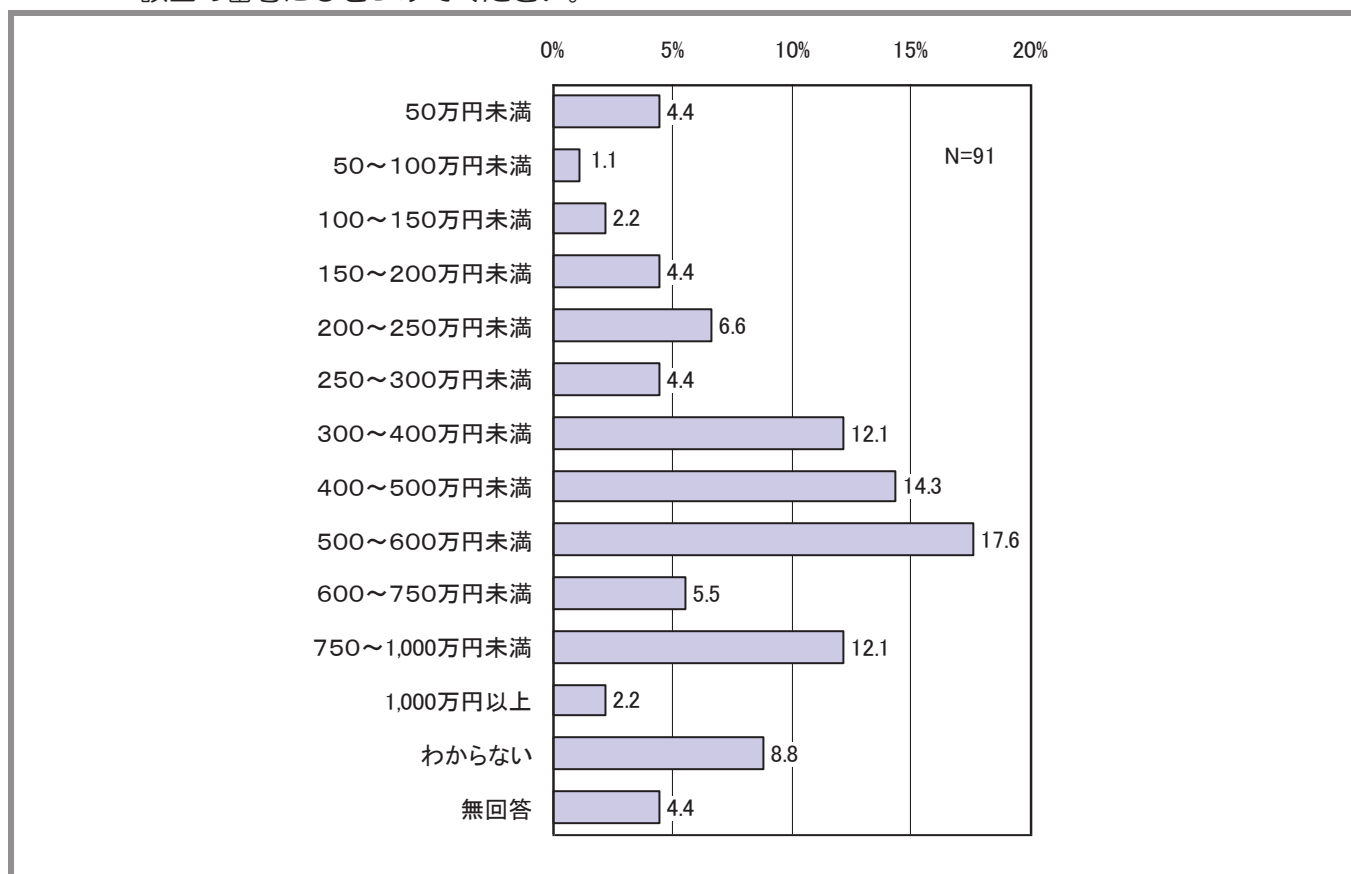
《家庭の状況別クロス集計》



- 前問で資金援助「あり」と回答した人に、平成28年におけるその額を尋ねたところ、「50万円未満」が全体の64.8%を占めており、「50~100万円未満」が19.8%でそれに続いている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭の方がそれ以外の家庭に比べ「50~100万円未満」「100~150万円未満」の割合が高くなっている。

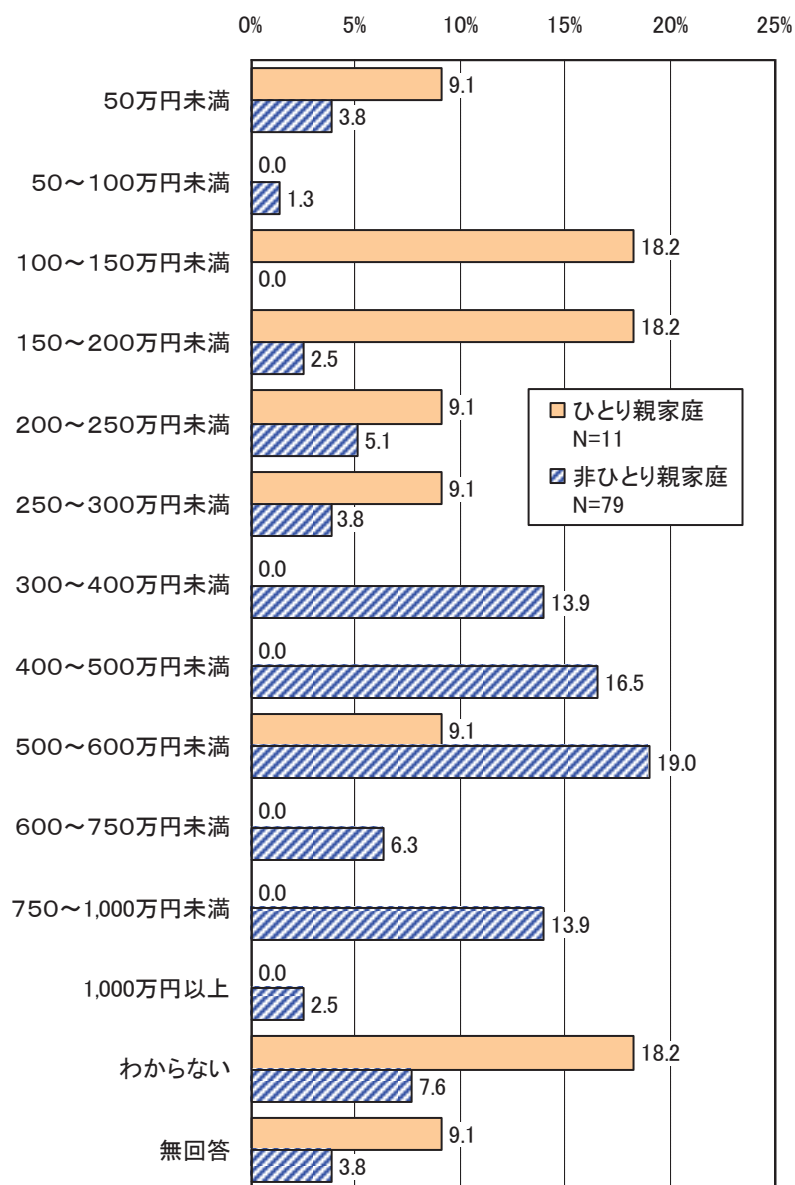
問61 問59で「1. あり」と答えた方は、問58（収入）と問60（資金援助）を合算しておよそいくらになりますか？

該当の番号に○をつけてください。



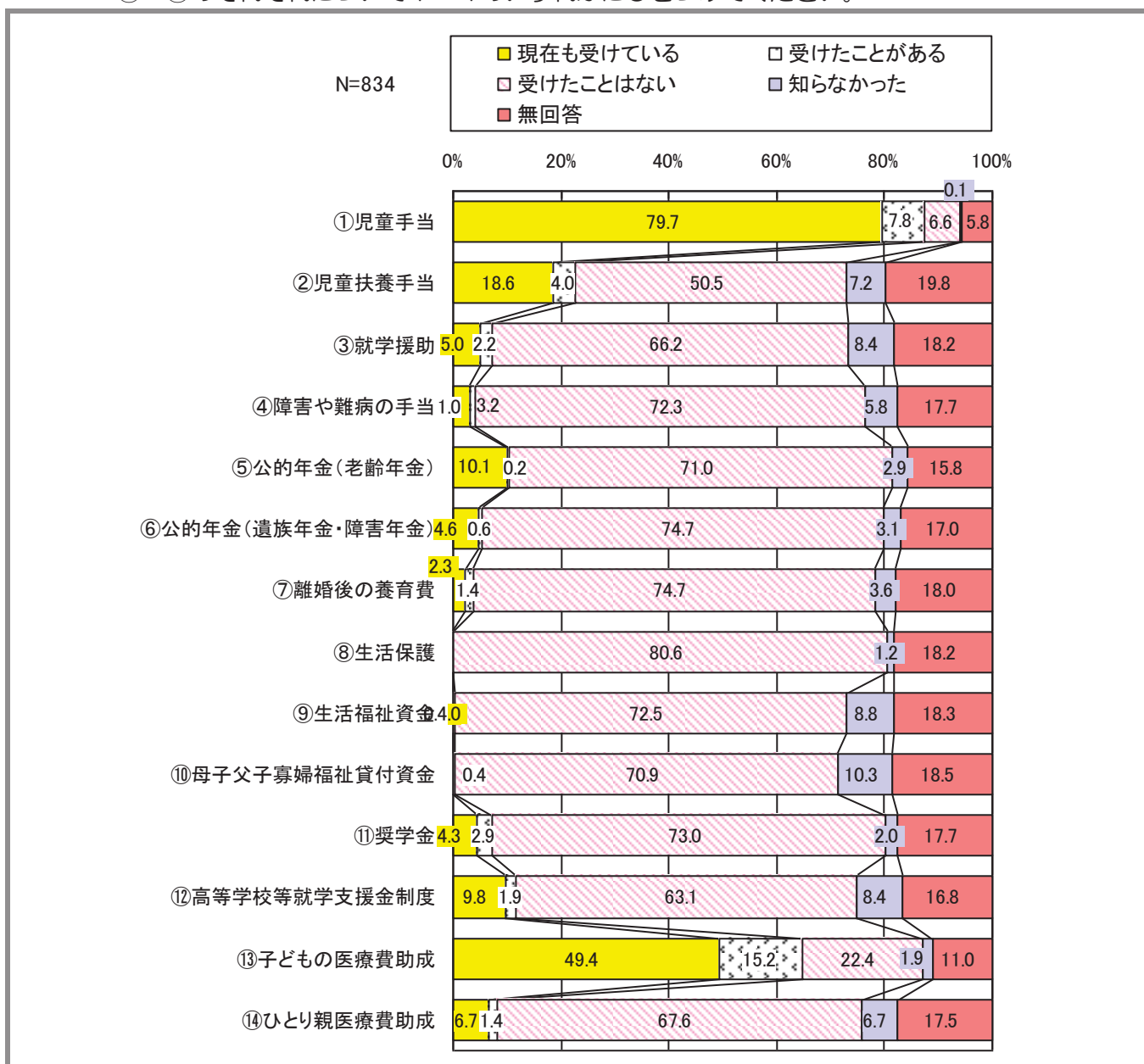
- 問59で資金援助「あり」と回答した人に、収入と資金援助の合算額を尋ねたところ、「500~600万円未満」が17.6%と最も多く、以下、「400~500万円未満」（14.3%）、「300~400万円未満」「750~1,000万円未満」（ともに12.1%）と続いている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭では「100~150万円未満」「150~200万円未満」がともに18.2%と多く、非ひとり親家庭では「500~600万円未満」が19.0%と最も多くなっている（次ページ参照）。

《家庭の状況別クロス集計》



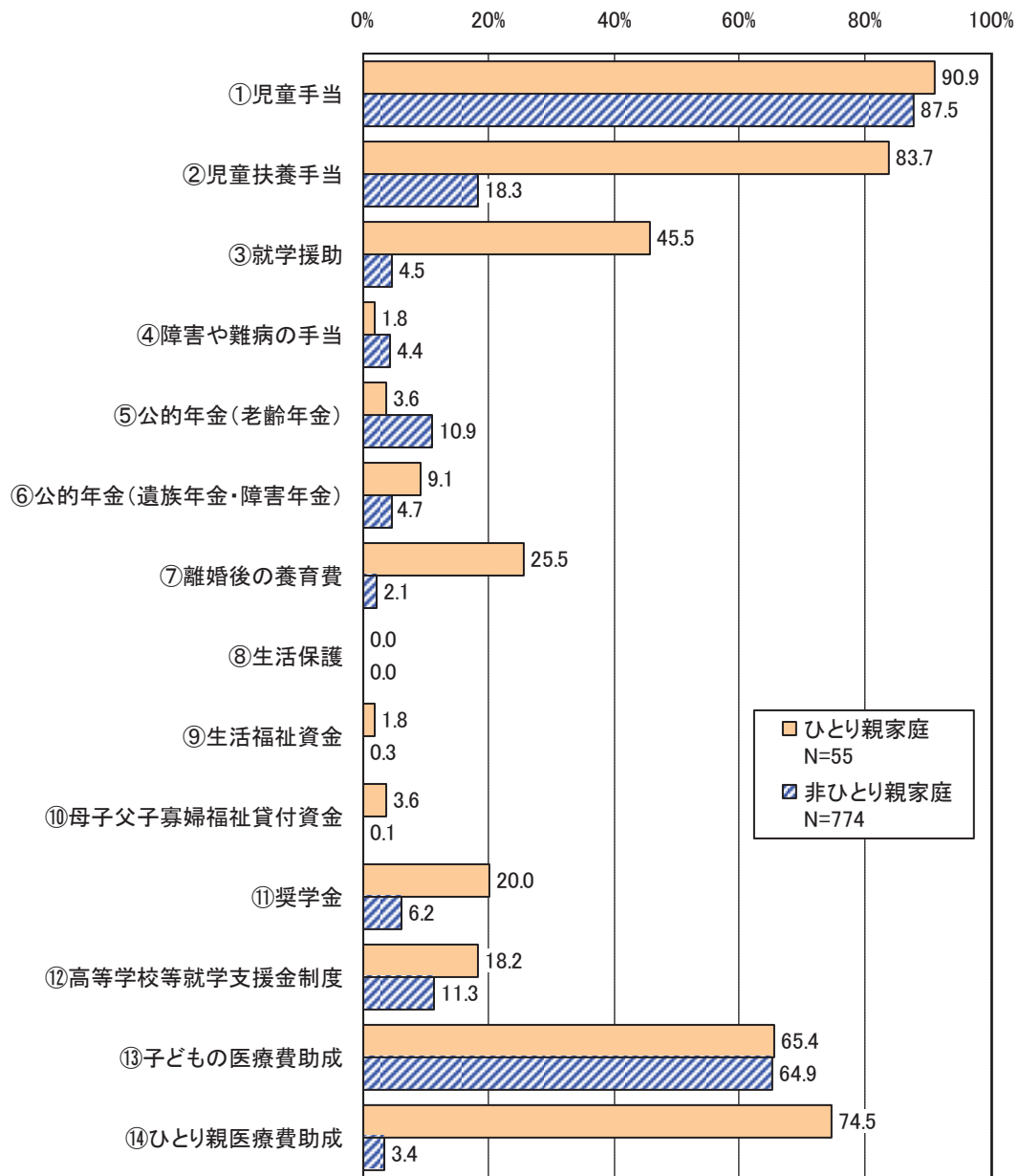
問62 あなたの家族では、過去1年間に次のような手当や援助等を受けたことがありますか？

①～⑭のそれぞれについて1～4のいずれかに○をつけてください。

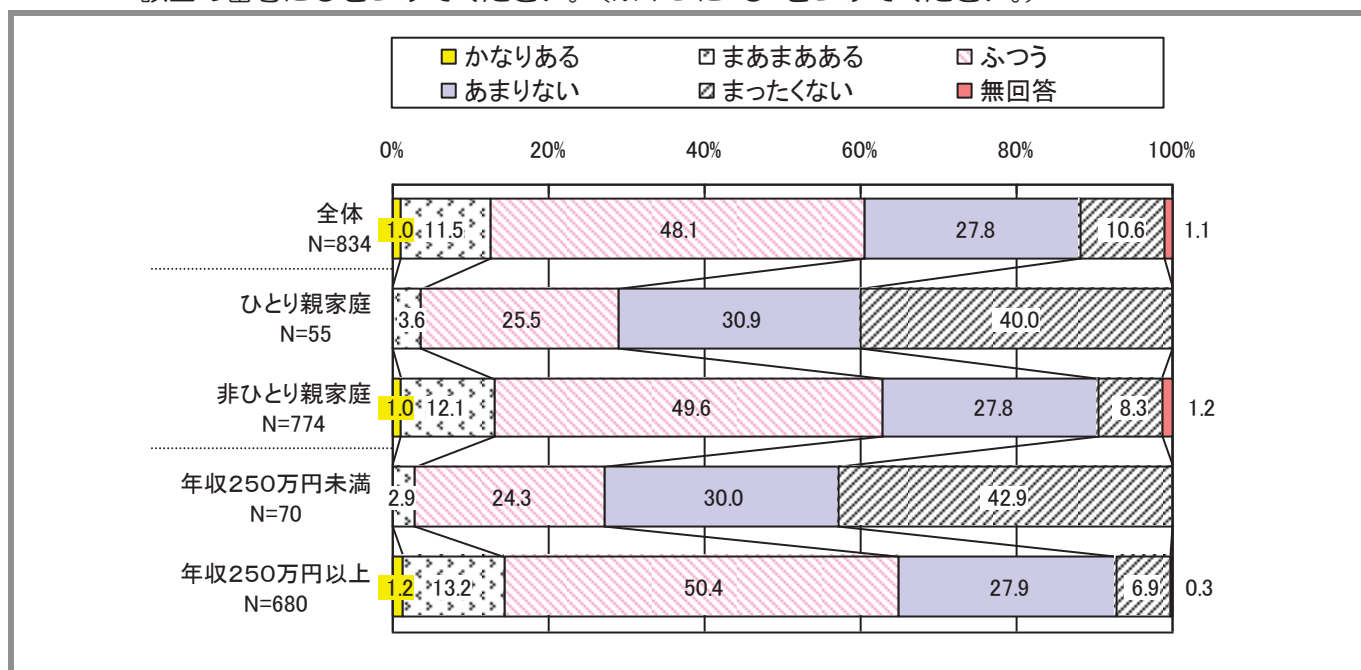


- 各種手当や援助等のうち、「現在も受けている」または「受けたことがある」と回答した世帯の割合が最も高いのは「①児童手当」(87.5%)で、次いで「⑬子どもの医療費助成」(64.6%)、「②児童扶養手当」(22.6%)と続いている。
- 家庭の状況別に見ても、「①児童手当」と「⑬子どもの医療費助成」にはほとんど差異が見られないが、ひとり親家庭では「②児童扶養手当」(83.7%)や「⑭ひとり親医療費助成」(74.5%)、「③就学援助」(45.5%)、「⑦離婚後の養育費」(25.5%)、「⑪奨学金」(20.0%)、「⑫高等学校等就学支援金制度」(18.2%)などの項目で、非ひとり親家庭に比べ回答割合が高くなっている(次ページ参照)。

《家庭の状況別（「現在も受けている」または「受けたことがある」という回答割合）》

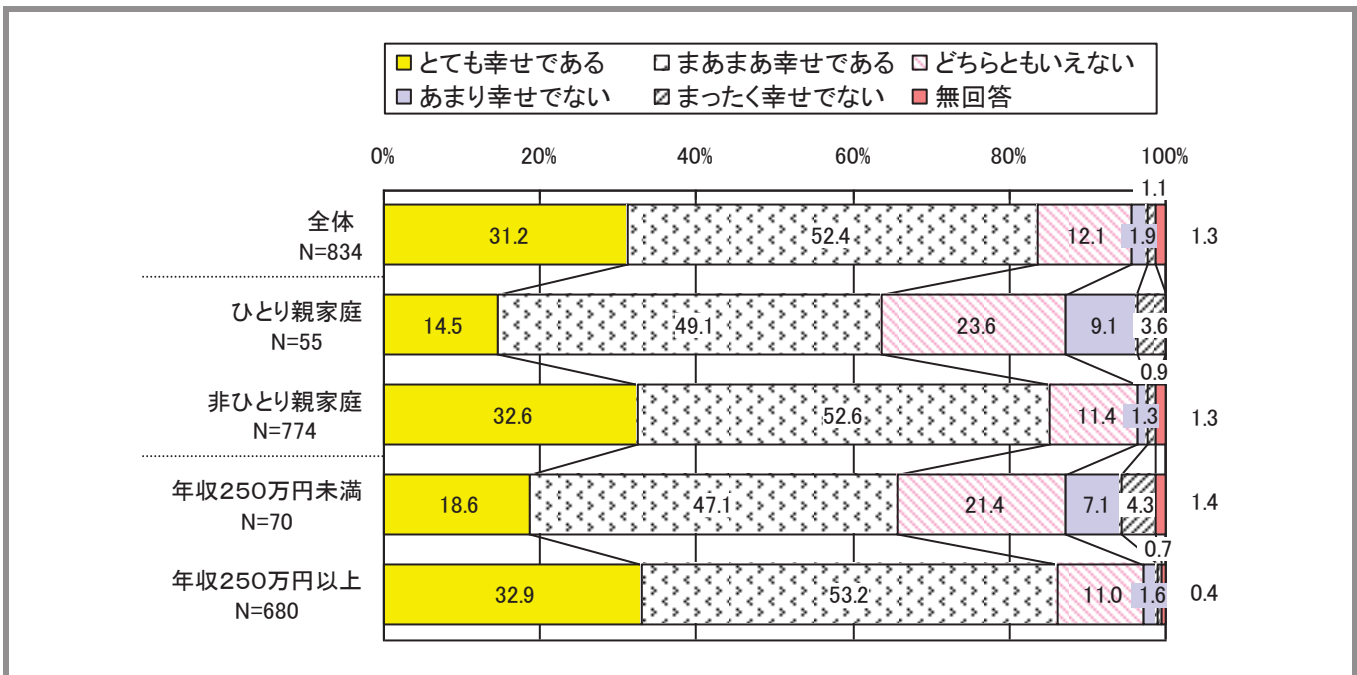


問63 あなたの家族では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか？
 該当の番号に○をつけてください。（※1つに○をつけてください。）



- 現在の生活に経済的なゆとりが「かなりある」「まあまあある」と回答した人は全体の12.5%で、「あまりない」「まったくない」と回答した人の割合（38.4%）を25.9ポイント下回っている。
- 家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭では「まあまあある」3.6%に対し「あまりない」「まったくない」70.9%、同じく年収250万円未満の家庭では「まあまあある」2.9%に対し「あまりない」「まったくない」72.9%と、経済的なゆとりのなさがうかがえる結果となっている。

問64 現在のあなたは、ご自身が幸せだと思いますか。
 該当の番号に○をつけてください。(※1つに○をつけてください。)



- 現在自分が「とても幸せである」「まあまあ幸せである」と回答した人は全体の83.6%を占めており、「あまり幸せでない」「まったく幸せでない」と回答した人は全体の3.0%となっている。
- 前問の経済的なゆとりの有無と照らし合わせると、経済的なゆとりがなくても幸せであると感じる人は決して少なくないことがわかるが、家庭の状況別に見ると、ひとり親家庭では「とても幸せである」「まあまあ幸せである」が63.6%と、非ひとり親家庭（85.2%）に比べ21.6ポイント低く、同様に年収250万円未満の家庭では「とても幸せである」「まあまあ幸せである」が65.7%と、年収250万円以上の家庭（86.1%）に比べ20.4ポイント低い結果となっている。